

# 年報

2018年度（平成30年度）

No.21

長野県立歴史館



# 一概要一

## I 沿革

### 1 開館までの歩み

- 1988年（昭和63）4月……「第二次長野県総合5か年計画」で、「埋蔵文化財、重要な史資料の展示、保存、研究等機能を備えた施設を新設」する方針を決定  
6月……「文化財に関する施設建設基本構想懇話会」（県内外の学識経験者12名）を設置  
1989年（平成元）7月……懇話会が報告書を提出  
1990年（平成2）10月……「県立歴史館（仮称）建設委員会」を設置  
11月……建設基本構想骨子決定  
1991年（平成3）4月……開館準備専任職員配置  
5月……「県立歴史館（仮称）専門委員会」を設置  
1992年（平成4）9月24日…起工式  
1994年（平成6）5月……建設工事完成  
8月……展示工事完成  
11月 3日…開館

### 2 開館後の歩み

#### 1994（平成6）年度

- 11月 開館記念企画展「赤い土器のクニ」（共催）  
資料寄贈者などへの感謝状を贈呈

#### 1995（平成7）年度

やさしい信濃の歴史学習会、考古資料講座、古文書講座、考古資料保存処理講習会、文献史料保存活用講習会を年間計画に基づいて開催。常設展示のローテーション展示替え実施。また市町村発掘担当者研修会を実施（共催）

- 7月 夏季企画展「絵図にみる信濃」  
8月 特別展示「終戦日8月15日の長野県民」  
10月 秋季企画展「信濃における戦国争乱の世界」

#### 1996（平成8）年度

新たに歴史館セミナーを年2回開催。7月に博物館実習を初めて実施

- 7月 夏季企画展「縄文人の一生」  
10月 秋季企画展「木簡が語る古代の信濃」

#### 1997年 1月 館蔵品展

#### 1997（平成9）年度

- 9月に館燻蒸を初めて実施  
7月 夏季企画展「殖産興業と万国博覧会」  
8月 長野県立歴史館ホームページ開設  
10月 秋季企画展「長野県にみる世界の文化」

#### 1998年1月 館蔵品展

- 3月 皇太子・皇太子妃両殿下行啓

#### 1998（平成10）年度

古文書講座を入門講座と解説講座とに分けて実施。また新たに地域セミナーを始め、6月に飯田・下伊那セミナーを実施。

- 6月 屋代木簡特別展示  
7月 夏季企画展「古代シナノの武器と馬具」  
10月 秋季企画展「諏訪信仰の祭りと文化」。御柱をエントランスに展示開始。

#### 1999年2月 長野県考古資料速報展「新発見・信州話題の考古資料」

#### 1999（平成11）年度

- やさしい信濃の歴史講座（「やさしい信濃の歴史学習会」を改称）、考古学講座（「考古資料講座を改称）。歴史館セミナーを年3回実施。  
4月 館蔵品展

6月 佐久セミナー

7月 開館五周年記念特別展「信濃名宝展」

10月 秋季企画展「蘭学万華鏡」

11月 開館5周年記念式典挙行

2000年1月 考古資料特別公開「躍動する縄文土器」

**2000(平成12)年度**

西暦2000年に合わせて、20世紀の長野県の歴史を振り返る特別展を企画。

7月 木曽セミナー

夏季企画展「千曲川歴史紀行」

10月 秋季企画展「歴史の宝庫 秋葉みち」

12月 長野県人権啓発センター開設（講堂棟）

2001年1月 長野県の20世紀展「信州に生きた20世紀の女たち」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2000」

ホームページ全面更新 独自ドメイン（[www.npmh.net](http://www.npmh.net)）取得

**2001(平成13)年度**

5月 館蔵品展「屏風の世界」

7月 夏季企画展「阿久遺跡と縄文人の世界」

諏訪セミナー

10月 秋季企画展「文人墨客がつどう」

2002年1月 特別公開「雛人形と雛道具」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2001」

**2002(平成14)年度**

5月 テーマ展「北村縄文人の時代－仮面土偶をつくった人びと－」

7月 夏季企画展「世界と地域を見つめた長野県教育－信山育材－」

北安曇セミナー

10月 秋季企画展「開設四百年 中山道－信濃二十六宿と間宿－」

2003年1月 特別公開「雛人形と雛道具－田中平八コレクションと北信濃の雛人形－」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2002」

**2003(平成15)年度**

夏休み中、7月19日～8月24日の間、体験講座「石のアクセサリーに挑戦」を毎日実施した。講座開設に際して、当館としてはじめてボランティアを受け入れた。この後、「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」の折り鶴、「雛人形と雛道具展」のお雛様作り、および赤外線カメラの解説にボランティアを受け入れた。また一階エントランスに簡易展示コーナーを設置した。入館者数は4000人ほど前年度を上回り、3年連続の増となった。

5月 テーマ展「おらが善光寺さん－秘仏の寺ものがたり－」

7月 夏季企画展「SOSふるさとの文化財をすぐえー伝えたい古人の心と技－」

上伊那セミナー

9月 秋季企画展「もみじ 夕焼け 里の秋－唱歌・童謡のふるさと信州－」

同時開催「ヒロシマ・ナガサキ原爆展－風化させてはならない歴史－」

2004年1月 特別公開「重要文化財 神子柴遺跡の石器群－石の時代の槍と斧－」

同時公開「雛人形と雛道具－子どもの祝い－」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2003」（共催事業）

**2004(平成16)年度**

開館10周年の節目の年にあたり、総入館者数100万人を突破した。企画展では開館以来初めて年間を通じたテーマ（「人と物の交流」）を設定し、秋季展では入場者数1万人を越えるなど健闘した。夏季展では善光寺道ウォーキング、秋季企画展ではドングリゴマづくり、冬季展では折雛づくりなど参加型活動を模索した年でもあった。民話データベースの公開、小・中生向けの調べ学習対応の図書を配備した。

5月 春季展「神がみへの願い人々の祈り－古代のまつり－」

7月 開館10周年記念式典

夏季展「善光寺道－街道を行き来した人・物・文化－」

松本セミナー「松本地域の歴史と風土」

10月 秋季展「中世信濃武士意外伝－義仲から幸村まで－」

2005年1月 新春特別公開「新春屏風絵図展」

冬季展「天下の糸平ゆかりの雛人形－横浜を目指した信州の生糸商人たち－」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2004」（共催事業）

## 2005(平成17)年度

運営管理について、4月1日より、長野県文化振興事業団から長野県教育委員会に直営化された。

企画展では、親しみやすさやわかりやすさを追求し、博物館ミュージカルに挑戦したり、県下に伝わる人形芝居の公演を行ったりした。また、時宜に適した企画として六角木幢展を実施したほか、森将軍塚まつりなどをとおして地域社会との連携を積極的に進めた。更には、学校教育や社会教育との連携も拡大し、総合的な学習の時間や公民館講座などの様々な学習活動へ職員を派遣するなどした。

- 5月 春季特別展「里帰りした赤羽刀—GHQ接収刀剣の輝き—」
  - 7月 夏季企画展「地下4mの縄文伝説—屋代遺跡群 愛と出会い4千年—」  
飯山公開講座「善光寺地震における飯山の被害状況」ほか
  - 10月 秋季企画展「信州舞台物語—団十郎も須磨子もやってきた—」
  - 11月 特別公開「六角木幢—極楽浄土への道しるべ」(共催事業)
- 2006年1月 特別公開「雛人形と雛道具—身だしなみとよそおい—」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2006」(共催事業)

## 2006(平成18)年度

県教委の直営となった2年目は、年間通じて入館者を確保するために、企画展示室をフル活用して年5回の企画展を実施し、特に指定文化財と館蔵品公開を目的にした「信州の歴史遺産I」を初めて開催した。

学校や社会教育との連携を深めて出前授業や講演を行い、県外学校の団体向けの旅行業者はじめ、県内に宿泊施設のある千代田区・大田区・渋谷区・板橋区・練馬区・江戸川区・西東京市・八王子市・武蔵野市・三鷹市・府中市の教育委員会に村して広報活動をおこなった。こうした努力の積み重ねによって、開館2年目(平成7年度)の13万人に次ぐ112,230人を記録することができた。

- 5月 春季展「古瓦からみた信濃の古代—神津猛・米山一政資料を中心に—」
  - 7月 夏季企画展「幕末の信州—時代を駆けた草莽たち—」
  - 9月 秋季企画展「戦時下の子どもたち—信州の十五年戦争—」
  - 11月 「信州の歴史遺産I—新指定長野県宝と歴史館のお宝—」
- 2007年1月 冬季展「信濃の人形—いのりと願い—」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2007」(共催事業)

## 2007(平成19)年度

展示スペースを工夫拡大し、全国的規模の展示である文化庁巡回展「発掘された日本列島2007—新発見考古資料速報展—」を初めて開催した。3月の埋蔵文化財センター速報展では歴史的発見である中野市柳沢遺跡出土の銅鐸・銅戈を展示する事が出来た。企画展示の充実や県内外の学校との連携、地域への出前講座などを更に進め、開館二年目に次ぐ117,236人の入館者を記録する事が出来た。

- 5月 春季展「埋もれていた信州遺産の発見—長野県埋蔵文化財センター25年の歩みから—」
  - 7月 夏季展「絵地図の魅力—わたしの城下町—」
  - 9月 文化庁巡回展「発掘された日本列島2007—新発見考古資料速報展—」
  - 10月 秋季企画展「武田・上杉・信濃武士」
- 2008年1月 冬季展「信濃の人形展」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2008」(共催事業)

## 2008(平成20)年度

春季の「うつわは語る」展、夏季の「大庄屋って何?」展、秋季の「よみがえる氷河時代の狩人」展、冬季の「信州の歴史遺産II」展の展覧会を実施するとともに、学校見学への対応、一般来館者に対する体験学習(勾玉づくり)の実施、出前講座の実施など、展示以外の諸行事にも全力をあげた年であった。特に冬期間の自主事業「信州ふれあい歴史講座」は盛況で、歴史館に対する期待をひしひしと感じることができた。

- 5月 春季展「うつわは語る—縄文から近世まで—」
  - 7月 夏季企画展「大庄屋って何?—安曇郡・清水家文書の350年—」
  - 9月 秋季企画展「よみがえる氷河時代の狩人」
  - 12月 冬季展「信州の歴史遺産II—長野県宝と歴史館のお宝—」
- 2009年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2009」(共催事業)

## 2009(平成21)年度

開館15周年と信濃史料刊行40周年の年に当たり、信濃毎日新聞社等との共催でアーカイブをテーマとした夏季展を実施した。南信地域の県民に当館講座の受講機会を提供することを目的に、飯田市美術博物館を会場に2回の公開講座を実施した。

- 4月 春季企画展「善光寺信仰—流転と遍歴の勧化—」
- 8月 夏季展「信州 知の遺産の系譜—歴史を記録した先人たち—」
- 9月 秋季企画展「山を越え川に沿う—信州弥生文化の確立—」

12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅲ — 諏訪地域の‘いのり’と‘まつり’—」

2010年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2010」(共催事業)

#### 2010(平成22) 年度

今年度からの5ヵ年計画として、当館の中期目標を策定した。ひめゆり平和祈念資料館・朝日新聞社と共催で春季企画展を開催した。外部団体との本格的な共催は当館初の企画である。当館が収蔵している信濃町日向林B遺跡遺物が重要文化財指定を受けた。

5月 春季企画展「ひめゆり 平和への祈り〔沖縄戦から65年〕」

7月 夏季展「あの世への想い — 日本人はどのように埋葬されてきたか —」

9月 秋季企画展「東の牛伏寺 西の若澤寺 — 古代に創建された松本平の二つの寺院 —」

12月 冬季展「信州の歴史遺産IV — 文字のちから —」

2011年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2011」(共催事業)

#### 2011(平成23) 年度

利用者の目線に立ち「元気に・明るく・楽しく」をモットーに利用者サービスに徹することを掲げた。館蔵品を中心とした企画展・季節展に取り組んだ。外部団体との連携にも意欲的に取り組み、八十二文化財団との共催事業「大人の遠足」を実施するとともに、信州大学との連携に関する覚書を締結した。

5月 春季展「武士の家宝—かたりがれた御家の由緒—」

7月 夏季企画展「激動を生きぬく — 信濃武士市河氏の400年 —」

9月 秋季企画展「観光地の描き方 — 浮世絵版画から観光パンフレットまで —」

12月 冬季展「郷土のお宝 —『重文・県宝』を見よう —」

2012年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2012」(共催事業)

#### 2012(平成24) 年度

利用者目線に立ち、引き続き利用者サービスに徹することに力を入れた。企画展示では、年度前半は昭和戦前期に焦点を当てた展示・講座を実施した。後半では長野県の縄文土器の優品をはじめて一堂に会する展示を行い、縄文土器の世界を広げた。中期目標に基づく博物館評価のあり方について検討し、本格実施に備えた。外部団体との連携では、新たに長野県カルチャーセンターとの連携企画を行い、「信濃史料」に関する東京大学史料編纂所との共同研究も行った。

5月 春季企画展「長野県の満洲移民—三つの大日向をたどる—」

7月 夏季展「戦争と伝説 阿智村ポスターが語る」

9月 秋季企画展「縄文土器展」：前期展「八ヶ岳山麓の名作」 後期展「千曲川流域、土器一万年の旅」

2013年1月 冬季展「愛娘の調度品—姫君様の婚礼道具から雛人形まで—」

3月 埋蔵文化財センター30周年企画展「長野県の遺跡発掘2013」(共催事業)

#### 2013(平成25) 年度

利用者の立場に立って、心が通って楽しく、発見のある内容とサービスに力点をおいた。夏季企画展では、「信州の野球史」を取り上げた。スポーツに関する初めての企画ということで、全国からの観覧者があった。秋季企画展の「刃が語る信濃」については、一般にはなじみのない刀剣の展示であったが、関心のある方は何回も熱心に来場された。冬季展「山国の大水害」では、戊の満水と善光寺地震を取り上げたところ、災害に関する関心度が高く好評だった。

4月 天皇・皇后両陛下行幸啓

6月 夏季展「信州の野球史—大正から昭和初期にかけて全国屈指の強さを誇った中等学校野球—」

9月 秋季展「刃が語る信濃」

11月 冬季展「山国の大水害—戊の満水と善光寺地震—」

2014年2月 館蔵品展「戦前の観光信州」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2014」(共催事業)

#### 2014(平成26) 年度

利用者の立場に立って、学術的である上、県民の関心をそそる内容とサービスに力点をおいた。館蔵品展では「歴史に煌めく日本の美」ということで歴史館の優品を展示した。夏季展では、信州山の日制定に伴い「山とともに生きる」と題して、県内の山関係の展示を行った。秋季企画展の「信濃武士の決断」については、戦国時代の信濃武士の生き様について展示をした。冬季展「縄文土器展」縄文中期の展示で評判になった。春季企画展では、「山と海の回廊をゆく」と題して、北陸新幹線延伸に伴うタイムリーな企画で関心度が高く好評だった。

6月 館蔵品展「歴史に煌めく日本の美」

7月 夏季展「山とともに生きる～「信州山の日」制定を記念して～

9月 秋季展「信濃武士の決断～信長・秀吉・家康の時代～」

11月 冬季展「縄文土器展～デコボコかざりのはじまり～」

2015年2月 春季展「山と海の回廊をゆく～信濃と北陸をつなぐ道～」

## 2015(平成27) 年度

利用者目線に立つとともに、学術的には未開拓分野の研究を深め、その成果を展示した。また、市町村や民間の団体の協力を得た成果を発表する展示をおこなった。「長野県の遺跡発掘2015」は、長野県埋蔵文化財センター、市町村教育委員会の協力を得て当館が主催し長野県の最新の発掘成果を展示する初めての試みであった。戦後70年企画「長野県民の1945—疎開・動員体験と上原良司一」は戦後70年を経、戦争体験の風化、体験の継承の難しさが指摘されていることに鑑み、1945年当時の長野県民の戦争体験を長野空襲、動員、疎開、上原良司などを切り口に取り上げた。戦争体験者から体験を聞く証言会や、長野県内の市町村等が編集した戦争体験証言集を収集した。アメリカ軍資料、上原良司関係資料など新資料の掘り起こしをおこなった。タイムリーな企画として好評であった。秋季企画展「樹木と人の交渉史」は当館が継続して取り組んでいる木製品保存処理作業の成果を、「樹木と人の関わり」の観点で展示した。旧石器時代から近世までを生業・信仰などに係わる資料で展示了。館全体を展示スペースと位置づける新しい試みをおこなった。冬季展「地図の明治維新—残された明治初期の町村絵図一」は、当館が収蔵する絵図地図約2700点の中から皇国地誌作成にあたって付図として作成されたと考えられる明治初期の絵図地図についての研究成果の展示であった。平成26年度よりおこなっている長野県測量設計業協会との共同研究「長野県絵図研究会」の成果をベースとした館蔵品展であったが、県下各地域の絵図地図を展示了することで全県から見学者が訪れ好評であった。

5月 「長野県の遺跡発掘2015」

7月 戦後70年企画展「長野県民の1945—疎開・動員体験と上原良司一」

10月 秋季企画展「樹木と人の交渉史」

12月 冬季展「地図の明治維新—残された明治初期の町村絵図一」

2016年3月 「長野県の遺跡発掘2016」

## 2016(平成28) 年度

笠本正治館長を迎え、「県民のための歴史館」を目標に、多方面にわたって積極的に広報活動をおこなった。6月には真田氏を取り上げた館主催の連続講座「歴史館ふるさと講座in千曲」(5回)を実施、延べ600人の聴講者があった。8月には戦争と平和を考える連続講座「歴史館から考える戦争と平和」(4回)を開催、同様多数の聴講者があった。平成29年1月には長野県ケーブルテレビジョンとの連携協定に調印、情報発信力の強化を図った。

平成28年巡回展「長野県の遺跡発掘2016」は従来の伊那・安曇野2会場に加え、佐久会場(佐久市近代美術館)での開催を実施した。

企画展示では秋季企画展で木曽地域の歴史を取り上げた。同時期に木曽が日本遺産登録を受けたことで、タイムリーな企画となった。木曽馬や木曽各地の民俗芸能を歴史館に招いたほか、常設展示の各時代にも木曽関連展示コーナーを設けるなど、積極的に木曽文化の発信を図った。

冬季展「信濃の城と城下町—発掘調査が謎を解くー」は、県内市町村教育委員会との共同研究の成果を発表したものである。

出前講座は121回、9300人ほどが聴講した。昨年の年74回、4300人に比べほぼ倍増であった。

「やさしい信濃の歴史講座」の出前は従来の上田・松本に加え、箕輪で実施した。

平成31年度の「開館25年」に合わせて課題の洗い出しが行われ、常設展示のなかに小学生向けの近現代コーナーを設置する方針が決定した。次年度検討を行うことになった。また、本年度は長野県にとって「信州学」元年であり、高校生向けの教材も作成された。当館としても歴史を基礎とするオリジナルな信州学テキストの刊行を計画、次年度に編集・刊行を行うこととした。

ブックレットは「水」とテーマとした。

「開館25年」記念展示として、国宝土偶を一堂に展示する企画が立案され、準備に入った。

老朽化した施設の修繕として、屋根防水改修、講堂の空調改修を行った。

3月 「長野県の遺跡発掘2016」

7月 夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道—失われた鉄路の軌跡ー」

9月 秋季企画展「—文化の十字路—木曽の宝」

12月 冬季展「信濃の城と城下町—発掘調査が謎を解くー」

2017年3月 「長野県の遺跡発掘2017」

## 2017(平成29) 年度

平成28年度同様「県民のための歴史館」を目標に、多方面にわたって積極的に広報活動をおこなった。6月から7月には信州の災害史を取り上げた館主催の連続講座「自然と向かい合い暮らしを築く」(5回)を実施、延べ900人近い聴講者があった。講座の模様は長野県ケーブルテレビジョンで配信された。

長野県・長野県教育委員会・(一社)長野県環境保全協会等で実行委員会を構成する「信州環境フェア2017」(7/29・30 於ビックハット)に参加し「戌の満水」の展示を行った。

平成29年巡回展「長野県の遺跡発掘2017」は昨年に続き伊那（伊那文化会館）・安曇野（豊科郷土資料館）・佐久（浅間縄文ミュージアム）で実施した。

企画展示では、夏季企画展「長野県誕生！－公文書・古文書から読みとく－」で長野県の明治維新の歴史を取り上げた。当館が所蔵する豊富な行政文書を核にした展示であったが、幕末の混乱期から長野県が成立する明治初期を詳細に辿る企画であったが、期間中に図録が完売するなど、高い評価を受けた。オープニングセレモニーには阿部守一長野県知事が出席した。

秋季企画展「進化する縄文土器～流れるもようと区画もよう～」は、平成26年度冬季展「縄文土器展～デコボコかざりのはじまり～」に続くもので、縄文時代中期中葉のなかごろ（約5,300～5,100年前）における縄文土器の飛躍的な進化を取り上げた。図録は館内のみでなく、信毎書籍出版センターから刊行された。

冬季展「田中芳男－「虫捕御用」の明治維新」は、飯田出身で「日本における博物館の父」と呼ばれる田中芳男の生涯と業績を取り上げた。昨年度秋季企画展での木曽地域との連携同様、この展示では飯田市および飯田市美術博物館との連携に努めた。オープニングセレモニーには太田寛長野県副知事、牧野光朗飯田市長、上岡美保東京農業大学「食と農」の博物館副館長が出席した。

この展示は歴史館としては初めて特定の人物を取り上げたものであったが、多くの共感を得ることができた。

出前講座は123回、8600人ほどが聴講した。昨年とほぼ同数であった。

「やさしい信濃の歴史講座」の出前は従来の上田・松本・箕輪に加え諏訪で実施した。

館運営に企業等の賛助を得る「歴史館パートナーの日」を初めて実施した。南信に拠点をおくKOA株式会社の協賛を受け12月16日（土）を「KOAの日」と命名、入館無料とした。約500人が来館した。バックヤード探検、新購入史料（「きそのぐわんしょ」）の公開、プラ板作りなどのイベントを実施した。

文献史料課では8月に新規事業として「ティーンズ古文書講座」を実施した。4日（2.5時間×4日）、中学生から大学生まで19人の参加があった。若年層向けの古文書講座は全国でもまれで、マスコミにも取り上げられた。次年度も継続することとなった。

歴史館版信州学テキスト（『日常生活からひもとく信州』）を信濃毎日新聞社より刊行した。全4巻を予定し、今回は「信州を学ぶ◎足元を探る編」をテーマに、衣食住を特集した。

親子ふれあいコーナーのコンセプトについて検討を行った。

ブックレットは「道」をテーマとした。

- 3月 「長野県の遺跡発掘2017」
- 7月 夏季企画展「長野県誕生！－公文書・古文書から読みとく－」
- 9月 秋季企画展「進化する縄文土器～流れるもようと区画もよう～」
- 12月 冬季展「田中芳男－「虫捕御用」の明治維新」

2018年3月 「長野県の遺跡発掘2018」

#### 2018(平成30) 年度

「県民により必要とされ、愛される歴史館」を目指して積極的に活動をおこなった。

他館との連携強化にむけて、山梨県立博物館と他県の博物館と初めてとなる連携協定を10月26日に締結した。

「長野県の遺跡発掘2018」は歴史館の他、県内3箇所で実施した。企画展については、それぞれ独自の視点から展示を行い好評であった。また、ミニ展示として、5月に『「県歌50年」作詞家「浅井冽の書を見る』』、6月に『信州の「野球史 夏』』を行い、タイムリーな企画となった。

講座については、信州学講座として歴史館で9回、出前講座として上田・箕輪・諏訪・松本・飯田の5箇所で実施した。

館運営に企業の賛助を得る「歴史館パートナーの日」を昨年のKOA株式会社に加え、長野都市ガスの協賛を受け、入館無料として実施した。

歴史館版信州学テキスト第2巻『広い世界とつながる信州』を信濃毎日新聞社より刊行した。

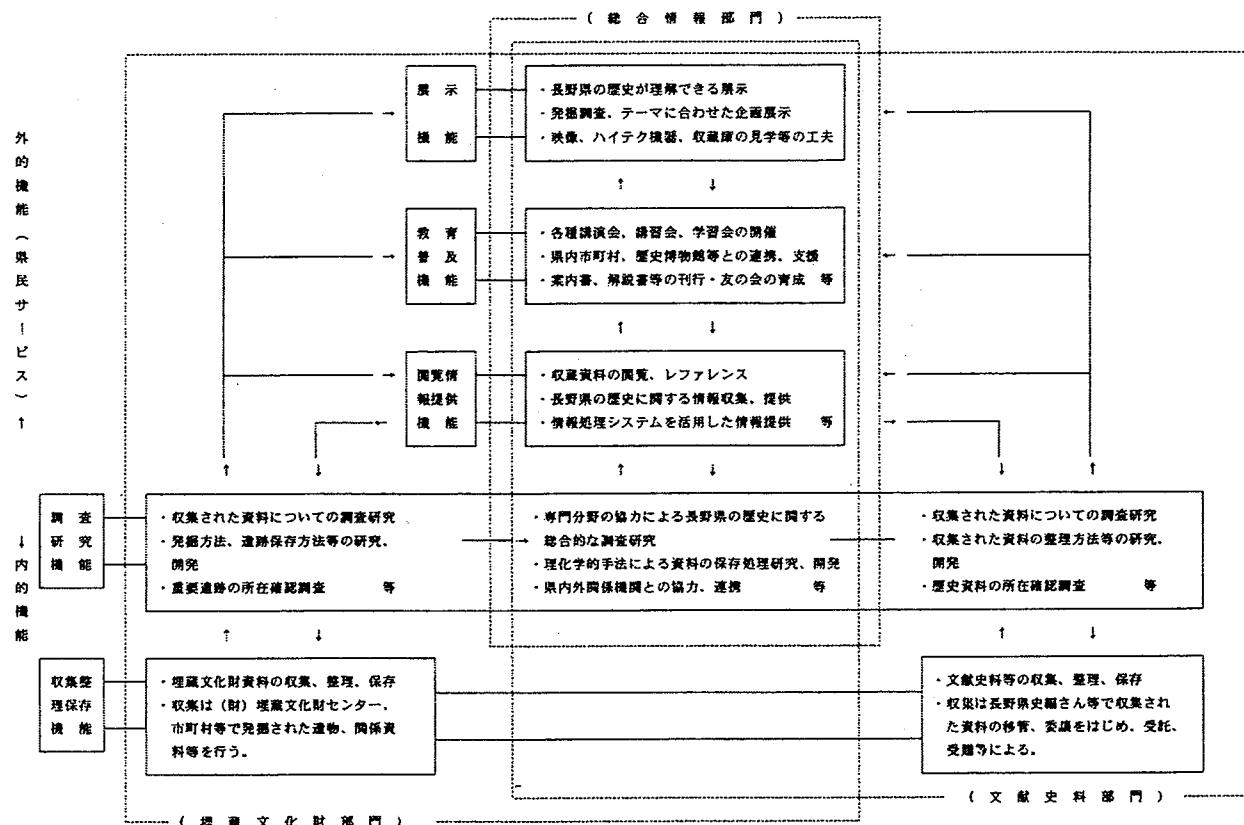
外壁工事のため7月30日～9月14日の期間が休館となった。また、講堂の天井改修工事のため11月4日～3月31日の期間が講堂使用不可となった。

- 3月 「長野県の遺跡発掘2018」
- 6月 夏季企画展「君は河童を見たか！－水辺の出会い－」
- 9月 秋季企画展「最古の信州ブランド黒曜石－先史社会の石材獲得と流通－」
- 12月 冬季展「自然を見つめた田淵行男」

2019年3月 「長野県の考古学－時代を映す“匠”の技－」

## II 機能・組織・運営

### 1 機能



県立歴史館機能構成図（平成元年7月「文化財に関する施設建設基本構想懇談会報告書」による）

## 建設基本構想骨子(平成2年11月建設委員会決定)

### 1 施設の性格

- (1) 発掘調査により出土した埋蔵文化財資料及び歴史的に貴重な行政文書、古文書等の史資料について、収集、整理、保存、調査研究、閲覧、情報提供、教育普及及び展示を行う歴史博物館的施設とする。
- (2) 文化財への親しみと理解が深められるよう、県民の学習ニーズに対応し、歴史学習活動を支援する。

### 2 設置場所

- 更埴市大字屋代字清水(森将軍塚古墳付近)

### 3 館の機能

主要な機能は、「展示」、「教育普及」、「閲覧、情報提供」、「調査研究」及び「収集、整理、保存」で構成する。

#### (1) 展示

- ア 埋蔵文化財、文献史料等による長野県の歴史が理解できる常設展示を行う。
- イ 発掘調査、テーマ等に合わせた企画展示、特別展示、巡回展示を行う。
- ウ 映像、ハイテク機器等を活用した楽しく興味を持てる展示を行い、館内の整理作業工程、収蔵庫等の見学コースを設定する。

#### (2) 教育普及

- ア 各種講演会、講習会、学習会を開催する。
- イ 県内の市町村、歴史博物館、歴史民俗資料館等と連携し活動を支援する。

#### (3) 閲覧、情報提供

- ア 収蔵資料を閲覧に供する。
- イ 長野県に関する情報を収集し、情報処理システムを活用した提供を行う。

#### (4) 調査研究

- ア 収集された資料について、調査研究を行い、その成果を展示、教育普及、閲覧及び情報提供に反映させる。
- イ 専門分野の協力による長野県の歴史に関する調査研究を行う。
- ウ 発掘調査、保存処理、整理方法等に関する研究、開発を行う。
- エ 重要遺跡、歴史資料の所在調査を行う。

#### (5) 収集、整理、保存

- ア 長野県に対する埋蔵文化財資料及び行政文書、古文書等の文献史料を収集し、整理分類して収蔵する。

イ 資料の収集は、県内外で発掘された遺物、関係資料や県史編さん等で収集された資料の移管、委譲をはじめ、受託、受贈、購入、複製収集等による。

### 4 館の組織

主要な組織は、「総合情報部門」、「埋蔵文化財部門」、「文献史料部門」及び「管理部門」で構成する。

#### (1) 総合情報部門

- ア 展示の企画、開催、教育普及活動等

イ 長野県の歴史に関する調査研究及び情報の収集、整理、提供

#### (2) 埋蔵文化財部門

- ア 埋蔵文化財資料の収集、整理、保存

イ 遺跡、遺物の保存、活用等のための調査研究

#### (3) 文献史料部門

- ア 行政文書、古文書などの収集、整理、保存

イ 古文書等の所在確認、収集資料の保存、活用等のための調査研究

#### (4) 管理部門

- ア 庶務、会計

イ 施設、設備の管理

### 5 敷地の概要

取得面積 約19,500m<sup>2</sup>

(用途別内訳)

建物面積 6,500m<sup>2</sup>程度 駐車場 4,500m<sup>2</sup>程度  
外構面積 6,500m<sup>2</sup>程度 屋外展示 2,000m<sup>2</sup>程度

### 6 施設の概要

建築面積 6,500m<sup>2</sup>程度

延べ床面積 10,000m<sup>2</sup>程度

(部門別内訳)

総合情報部門 3,100m<sup>2</sup>程度

埋蔵文化財部門 2,750m<sup>2</sup>程度

文献史料部門 1,850m<sup>2</sup>程度

管理部門 2,300m<sup>2</sup>程度

### 7 建設計画

平成4年 着工

平成5年 完成

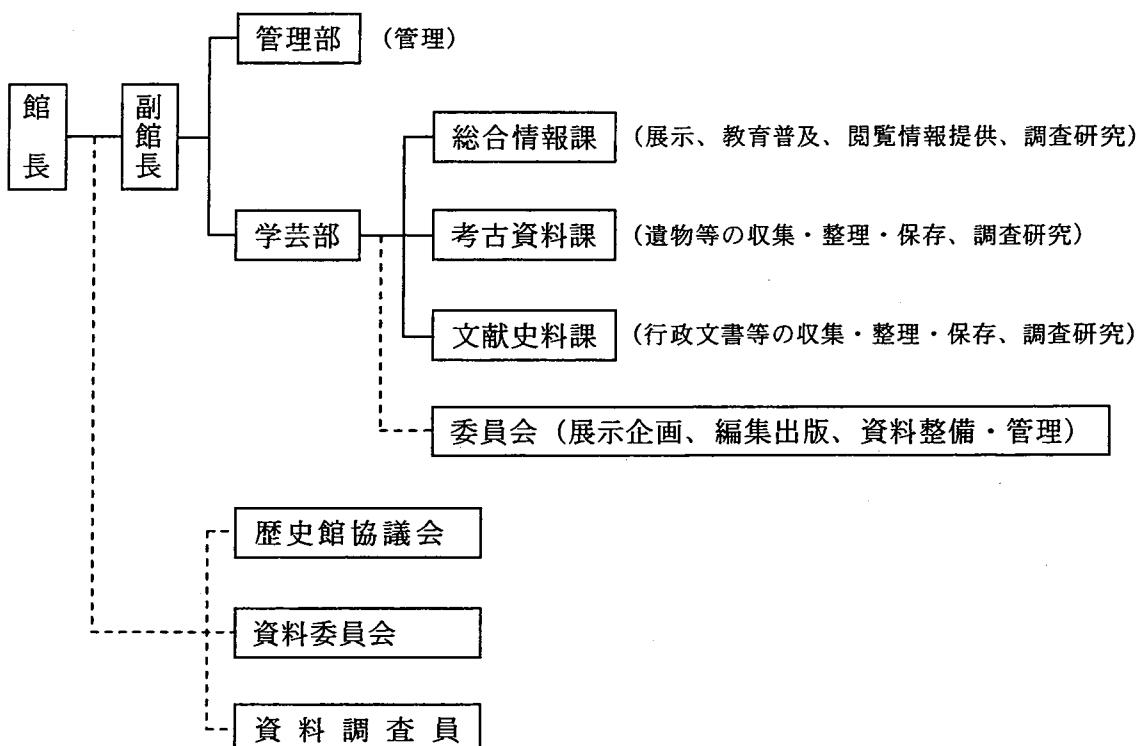
平成6年(春) 開館

### 8 施設建設に伴う留意点

更埴市における歴史公園構想の中核的施設となるため、土地利用・施設外観・展示・植栽計画において整合を図る。

## 2 組織と分掌

○組織図（平成 30 年 4 月 1 日現在）



○分掌表

部 課	分 市 事 項
管 理 部	1 庶務及び会計に関すること 2 組織及び人事に関すること 3 営繕に関すること 4 警備、清掃及び防火に関すること 5 施設、設備の保守管理に関すること
学 芸 部	1 歴史資料等の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示、閲覧に関すること 2 教育普及（講演会、講習会、研修会等）の企画及び実施並びに調整に関すること 3 図書資料の受入れ、整理及び閲覧に関すること 4 情報提供の企画及び実施に関すること 5 各種刊行物の編集及び出版並びに企画調整に関すること
文 献 史 料 課	1 考古資料の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示、閲覧に関すること 2 埋蔵文化財の研究及び科学分析・保存処理に関すること 3 教育普及（講習会、研修会等）の企画及び実施に関すること 4 情報提供の実施に関すること 5 考古資料に関する目録、報告書等の管理に関すること
文 献 史 料 課	1 文献史料の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示、閲覧に関すること 2 教育普及（講習会、研修会等）の企画及び実施に関すること 3 情報提供の実施に関すること 4 文献史料に関する目録、報告書等の管理に関すること

### 3 運営

#### (1) 運営方針

長野県の歴史・文化の拠点として、考古資料、文献史料、その他の歴史資料及び長野県の公文書を収集、保存、調査研究し、展示、閲覧等により県民に公開するとともに県民が楽しく利用できる諸事業を行い、もって県民の教養と文化振興の向上に寄与する。

#### (2) 事業概要

##### ① 史資料の収集・整理・保存

考古資料・文献史料・長野県公文書の収集・整理・保存

##### ② 調査研究

ア 25周年記念事業に係る調査研究

イ 長野県の歴史に関する調査研究

ウ 共同研究（市町村教委との城郭・城下町研究、黒曜石研究）

##### ③ 史資料の公開・教育普及

ア 展示の企画実施

(ア) 常設展示（企画展等に対応させた展示替え）

(イ) 企画展等

・巡回展「長野県の遺跡発掘2018」（3/17～6/3）

伊那文化会館（7・8月）、塩尻市立平出博物館（8・9月）、御代田町浅間縄文ミュージアム（9～11月）を巡回

・夏季企画展「君は河童を見たか！」（6/16～7/29）

・秋季企画展「最古の信州ブランド黒曜石」（9/15～11/25）

・冬季展「自然を見つめた田淵行男－写真・安曇野・環境－」（12/15～H31 2/17）

(ウ) ミニ展示

・県歌50年（5/19～6/17）

・信州の野球史（6/23～7/29）

イ 親子歴史ふれあいコーナー（仮称）の設置準備

ウ 学校見学の充実（解説・バックヤード探検の実施）

エ 歴史関係講座の企画実施

(ア) 主催講座

県立歴史館の信州学講座（歴史館9回、出張5回）、考古学講座（4回）、

古文書講座（25回）、遺跡探訪会（1回）、ティーンズ古文書講座（4回）

(イ) 連携講座の実施（5館5回）

オ 全国高等学校総合文化祭への協力

カ 他団体との連携

(ア) 連携講座（信濃史学会、長野県考古学会、信州近世史セミナー）

(イ) 長野県ケーブルテレビジョンとの連携により、主要講座を県内に発信

(ウ) 「歴史館パートナーの日」の開催

(エ) 県内博物館との連携（田淵行男記念館）

キ 研修会の実施（考古資料保存処理講習会、文献史料保存活用講習会）

ク 刊行物の発行（信州を学ぶテキスト、研究紀要、ブックレット、年報、史資料目録、歴史館たより等）

ケ 体験学習及びイベントの開催（歴史館でこどもの日、歴史館で夏休み）

コ 歴史情報のマスコミへの発信（信毎コラム「しなの歴史再見」、朝日新聞コラム等）

④ 閲覧・情報提供

- ア 収蔵資料の閲覧、レファレンス
- イ 歴史館ホームページを活用した情報提供
- ウ 史資料の貸し出し

⑤ 学校教育の支援

- ア 教職員研修
- イ 学芸員講座
- ウ 「おでかけ歴史館」の充実
- エ 出前授業の充実（小学校、長野県短期大学、市立長野高校等）
- オ 職場体験学習
- カ 博物館実習

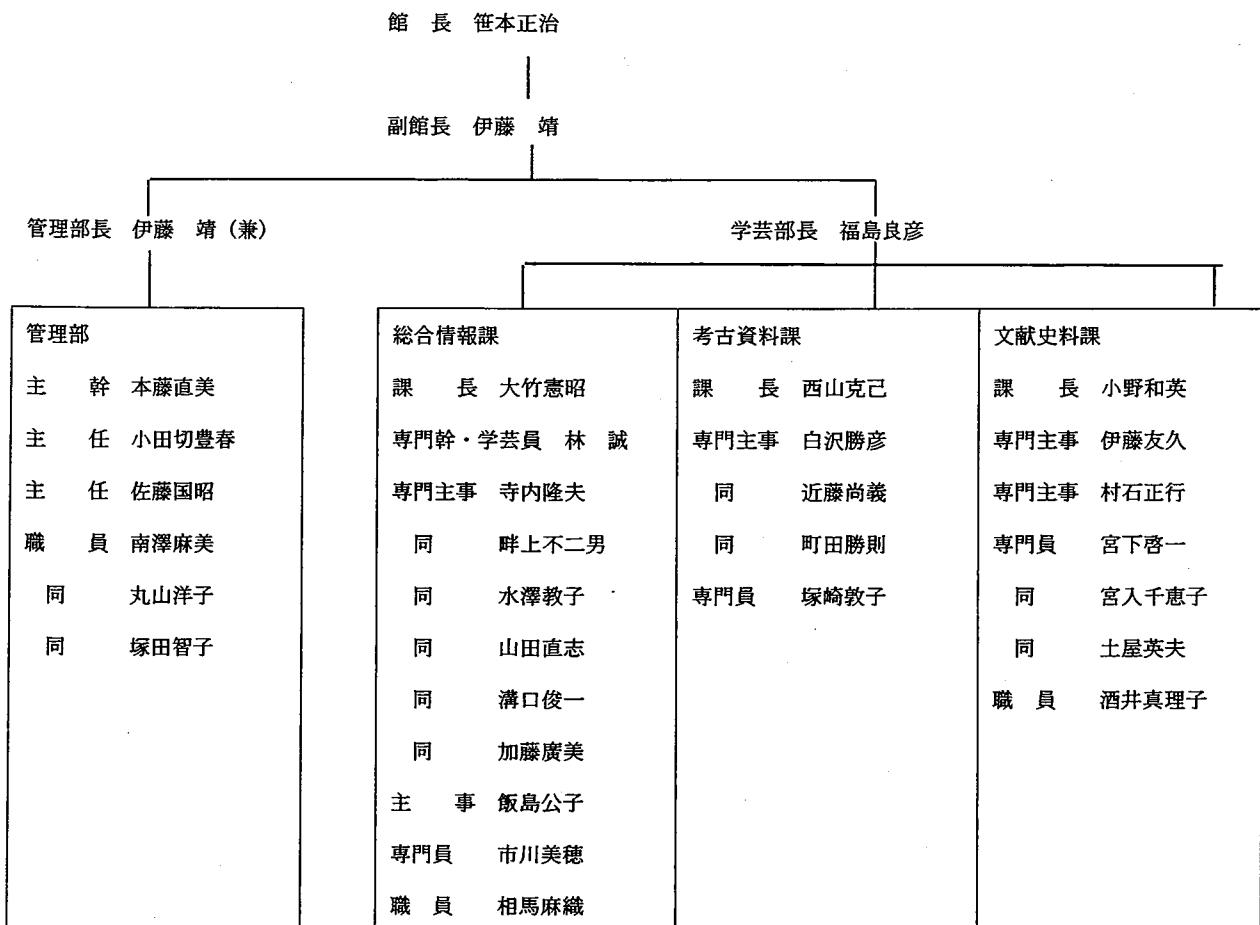
⑥ 生涯学習の支援

- 公民館等の講座へ講師の派遣

⑦ ボランティアの募集・育成

⑧ 内規改定の推進

(3) 職員名簿（平成31年3月31日現在）



(4) 長野県立歴史館協議会委員（五十音順）

氏名	役職
大西紗希子	(公財)八十二文化財団職員
久留島 浩	国立歴史民俗博物館長
小林正春	長野県考古学会長
小松芳郎	信濃史学会長
中條智子	(一社)長野県連合婦人会長
中村孝子	更級小学校教諭
山口敏男	千曲市森将軍塚古墳館長
山崎まゆみ	公募
若林由美子	千曲市教育長職務代理者

(5) 長野県立歴史館資料調査員

氏名	担当範囲
福島邦男	南佐久郡・佐久市
牧野和人	北佐久郡・小諸市
倉澤正幸	小県郡・上田市・東御市
高見俊樹	諏訪郡・岡谷市・諏訪市・茅野市
唐木孝雄	上伊那郡・伊那市・駒ヶ根市
山内尚巳	下伊那郡・飯田市
柳川浩司	木曽郡
小松芳郎	東筑摩郡・南安曇郡・塩尻市・松本市
伊藤信一	東筑摩郡・南安曇郡・塩尻市・松本市
小林茂喜	北安曇郡・大町市
久保田廣志	埴科郡・千曲市
丸山文雄	上高井郡・須坂市
樋口和雄	下高井郡・中野市
西沢安彦	上水内郡・長野市
小柳義男	上水内郡・長野市
望月静雄	下水内郡・飯山市

(6) 長野県立歴史館資料委員会委員（五十音順）

氏名	役職	分野
上條宏之	長野県短期大学学長	近・現代資料
工楽善通	大阪府立狭山池博物館長	原始資料
竹内 誠	東京都江戸東京博物館長	近世資料
平川 南	山梨県立博物館長	古代・中世資料
矢島 新	跡見学園女子大学教授	美術工芸資料

## 4 関係法規

### 長野県立歴史館条例（平成6年長野県条例第24号）

#### （趣旨）

第1条 この条例は、博物館法（昭和26年法律第285号）及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）並びに地方自治法（昭和22年法律第67号）の規定に基づき、歴史館の設置及びその管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

#### （設置）

第2条 考古資料、歴史的価値を有する文書、その他歴史資料等を収集し、保存して、広く県民の利用に供し、その教養及び文化の振興に寄与するため、長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）を千曲市に設置する。

#### （職員）

第3条 歴史館に、博物館法第4条第1項及び第3項に規定する職員のほか、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

#### （協議会）

第4条 歴史館に、博物館法第20条の規定による歴史館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから長野県教育委員会が任命する。

3 協議会の委員の定数は10名以内とし、その任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

#### （使用の許可）

第5条 歴史館を使用しようとする者は、長野県教育委員会の許可を受けなければならない。

#### （使用料の納付）

第6条 歴史館の展示資料を観覧する者は、使用料を納付しなければならない。

#### （使用料の額）

第7条 前条の使用料の額は、観覧1回につき1,000円の範囲内でその都度知事が定める額とする。

#### （使用料の減免）

第8条 知事は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(1) 児童、生徒及びこれらの引率者が、学校の教育課程に基づく教育活動として観覧するとき。

(2) 前号に定めるもののほか、特別の理由があるとき。

#### （管理等の委任）

第9条 この条例に定めるもののほか、歴史館の管理及びこの条例の施行に関し必要な事項は、長野県教育委員会が定める。

#### 附 則

この条例は、平成6年11月3日から施行する。

#### 附 則（平成15年7月24日条例第47号）

この条例は、平成15年9月1日から施行する。

#### 附 則（平成17年3月28日条例第37号）

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

#### 附 則（平成24年3月22日条例第40号）

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

### 長野県立歴史館管理規則（平成6年教育委員会規則第5号）

#### （趣旨）

第1条 この規則は、長野県立歴史館条例（平成6年長野県条例第24号。以下「条例」という。）第9条の規定により、長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）の管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

#### （休館日）

第2条 歴史館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。

ただし、長野県教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。

(1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、火曜日）

(2) 休日の翌日

(3) 12月28日から翌年1月3日まで

#### （開館時間）

第3条 歴史館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育委員会は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

#### （歴史館協議会）

第4条 条例第4条の規定による歴史館協議会は、歴史館の長が招集する。

2 歴史館協議会を分けて定例会及び臨時会とし、定例会は毎年1回、臨時会は必要に応じて招集する。

3 歴史館協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

#### （使用の許可等）

第5条 条例第5条の規定により許可を受けようとする者は、歴史館に保存されている資料を閲覧する場合にあっては長野県立歴史館閲覧申込書（様式第1号）を教育委員会に提出し、展示資料を観覧する場合にあってはその旨を教育委員会に申し出なければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による許可をしたときは、閲覧許可書又は観覧券（様式第2号）を交付するものとする。

#### （閲覧の制限）

第6条 教育委員会は、歴史館に保存されている資料のうち、次の各号に掲げるものの閲覧を制限することができる。

(1) 法令の定めるところにより公開ができないもの

(2) 個人に関する資料で、他人に知れたくないと認められるもの

(3) 法人その他の団体に関する資料で、閲覧に供することにより当該法人その他の団体に不利益を与えるおそれがあると認められるもの

(4) 資料の傷み等のため保存上支障のあるもの

(5) 資料の整理が完了していないもの

(6) 寄贈者又は寄託者と利用の制限について特約があるもの

(7) 前各号に定めるもののほか、公益上の理由等により閲覧

に供することが不適当と認められるもの

(遵守事項)

第7条 歴史館の使用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 歴史館の施設、資料等を損傷し、汚損し、又は紛失しないこと。
- (2) 歴史館内において他人の迷惑になるような行動をしないこと。
- (3) 所定の場所以外で飲食し、又は喫煙しないこと。
- (4) 歴史館内に爆発物、可燃物、銃砲刀剣類等の危険物を持ち込まないこと。
- (5) 前各号に定めるもののほか、歴史館の秩序の維持について教育委員会が定める事項

(入館の制限等)

第8条 教育委員会は、めいていしている者その他歴史館の管理上著しく支障があると認められる者の入館を禁止し、又は退館を命ぜることができる。

(使用許可の取消し等)

第9条 教育委員会は、歴史館の使用者が次の各号のいずれかに該当するときは、使用許可の取消し、使用の停止又は使用条件の変更をすることができる。

- (1) 第7条の規定に違反したとき。
- (2) 使用の許可に付した条件に違反したとき。

(損害の賠償)

第10条 歴史館の使用者は、歴史館の施設、資料等を損傷し、汚損し、又は紛失したときは、遅滞なく教育委員会に届け出て、その指示に従い、原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(補則)

第11条 この規則に定めるもののほか、歴史館の管理等について必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この規則は、平成6年11月3日から施行する。

附 則(平成17年3月28日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月22日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

長野県立歴史館協議会運営細則

(趣旨)

第1条 この細則は、長野県立歴史館条例(平成6年条例第24号)第4条及び長野県立歴史館管理規則(平成6年教育委員会規則第5号)第4条で規定するもののほか、長野県立歴史館協議会(以下「協議会」という。)の運営に必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選とする。

3 会長は会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会の会議は、会長がその議長となる。

2 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第4条 協議会の庶務は、長野県立歴史館において処理する。

(委任)

第5条 この細則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この細則は、平成24年10月1日から施行する。

## 長野県立歴史館資料委員会要綱

### (設置)

第1条 長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）が収集する歴史資料（購入資料または寄贈・寄託を受けた資料をいう。以下同じ。）及び館蔵資料の活用等について意見を聴取するため、歴史館資料委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

### (協議事項)

第2条 委員会は、収集する歴史資料の選定、評価及び館蔵資料の活用方策等に関する事項について協議する。

### (委員)

第3条 委員会の委員（以下「委員」という。）の定数は、7名以内とする。

- 2 委員は、学識経験者のうちから、歴史館長（以下「館長」という。）が委嘱する。
- 3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。補欠のため就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 館長は、収集しようとする歴史資料について、委員以外の学識経験者から意見を聴取する必要があると判断した場合は、学識経験者のうちから、臨時に委員を委嘱することができる。ただし、委嘱期間は、委嘱した日から当該歴史資料について協議する委員会開催日までとする。

### (会長及び副会長)

第4条 委員会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選とする。
- 3 会長は会務を総理し、委員会を代表する。

### (会議)

第5条 委員会の会議は、館長が招集する。

- 2 会議の議長は、会長が務める。会長に事故があるときは副会長が代行する。

### (庶務)

第6条 委員会の庶務は、歴史館において処理する。

### 附則

この要綱は、平成7年7月1日から施行する。

### 附則

この要綱は、平成25年11月1日から施行する。

### 附則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

## 長野県立歴史館資料調査員設置要綱

### (趣旨)

第1条 この要綱は、長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）の資料収集に当たり、県内における資料の所在、分布等の調査を行うため、資料調査員（以下「調査員」という。）の設置について必要な事項を定めるものとする。

### (委嘱)

第2条 調査員は、歴史館長が委嘱する。

2 調査員には、調査員証（様式第1号）を交付する。

3 調査員証は第6条に規定する調査以外に用いてはならない。

### (任期)

第3条 調査員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠者の任期は前任者の残任期間とする。

### (員数及び調査区域)

第4条 調査員は、16名以内とし、調査区域とその員数は別表のとおりとする。

### (調査対象)

第5条 調査対象は、原始から現代に至る歴史的価値ある史資料とする。

### (調査方法及び報告)

第6条 調査員は、必要に応じて資料所蔵者を訪問して、資料の有無、保存状況、所蔵者の変更その他歴史館長が指示した事項について調査を行い、その調査結果を歴史館長に報告するものとする。

### (守秘義務等)

第7条 調査員は、調査に際しては人権を尊重し、プライバシーの保護に配慮するものとし、職務上知り得た秘密を洩らしてはならない。

### (会議)

第8条 調査員の情報交換、調査事項の指示のため、歴史館長は必要に応じて調査員会議を開催するものとする。

### 附則

この要綱は、平成7年10月1日から施行する。

### 附則

この要綱は、平成18年5月26日から施行する。

### III 施設

敷地面積 19,593 m<sup>2</sup>

建築面積 6,702 m<sup>2</sup> (延床面積 10,457 m<sup>2</sup>)

鉄筋コンクリート造、地上 2 階

#### 考古資料部門

遺物整理室 (348 m<sup>2</sup>)、第一遺物収蔵庫 (982 m<sup>2</sup>)、第二遺物 収蔵庫 (215 m<sup>2</sup>)、木器処理室、保存分析室、保存修復室 等

#### 管理部門

事務室、会議室、エントランスホール 等

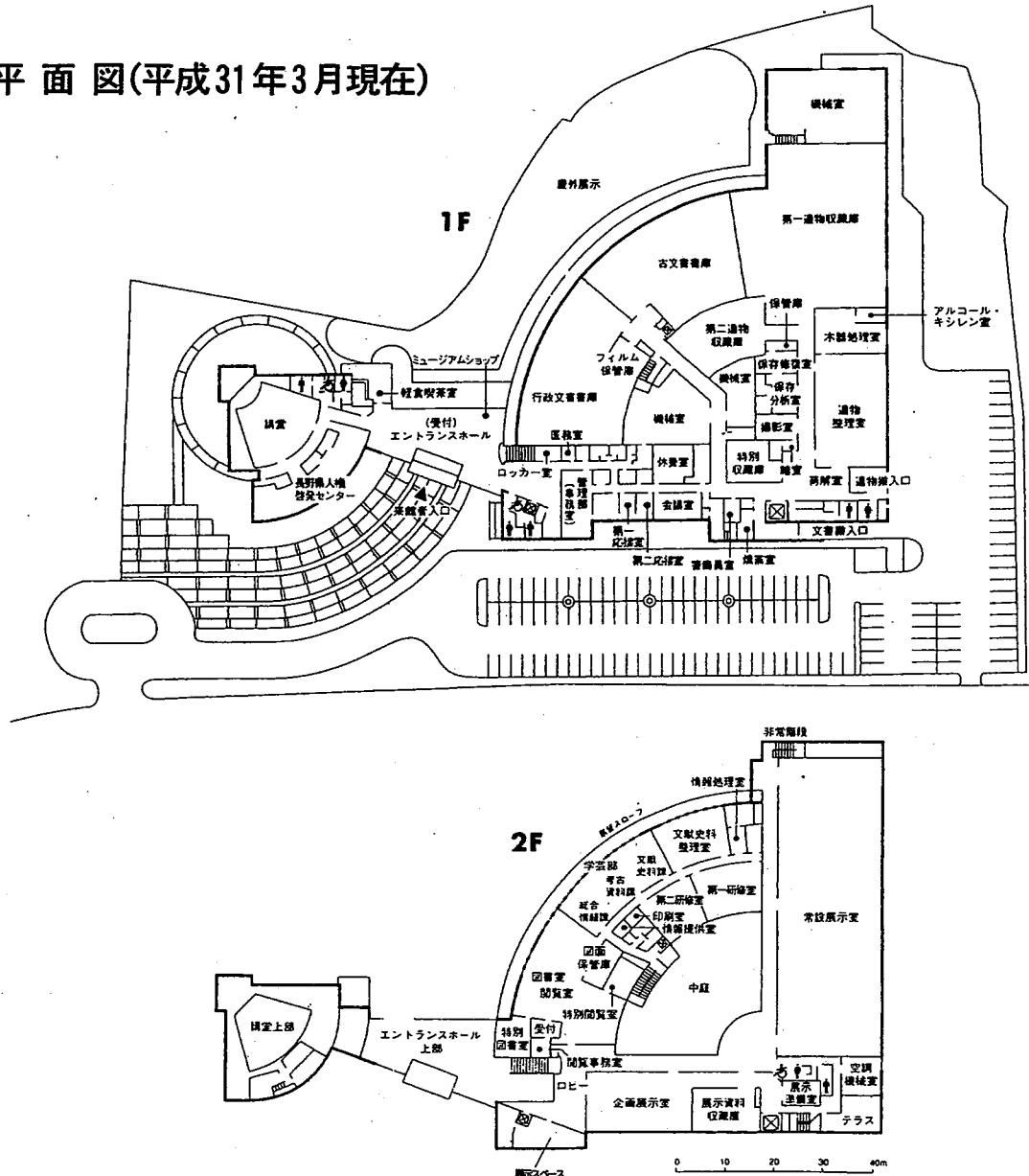
#### 総合情報部門

常設展示室 (1,278 m<sup>2</sup>)、企画展示室 (292 m<sup>2</sup>)、講堂 (238 席)、第一研修室 (実習室) (186 m<sup>2</sup>)、第二研修室 (148 m<sup>2</sup>)、閲覧室 (159 m<sup>2</sup>)、展示準備室、図書室、情報処理室、展示スペース等 等

#### 文献史料部門

文献史料整理室 (145 m<sup>2</sup>)、行政文書書庫 (592 m<sup>2</sup>)、古文書書庫 (583 m<sup>2</sup>)、薰蒸室、フィルム保管庫 等

### 1 平面図(平成31年3月現在)



## 2 諸 室

部門	室 名	面積 (m <sup>2</sup> )	用 途	備考
学芸部	常設展示室	1,278	長野県の歴史についての展示	2 階
	企画展示室	292	企画展、特別展、巡回展、速報展など短期間の展示	
	展示資料収蔵庫	131	考古・文献史料以外の展示資料及び企画展示用資料の収蔵	
	展示準備室	42	展示用機材・備品の保管、展示準備作業スペース	
	閲覧室	159	行政文書・図書等の収蔵資料の閲覧	
	特別閲覧室	42	古文書、絵図等特殊資料の閲覧	
	閲覧事務室	16	閲覧に関する事務、各種問合せ・相談の対応	
	図書室	232	図書資料等保管	
	特別図書室	53	特別図書・貴重図書の保管	
	情報処理室	33	企画展、特別展、巡回展、速報展など短期間の展示	
	映像情報室	73	ビデオ映像による歴史学習	
	第一研修室	186	少人数の各種研修、講習	
	第二研修室	148	少人数の各種研修、講習	
	図面保管室	41	発掘調査関係図面保管	
文献史料整理室	文献史料整理室	145	文献史料の分類整理、台帳・目録作成	
	学芸部室	148	学芸部職員の執務	
部門	講堂	225	多人数の各種講演、講座、映写による歴史学習	1 階
	撮影・現像室	55	資料撮影、現像	
	遺物整理室	348	遺物の水洗い・注記・接合・復元	
	保存分析室	45	出土遺物類の各種保存処理・分析	
	木器処理室	97	出土木器の保存処理	
	休養室	37	整理作業員等の休憩、昼食	
	保存修復室	39	遺物の修復	
	X線分析室	13	遺物の分析	
	蛍光X線分析室	12	遺物の分析	
	アルコールキシレン室	19	遺物の保存処理	
	第一遺物収蔵庫	982	出土土器・石器類の収蔵	
	第二遺物収蔵庫	215	出土木器の収蔵	
	特別収蔵庫	71	重要な資史料の収蔵	
管理部門	行政文書書庫	592	行政文書・行政資料の保管	1 階
	古文書書庫	583	寄贈、寄託等の古文書の保管	
	フィルム保管庫	42	マイクロフィルム、映画フィルム等の保管	
	燻蒸室	19	搬入資料の燻蒸	
	小計	6,413		
管理部門	事務室	130	管理部門職員の執務	1 階
	会議室	59	諸会議用	
	エントランスホール	431		
	その他諸室等	3,236	第一応接室、第二応接室、医務室、機械室、軽食喫茶室、廊下 等	
小計		3,856		
長野県人権啓発センター		188		1 階
合計		10,457		

# 一事 業一

## I 平成30年度の主な事業実績

事 業 名		実施時期	利用者数	備考
自 主 主 事 業	常 設 展	年間(267日)	36,649	
	巡回企画展「長野県の遺跡発掘2018」	(4月1日～6月3日)	8,485	
	巡回企画展「長野県の遺跡発掘2018」(伊那文化会館)	7月13日～8月2日	492	
	巡回企画展「長野県の遺跡発掘2018」(塩尻市立平出博物館)	8月11日～9月17日	1,406	
	巡回企画展「長野県の遺跡発掘2018」(浅間縄文ミュージアム)	9月29日～11月25日	1,455	
	夏季企画展「君は河童を見たか」	6月16日～7月29日	5,594	
	秋季企画展「最古の信州ブランド黒曜石」	9月15日～11月25日	8,848	
	冬季展「自然を見つめた田淵行男」	12月15日～2月17日	3,063	
	巡回企画展「長野県の考古学-時代を映す“匠”の技-	3月16日～(3月31日)	858	
	企画展関連講演会等(年13回)	7月～2月	816	
事 業 ・ 講 習 会 等	巡回企画展関連講演会等(年4回)	4月～11月	376	
	県立歴史館の信州学講座(年9回)	4月～3月	868	
	県立歴史館の信州学出前講座in上田・箕輪・諏訪・松本・飯田(年5回)	8月～3月	245	
	考古学講座(年4回)・遺跡探訪会(年1回)	5月～11月	503	
	出前講座(年76回)	4月～3月	6,123	
	バックヤード探検・見学	4月～3月	14,846	
	お出かけ歴史館(小学校7校、公民館等2館)	10月～3月	415	
	考古資料保存処理講習会(年1回)	11月	18	
	文献史料保存活用講習会(年3回)	6・10・2月	115	
	各種講習会・イベント	4月～3月	2,067	
そ の 他	史資料等の閲覧	年間(267日)	3,731	
共 催 事 業	考古学セミナー(年2回)	6月・11月	112	長野県考古学会
	近世史セミナー(年1回)	12月	33	信濃史学会
	古文書愛好会古文書演習(23回)	5月～3月	480	
	古文書愛好会館蔵文書を読む会(7回)	6月～12月	209	
計			97,807	

## II 展示

### 1 常設展示

共通テーマ

「信濃の風土と人びとのくらし」

#### (1) 常設展示のねらい

長野県は中央高地に位置し、古くから東日本と西日本、太平洋側と日本海側を結ぶ結節点として、さまざまな文化の交流の場となり、独自の風土と文化をはぐくんできた。こうした風土と文化がつくられてきた歴史的背景と変遷を明らかにし、その成果を考古資料と文献史料などを活用した展示を通じて示し、信濃の歴史に触れ、歴史学習を深められる場を提供する。

#### ① 常設展示を構成する柱

##### ・課題とテーマをもった展示

東アジアや日本列島の歴史のなかにおける信濃の位置と歴史的変遷の大筋を明らかにするとともに、人びとの生活と風土の諸相を具体的に示す。

##### ・時代性を浮きぼりにする展示

時代ごとの人びとの生活を追体験できるような、臨場感あふれるものとする。

##### ・学問のジャンルをこえた学際的展示

信濃の地方史の特徴といわれる学際的、総合的な歴史研究の成果を生

かして、わかりやすく楽しく考えられるものとする。

#### ② 常設展示の方法

- 常設展示は、歴史館に収蔵される考古資料や文献史料を活用しながら、ローテーション展示など多様な手段を用いた展示とする。

#### ③ 常設展示の内容

##### ・過去を追体験できるメイン展示

原始、古代・中世、近世、近現代の各時代に当時の様子を再現した実物大の環境復原模型を置き、その時代を追体験できるようにする。

##### ・テーマに沿って学習できる周辺展示

各時代の特徴ある史資料を、テーマに沿って展示し、より深い学習ができるようにする。

##### ・マルチメディアによる詳しい解説

周辺展示の理解を助けるために、映像と音声と文字情報で詳しい解説をする。

##### ・各時代の植生を再現し、復原された遺構を展示する屋外展示「縄文の森」「万葉の野」「中世の林」を配置する。

## (2) 構成

### 木曽ヒノキが語る信濃の歴史

中テーマ	展示期間	主な展示資料
赤沢自然休養林と年輪 (実物大環境復原)	平成30年4月～31年3月	ヒノキ立林、植生
	平成30年4月～31年3月	木曽ヒノキ年輪、信濃の歴史年表

### 原始 信濃の風土がはぐくんだ原始の生活

#### 中テーマ ナウマンゾウと黒曜石

大陸と陸続きだった氷河時代に日本列島にやって来たナウマンゾウは、その後渡ってきた先土器時代（旧石器時代）の人びと遭遇した。信濃最初の人びとは、現在の北海道のみの寒さのなかで、黒曜石などでつくった道具を使って狩猟生活をおこなっていた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
最古の狩人	平成30年4月～31年3月	ナウマンゾウ模型（実物大環境復原）、ナウマンゾウ第1臼歯模型他
最初に住んだ人びと	平成30年4月～31年3月	竹佐中原遺跡・日向林B遺跡石器他
発達した狩りの道具	平成30年4月～31年3月	神子柴遺跡、矢出川遺跡石器他

#### 中テーマ 中央高地の縄文文化

1万5,000年前、食料の採集・狩猟を基礎に、土器を使う縄文文化がはじまった。5,000～4,000年前、縄文中期の信州は日本一の人口密集地の一つとなった。本年度は、日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」や県宝「信州の特色ある縄文土器」にちなんだ資料を展示した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
弓矢と土器の出現	平成30年4月～31年3月	隆起線文土器、早期の尖底土器、朽原岩陰遺跡骨角製装身具（複製）他
定住のはじまり	平成30年4月～31年3月	阿久遺跡土器、石器、装身具 他
華やかな土器文化と生業	平成30年4月～31年3月	国宝土偶「縄文のビーナス」複製、札沢・上木戸・剣ノ宮遺跡ほか土器・石器、屋代遺跡群獸骨類他
寒冷化する環境の中で	平成30年4月～31年3月	国宝土偶「仮面の女神」（複製）、村東山手・北村遺跡土器・石器 他

縄文のムラ（実物大環境復原）	平成30年4月～31年3月	竪穴住居、高床建物、縄文の秋の植栽・動物 他
----------------	---------------	------------------------

### 中テーマ 稲をつくった信濃人

3,000年前、大陸から新しい文化と縄文文化の伝統の上に、九州北部では水田稲作をする弥生文化が生まれた。500年後、長野県の地域にも、稲作のくらしがはじまった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
弥生時代のムラ	平成30年4月～31年3月	松原遺跡土器、篠ノ井遺跡石器、人面付土器、銅鐸（レプリカ）他

### 中テーマ 古墳に葬られた人びと

4世紀ごろ、農業が生み出した富を手にした有力者が、人びとの上に立った。かれらの力は、古墳に示されている。5世紀の有力者は、武人として近畿地方の有力者に結びつき、朝鮮半島との交流もおこなった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
炉からカマドへ	平成30年4月～31年3月	篠ノ井遺跡群・榎田遺跡土器
黄泉の国へ	平成30年4月～31年3月	陣馬塚古墳大刀、松原遺跡馬具・勾玉 他
朝鮮半島からの文化	平成30年4月～31年3月	天冠、帶金具 他

## 古代 信濃国のなりたちと人びとのくらし

### 中テーマ 条里と水田

人々は自然を開発し、調和を保ちながら農業を営んできた。土地に刻まれている農業の歴史が、ほりだされた水田の跡から読み取れる。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
水田の跡を掘る	平成30年4月～31年3月	石川条里遺跡の土層
水田と農具の変化	平成30年4月～31年3月	木製農具（鍬、鋤、杵、槌、えぶり）
条里水田	平成30年4月～31年3月	条里区画変遷模型

### 中テーマ 都と信濃

7世紀ごろ法律をよりどころとする律令政治が始まった。全国は60以上の国ぐにからなり、國のもとに郡が置かれた。信濃国は10郡に分かれ、人びとはそれまでより都を意識したくらしをおくるようになった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
古代の布	平成30年4月～8月	屋代木簡10号（複製）、苧引金具、紡錘車、信濃国印（復原）、正倉院白布（模造）、布袴（模造）
屋代木簡の世界	平成30年9月～31年3月	国符木簡・九九算木簡（複製）、木製祭祀具（人形、馬形、蛇形、斎串）、屋代遺跡群調査区（模型）

### 中テーマ 平安時代の村のくらし

多くの農民が貧しくくらす一方で、豊かな農民があらわれた。彼らは、11～12世紀、武力をたくわえて領主へと成長する。古文書などではわからない彼らのくらしの実態を、発掘調査が明らかにしている。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
荘園と国衙	平成30年4月～31年2月	須恵器大甕、緑釉椀、緑釉皿、土師器皿、須恵器円面硯、帶金具、長良私印（複製）、貞觀寺田地目録（複製）、鰐口（模造）、磬（模造）
富裕農民の世界	平成31年2月～31年3月	須恵器大甕、緑釉椀、緑釉皿、須恵器円面硯、帶金具、長良私印（複製）、瓦塔、せん仏、銅鏡

### 中世 信濃武士と百姓のくらし

#### 中テーマ 武士の争乱と信濃

領主としての武士は、貴族などと結んで荘園や牧をひらき、騎馬戦を得意とする武装集団となつた。しかし、信濃は大名が育たないまま、隣国大名の奪い合う場となつていった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
木曾義仲と荘園	平成30年3月～7月	平家物語図屏風、木曾義仲合戦図屏風、源平合戦図屏風、源頼朝下文（複製）、木曾義仲下文（複製）
大塔合戦から川中島へ	平成30年9月～31年2月	大文字の旗（複製）、足利尊氏御教書（複製）、市川経助軍忠状（複製）、飯尾常房書状、大塔物語

### 中テーマ 鎌倉時代の善光寺門前

鎌倉時代には、土地の開発がすすんだ。しかし、災害・飢え・伝染病が絶えなかった。善光寺門前の日常生活とはなやかな仏の世界。ここでは現世と来世、地獄と極楽が隣りあっていた。

テーマ	展示期間	主な展示資料
善光寺と中世の祈り	平成30年3月～31年2月	善光寺仏中尊像、密教法具、一遍聖絵（複製）、一遍上人絵詞伝（複製）
鎌倉時代の善光寺門前（実物大環境復原）	平成30年3月～31年2月	棚店、在家、仏師屋、寺庵

### 中テーマ 交通と流通

信濃の武士や寺院・神社は、日本各地や中国・朝鮮と交流し、たくさんの品物や文化をとりいれた。寺社の門前や人の集まるところには市が立って、商業がさかんになり交通も発達した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
東アジアと信濃	平成30年3月～7月	青磁花瓶、青磁盤、宋銭・明銭、常滑焼、湖亭春望図
錢を使う人びと	平成30年9月～31年2月	薄葉景光太田莊神代郷代官職請文、市川盛房置文、宋銭・明銭、常滑焼

### 近世 江戸時代の町と村のくらし

#### 中テーマ 領主と町・村

江戸時代になると武士は城下町に住み、役人として俸禄を得る官僚的な制度が確立し、文書によって広い地域を統一的に支配した。村には検地を受けて百姓身分となった人びとが住んだ。村では、大庄屋や番所の番人などの役目を果たした村役人もいた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
関所と番所	平成30年4月～31年2月	松代藩立屋口番所資料（突棒、袖搦、刺股）、同古文書（通行許可願、番所規定等）、旅籠屋看板
城と城下町（雛人形）	平成31年3月	享保雛、松本押絵、田中平八雛人形、浅葱綿子地雪持柳椿春草模様打掛

正保信濃国絵図	平成30年4月～31年3月	正保の信濃国絵図（複製）、年貢皆済目録（複製）
---------	---------------	-------------------------

### 中テーマ 庶民生活の高まり

農家のくらしは、18世紀に大きく変わった。農業技術が進んで収穫が増し、商品作物の栽培や諸かせぎも発達して収入を得、麻から木綿へ、1日2食から3食へなど、衣食住が向上し、村の社会生活も変わりはじめた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
くらしの高まり	平成30年4月～31年3月	パネル「木綿と染色」「機織り機の変遷」、大麻・カラムシ等の実物
江戸時代の農家	平成30年4月～31年3月	江戸前期中層農家（実物大環境復原）、農家で使った生活用品や作業用具

### 中テーマ 中馬と地場産業の発達

貨幣経済の発達により、信濃国を通る中山道や北国街道などの街道を、さまざまな人や物が流通した。信濃では馬の背に荷物を積んで直接相手先へとどける中馬といわれる輸送手段が発達した。この中馬の活動と結びあって、信濃各地の地場産業が発達した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
中馬と塩の道	平成30年4月～31年3月	ランドサット図
信州中馬	平成30年4月～31年3月	中馬装束模型、映像「信州中馬」
中山道福島宿	平成30年4月～7月	宿場絵図（福島宿）、本陣・問屋間取図、木曾街道六十九次之内 福しま満、旅装束（旅合羽、笠、草鞋）、馬頭観世音・道祖神（複製）
千曲川通船	平成30年9月～31年2月	千曲川通船川沿絵図、船形どり図面、千曲川筋難場工事目論身帳、通船荷物運賃定、積荷改証
街道の風景	平成31年3月	信州松本通見取絵図控（小諸町）、中山道長篠宿高札、薬屋看板、関札、馬頭観世音、道祖神

### **中テーマ 信州文化と民衆意識**

江戸時代後半になると、庶民の手による庶民のための文化が各地で発達した。祭りの日には若者たちが化粧をして歌舞伎や人形芝居、相撲興行などを行った。寺社参詣を目的とした旅も盛んになり、信州へは善光寺参りでにぎわった。幕末には開国・倒幕で国が揺れ、公武合体による和宮降嫁がおこなわれるなどして、明治時代へとつながっていった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
豪農の世界	平成30年4月～7月	婚礼の祝い膳（復原）、婚礼の献立文書（複製）
街道の風景	平成30年9月～31年3月	信濃国善光寺略絵図、善光寺道名所図会、旅の携行品（行李、矢立、煙管、道中記類ほか）
祭りの人形芝居	平成30年4月～31年3月	大田切人形、黒田人形（時姫、佐々木高綱）、映像「黒田人形」、
中山道の明治維新	平成30年4月～7月	和宮行列図（複製）、『和宮様御下向二付宿内御宿帳』『和宮様御下向御人数帳』、黒船来航図
庶民の旅	平成30年4月～31年3月	諸国道中商人鑑、木曽路名所図会、江戸より松代迄道中記、信州更科田毎の月、信州諏訪氷之図

### **近現代 世界につながる県民のくらし**

#### **中テーマ 蚕糸王国長野県**

江戸時代末から明治初めにかけて外国との交流が始まると、長野県はいち早く器械製糸をとりいれた。繭・蚕種・生糸などの生産の近代化をはかった結果、日本一の「蚕糸王国」となった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
長野県の誕生	平成30年4月～31年3月	筑摩県長野県設置布告、筑摩県絵図、筑摩県の印章、下問会議書類、説論要略、信濃國合併布達
お蚕さま	平成30年4月～31年3月	蚕の発育順序模型、蚕種原紙、生糸製糸組合奉納絵馬、まぶし
世界につながる蚕糸業	平成30年4月～31年3月	上田蚕糸専門学校学生ノート、器械製糸生糸、操糸鍋、シルクラベル

近代の製糸工場	平成30年4月～31年3月	富岡製糸場錦絵、埴科郡西条邑六工製糸場之図、女工募集告諭書、『松代名所図会』
工女の生活	平成30年4月～31年3月	製糸工女の服装、教婦の服装、工女の食事
近代の製糸工場(実物大環境復原)	平成30年4月～31年3月	ボイラー、水車、繰糸器

### 中テーマ 長野県の大正時代

「国会を開き人民の代表を送ろう、政党をつくろう」という自由民権運動を長野県は全国に先がけてくり広げた。大正に入ると、デモクラシーの時代風潮をうけて個人を尊重する教育や、人権を尊重する運動を展開した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
信州教育	平成30年4月～31年3月	黒板、児童用二人掛け机、算盤（五つ玉）、農民美術作品、織物標本
おもちゃ(トピックス)	平成30年4月～31年3月	出世双六、キューピー人形、メンコ
戦前の観光信州	平成30年4月～31年3月	鳥瞰図『長野県の温泉と名勝』・『長野電鉄沿線温泉名所案内』

### 中テーマ 昭和恐慌と満州移民

蚕糸王国長野県は昭和初めの大恐慌で大打撃をうけた。そこから抜け出すため県は満州（中国東北区）移民を積極的にすすめた。移民者や兵士たちの尊い命が奪われ「銃後」の県民も苦しんだ。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
様ざまな戦争体験	平成30年4月～31年3月	『満洲更科郷のスケッチ』、「終戦の記」、灯火管制覆

### 中テーマ 地域とくらしの変化

1945年、終戦を機に日本は民主主義の国として再出発した。1960年代から経済は大いに発展し、生活も向上した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
長野県の高度経済成長	平成30年4月～31年3月	攪拌式洗濯機、一槽式洗濯機、足踏み式ミシン、ナショナルホームラジ

		オ、ナショナル電気こたつ、4号電話機、カメラ、腕時計、1970年代雑誌創刊号
--	--	--

### マルチメディア 「マルチメディア 長野県の歴史散歩」

一次メニュー	二次メニュー
各時代を見る	原始・古代・中世・近世・近現代の衣食住を映像と解説でみて調べる
各時代をくらべる	原始・古代・中世・近世・近現代の衣食住を比較しながらその違いを学習する
歴史クイズ	原始・古代・中世・近世・近現代コーナーと全時代から歴史クイズを出題
歴史ビデオ	大地に歴史を掘る　古代高速道・東山道　木曽式伐木運材図絵　犀川線のあゆみ
唱歌・童謡のふるさと信州	県内を代表的する唱歌・童謡の歌詞　楽しく学べる童謡・唱歌クイズ

### 屋外展示 歴史のこみち

中テーマ	展示期間	主な展示資料
縄文の森	平成30年4月～31年3月	植栽 敷石住居跡
万葉の野	平成30年4月～31年3月	植栽 豎穴式石室

縄文の森の説明文（参考）

5000～6000年前、縄文人が生活の舞台とした森は、クリ、コナラ、クヌギなどの木の実をもたらし、縄文人はこれら森の資源を積極的に活用し、アク（シブ）をぬいたりして食べた。また、漆を使って木器や土器を美しく仕上げた。

万葉の野の説明文（参考）

古代の野は、原則としてだれもが自由に利用できる地であり、そこの動植物は人びとの生活にとってかかせないものであつた。人びとの心情は、万葉集の数多くの歌に詠まれている。

中世の林	平成 30 年 4 月～31 年 3 月	植栽
中世では、屋敷のまわりに柿・梨・胡桃・柘榴・唐桃などの果物類が植えてあった。村のあちこちには栗林や竹林もあった。		五輪塔群

## 2 企画展示等

### ●夏季企画展

「君は河童を見たか！

—水辺の出会いー」

平成30年6月16日(土)～7月29日(日)

(開催日数 38日間)

入場者数 5,594人

主催 長野県立歴史館

後援 信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、中日新聞社、産経新聞長野支局、市民タイムス、市民新聞グループ(7紙)、長野市民新聞社、長野日報社、南信州新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送、日本ケーブルテレビ連盟信越支部長野県協議会、(公財)八十二文化財団、河童連邦共和国

#### 〈展示趣旨〉

水は人にとって必要不可欠である一方、災いをもたらす原因であった。そのため、水と人の接点となる水辺は、生産の場であると同時に祈りの場でもあった。やがて水を制御できると考えはじめると、圧倒的な力を持つ神ではなく、河童が姿を現した。

水辺に暮らす河童は、人が暮らす世界と水の世界を往来し、人に幸を運んできたり、あるいは恐怖を与えてきた。そして、人に寄り添いながら、時代とともに立場を変えてきた。

本展示では、各時代における河童のイメージを通して、人の水に対する意識の変化を示す。そのことを通して、県内の水にまつわる景観を再認識し、河童ともども水辺への関心が高まることを願う。

#### 〈展示構成及び展示資料〉

##### 【I 君は河童を見たか！】

- ・上高地河童橋の写真から問い合わせ「河童は見られるのか?」「会えるのか?」河童の基本的情報をパネルをもとに再確認する。河童の自己紹介。
- ・主な展示資料：現代の上高地河童橋の写真パネル、河童に関する基本情報パネル(特徴、時代、分布、呼び名など)

##### 【II 河童が生まれるまで】

- ・原始～中世まで、人と水の関係(距離を置く、技術を使う、祈る等)の内、河童につながる「祈り」の要素を紹介。怪異の出現が河童の出現へ。
- ・主な展示資料：蛙装飾付土器(宮田村教育委員会蔵)、河童形土偶複製(糸魚川市教育委員会蔵)、弥生以後の湧水祭祀関係遺物(当館蔵)、古代以後の水辺の祭祀関係遺物(当館蔵)、カータリ(松本市博蔵)、百鬼夜行絵巻(真田宝物館蔵)

##### 【III 河童誕生!】

- ・近世に入り、水を制御できるようになると、圧倒的な神ではなく、異界に暮らす河童が姿を現す。都市化が進み、水への畏れが薄らいだ江戸では、河童が様々な形で表現される。
- ・主な展示資料：和漢三才図会(当館蔵)、寛永年中豊後国捕候水虎之

図（川崎市民ミュージアム蔵）、河童の手（個人蔵）、カワウソ剥製（柏崎市博蔵）、河童関連錦絵（国立歴史民俗博物館蔵）

#### 【IV 信濃の河童伝説】

・河童情報の広がりとともに、県内でも様々な水との関わりが河童との関係で語られ、多くの伝承が残る。

遺物が残る駒ヶ根つうふう妙薬を中心展示。

・主な展示資料：長野県内の河童伝承場所パネル、痛風薬「加減湯」関係資料（駒ヶ根市天竜かっぱ広場おもしろかっぱ館蔵）、銅罐子（長野市松代町大峰寺蔵）県内の主な河童伝承パネル（廊下））

#### 【V 人間界の河童たち】

・近代以降、さらに水の制御が進み水への恐怖が薄らぐと、河童は人間界に進出し、親しみのある存在になる。水辺への関心が低くなると、河童も水辺から離れ、人間と同じような生活を送る。

・主な展示資料：小川芋鉢作品（牛久市蔵）、倉島丹浪作品（個人・千曲市蔵）、今土焼（東京都江戸東京博物館蔵）

#### 【VI 人と河童の未来へ】

・上高地を訪れた芥川は小説「河童」を発表した。今も人びとは美しい信州の水辺に魅力を感じ、河童はそのシンボルとして健在である。水辺に行って河童に会おう！

・主な展示資料：上高地河童橋関係資料（個人・松本市博蔵）、芥川龍之介「水虎晩帰之図」複製（山梨県

立文学館蔵）、廊下パネル（駒ヶ根市、飯田市かわらんべ、河童連邦共和国）

#### 〈行事〉

##### (1) 講演会

① 6月16日(土) 13:30~15:00

テーマ「妖物の誕生新」

講師 西山 克氏

（関西学院大学文学部教授）

参加者 135名

##### (2) 講座

① 7月14日(土) 13:30~15:00

テーマ「河童が誕生するまで

－人と水の関係史－」

講師 寺内隆夫（当館職員）

テーマ「君は河童を見たか！

－水辺の出会い－」

講師 溝口俊一（当館職員）

参加者 111名

##### (3) 歴史館で夏休み

① 7月28日(土) 10:00~15:00

石のアクセサリーブレイブ、河童の昔話上映など

参加者 277名

#### 〈印刷物〉

ポスター B2判片面カラー 2,100部

チラシ A4判両面カラー 20,000部

図録 A4判 96頁 1,000冊

#### 〈担当〉

総合情報課 大竹憲昭、溝口俊一、

寺内隆夫

#### ●秋季企画展

「最古の信州ブランド黒曜石～先史社会の石材獲得と流通～」

平成30年9月15日(土)～11月25日

(日) (開催日数 62 日間)

入場者数 8,848 人 (企画展示室観覧者数)

主催 長野県立歴史館

後援 信濃毎日新聞社、朝日新聞長総局  
読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、中日新聞社、産経新聞長野支局、市民タイムス、市民新聞グループ(7紙)、長野市民新聞社、長野日報、南信州新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送、日本ケーブルテレビ連盟信越支部長野県協議会、(公財)八十二文化財団

協力 信州黒曜石文化研究会(茅野市・諏訪市・長和町・佐久穂町・下諏訪町・富士見町・原村・長野県埋蔵文化財センター・明治大学黒曜石研究センター)

#### 〈展示趣旨〉

長野県の霧ヶ峰から八ヶ岳にかけての「信州黒曜石原産地」は本州最大規模を誇り、日本を代表する黒曜石原産地のひとつ。この信州黒曜石原産地への注目は古くは大正時代までさかのぼり、以来日本の黒曜石研究の最前線の地となっていました。また黒曜石は3万数千年前の旧石器時代から利用がはじまります。旧石器人は露頭から転げ落ちた手ごろな原石を拾い、石器の材料としていました。2万年前になると産地に拠点を設け、各地に搬出していったことが原産地内の遺跡から確認できるようになります。そして縄文時代に

なると星糞峠や星ヶ塔山に鉱山が出現し、地面を掘って黒曜石を獲得するようになりました。その後、弥生時代になり鉄器が普及するまで黒曜石の利用は続きました。最古の信州ブランド黒曜石は3万年におよぶ信州の人びとの文化・交流の歴史を物語るものと言えます。

文化の十字路信州、旧石器時代より黒曜石を求めて人びとは集い、縄文王国といわれるほどの繁栄を遂げました。その繁栄には黒曜石の存在が欠かせませんでした。「信州黒曜石文化はすごい！」日本の中の信州文化について黒曜石を通じて描き出します。

#### 〈展示構成〉

第Ⅰ章 黒曜石

第Ⅱ章 黒曜石研究の聖地

第Ⅲ章 黒曜石利用のはじまり

第Ⅳ章 縄文文化を繁栄に導いた黒曜石

第Ⅴ章 北と南の黒曜石文化

第Ⅵ章 信州黒曜石文化はすごい!

#### 〈主な展示資料〉

重要文化財: 日向林B遺跡(長野県信濃町)、泉福寺洞穴遺跡(長崎県佐世保市)。

日本遺産(構成資料): 曽根遺跡(諏訪市)、駒形遺跡(茅野市)、男女倉遺跡群(長和町)、星糞峠黒曜石原産地遺跡(長和町)、星ヶ塔黒曜石原産地遺跡(下諏訪町)、阿久遺跡(原村)、曾利遺跡(富士見町)等。

その他: 幌加沢遺跡遠間地点(北海道遠軽町)、多摩ニュータウン遺跡No.939(東京都)、貫ノ木遺跡(信濃町)、矢出

川遺跡(南牧村)、鷹山第Ⅰ遺跡(長和町)、長峯遺跡(茅野市)等。

〈行事〉

(1) 講演会

9月22日(土) 13:30~15:00

演題「黒曜石が語る列島の細石器文化」

講師 堤 隆

(浅間縄文ミュージアム館長)

参加者 94名

(2) イベント

①国際交流子どもサミット

10月20日(土)

・ワークショップ

「英国フリントの石器作り」

・国際交流子どもサミット

「わたしたちの歴史遺産ワークシヨップ」

テーマ「歴史遺産の未来を考える」

参加者

富士見町境小学校縄文クラブ

長和町黒曜石大使

英国ティーンエイジヒストリー  
クラブ

参加人数 133名

(3) 国際シンポジウム

(講演・パネルディスカッション)

①講演

10月21日(日)

演題「先史時代における採掘活動  
の社会的背景」

講師 ピーター・トッピング博士  
(イングリッシュヘリテイジ)

②パネルディスカッション

テーマ「地球資源の開発とその社会」

パネラー

ピーター・トッピング博士

(イングリッシュヘリテイジ)

サイモン・ケイナー 氏

(セインズベリー日本藝術研究所  
所長)

参加者

小野昭氏(東京都立大学名誉教授)

矢島國雄 氏(明治大学教授)

堤 隆 氏(浅間縄文ミュージアム館長)

山科 哲 氏(尖石縄文考古館学芸員)

宮坂 清 氏(諏訪湖博物館赤彦記念館館長)

参加者 41名

(4) ギャラリートーク

① 9月29日(土) 13:30~

参加者 6名

② 10月27日(土) 13:30~

参加者 15名

③ 11月3日(土・祝) 13:30~

参加者 50名

④ 11月23日(土) 13:30~

参加者 21名

※考古学セミナー

テーマ「黒曜石原産地と遺跡に関わる保存・活用のあり方」

参加者 32名

(5) コンサート・トークショー

11月3日(土・祝)

① コンサート 13:00~13:30

テーマ 黒曜石の世界

シンガーソングライター

葦木ヒロカ 氏

② トークショー 14:00~15:00

参加者 葦木ヒロカ 氏

大竹幸恵 氏(長和町黒耀  
石体験ミュージアム)  
水澤教子(県立歴史館)

- ・ワークショップ  
「英国フリントの石器作り」
  - ・国際交流子どもサミット  
「わたしたちの歴史遺産ワークシ  
ョップ」
  - テーマ「歴史遺産の未来を考える」
- 参加者 50名

#### 〈印刷物〉

ポスター B2判 表カラー 2,100部  
チラシ A4判 両面カラー 20,000部  
図録 A4判カラー96頁 1,300部

#### 〈担当〉

総合情報課 大竹憲昭、水澤教子  
考古資料課 町田勝則

### ●冬季展

「自然を見つめた田淵行男」  
平成30年12月15日(土)～平成31  
年2月17日(日) (開催日数 50日間)  
入場者数 3,063名  
主催 長野県立歴史館  
共催 安曇野市、安曇野市教育委員会  
特別協力 田淵行男記念館  
後援 信濃毎日新聞社、朝日新聞長野總  
局、読売新聞長野支局、毎日新聞長  
野支局、産経新聞社長野支局、中日  
新聞社、長野市民新聞社、市民タイ  
ムス、市民新聞グループ(7紙)、  
長野日報社、南信州新聞社、NHK長  
野放送局、SBC信越放送、NBS長野放  
送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放  
送、日本ケーブルテレビ連盟信越支  
部長野県協議会、FM長野、FMぜんこ

うじ、屋代有線放送電話農業協同組  
合、(公財)八十二文化財団

#### 〈展示趣旨〉

山岳写真家の重鎮であった田淵行男  
が亡くなつて30年が経つた(1989年  
没)。蝶の研究家や、山岳写真家の間  
では全国的に有名な田淵であるが、写  
真集(写真文集)の中で自然環境の変  
化によって昆虫が絶滅していく過程  
を訴えてきた。この姿勢を評価した環  
境庁は自然保護思想普及功労賞を贈つ  
た。

今回の展示では田淵のライフワーク  
を軸に、田淵の目を通して安曇野の景  
観の変貌と、雪形の研究の裏で繰り広  
げられた民俗学者向山雅重たちとの心  
温まる交流の軌跡を追つた。

田淵が伝えたかった自然保護の思い  
は、田淵行男記念館による子ども達の  
自然観察会「むしの会」に引き継がれ、  
田淵行男賞が自然保護写真家などに贈  
られている。田淵が残した遺産を県民  
に広く知つていただくためにこの展覧  
会を企画した。

#### 〈展示構成〉

- I ナチュラリスト田淵行男の誕生
- II 安曇野へ
- III 雪形をめぐって
- IV 「写蝶」～チョウを描く～
- V 写真集の制作～田淵行男芸術の到達  
点～
- VI 田淵行男にとっての自然保護思  
想
- VII 参考資料

#### 〈主な展示資料〉

- I ナチュラリスト田淵行男の誕生

- 初冬の浅間 黒斑山の中腹より  
In Hongo 1938-1945
- 初冬の浅間に登る（山のアルバム  
[24]）
- II 安曇野へ
- ハイマツ仙人-タカネヒカゲのこと-
  - 巣作り（フタモンアシナガバチ）
  - 茅葺の集落／白馬菅入
  - 安曇野残影 堀金より 後立山遠望
  - 安曇野に多い石仏や碑
- III 雪形をめぐって
- 野帳（宮田村教育委員会蔵）
  - 向山雅重から田淵行男宛て葉書
  - 白馬岳 代搔き馬
- IV 「写蝶」～チョウを描く～
- アゲハ
  - ギフチョウ
  - 「わが生活の図表 自 1946 年（昭和廿一年一月）」
- V 写真集の制作～田淵行男芸術の到達点～
- 『北ア展望』レイアウト
  - 『山の季節』レイアウト
- VI 田淵行男にとっての自然保護思想  
自然保護思想普及功労賞
- VII 参考資料
- 大型カメラ
  - リトレック テッサー 180mm F4.5 付
- 〈行事〉
- (1) イベント
    - ① 1月 19 日（土）13：30～15：30
    - ② テーマ 対談「田淵行男と人づくり－安曇野の環境保全－」
    - ③ 場所 安曇野市穂高交流学習センター「みらい」
    - ④ 対談参加者
- 帝京科学大学専任講師 江田慧子  
飯田高校校長 卷山圭一  
安曇野市教育委員会文化課長 那須野雅好  
笛本正治館長  
林 誠学芸員  
参加者 120 名
- (2) ギャラリートーク
- ① 12月 23 日（日）13：30～14：30  
参加者 8 名
  - ② 1月 26 日（土）13：30～14：30  
参加者 22 名
  - ③ 2月 16 日（土）13：30～14：30  
参加者 60 名
- 〈印刷物〉
- ポスター B2 判 表カラー 2,100 部
  - チラシ A4 判 両面カラー 20,000 部
  - 招待券 210mm × 75mm 片面カラー  
3,500 枚
- 図録 A4 判カラー 88 頁 1,000 部
- 〈担当〉
- 総合情報課 林 誠、畔上不二男
  - 文献史料課 小野和英
- 巡回企画展  
「長野県の遺跡発掘 2018」  
《歴史館会場》  
平成 30 年 3 月 17 日（土）～6 月 3 日（日）  
(開催日数 56 日間)  
入場者数 8,485 人  
主催 長野県立歴史館・長野県伊那文化会館・塩尻市立平出博物館・浅間縄文ミュージアム・長野県教育委員会  
共催 長野県埋蔵文化財センター・長野県・伊那市・中野市教育委員会・須坂市教育委員会・長野市教育委員会

・塩尻市教育委員会・茅野市教育委員会・下諏訪町教育委員会・辰野町教育委員会・箕輪町教育委員会・伊那市教育委員会・飯田市教育委員会  
後援 信濃毎日新聞社・朝日新聞長野総局・読売新聞長野支局・毎日新聞長野支局・産経新聞長野支局・中日新聞社・長野市民新聞社・市民タイムス・信州・市民新聞グループ(7紙)・長野日報社・南信州新聞社・NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、(一社)日本ケーブルテレビ連盟信越支部長野県協議会、FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送電話農業協同組合、(公財)八十二文化財団

#### 〈展示趣旨〉

平成29年度に県内で発掘や整理を行った遺跡の出土品を、時代や性格にあわせて展示・公開する。今年度は弥生時代をテーマとし、市町村教育委員会が調査し、普段目に触れる機会の少なかった資料の展示も行う。また長野県立大学設立に伴い発掘調査した遺跡についても、4月の開学にあわせて展示・公開する。

#### 〈展示した主な遺跡〉

- 1 長野県埋蔵文化財センター調査遺跡  
ひんご遺跡(栄村)、柳沢遺跡(中野市)、小島・柳原遺跡群(長野市)、長谷鶴前遺跡群(長野市)、山鳥場遺跡(朝日村)
- 2 市町村教育委員会等の調査遺跡  
塩川・須坂・小山遺跡群須坂園芸高校内(須坂市)、塩崎遺跡群(長野市)、

篠ノ井遺跡群(長野市)、浅川扇状地遺跡群長野吉田高校グランド遺跡(長野市)、同桐原宮北遺跡(長野市)、力石条里遺跡群(千曲市)、森平遺跡(佐久市)、枇杷坂遺跡群直路遺跡I(佐久市)、恒川遺跡群(飯田市)、高松原遺跡(飯田市)

#### 3 長野県立大学設立に関わる発掘・調査遺跡

浅川扇状地遺跡群本村東沖遺跡(長野市)、長野遺跡群県町遺跡(長野市)

#### 〈主な展示資料〉

弥生時代をテーマに稻作導入期の力石条里遺跡群や塩崎遺跡群などの墓跡出土資料、水田稻作が定着した時期の篠ノ井遺跡群や恒川遺跡群の収穫用具、さらには弥生終末の浅川扇状地遺跡群や高松原遺跡などの出土土器を展示了。

#### 〈行事〉

##### 講演会

4月21日(土) 13:30~15:00

遺跡報告・パネルディスカッション  
テーマ 「長野県北部の弥生文化を考える」

##### パネラー

田中一穂氏(須坂市教育委員会)  
田中暁穂氏(長野市教育委員会)  
長谷川桂子氏(長野県埋蔵文化財センター)

司会 町田勝則(当館職員)

参加者 85名

### 《伊那会場》

平成 30 年 7 月 13 日（土）～8 月 2 日（木）  
(開催日数 24 日間)

入場者 492 人

#### 〈行事〉

パネルディスカッション

7 月 14 日（土）13:00～15:00

テーマ 「長野県南部の弥生文化を考える」

パネラー

小池岳史 氏 (茅野市教育委員会)

宮坂 清氏 (下諏訪町教育委員会)

福島永氏 (辰野町教育委員会)

濱慎一氏 (伊那市教育委員会)

山下誠一氏 (飯田市教育委員会)

司会 町田勝則 (当館職員)

参加者 42 名

### 《塩尻会場》

平成 30 年 8 月 11 日（土・祝）～9 月  
17 日（月・祝）（開催日数 34 日間）

入場者数 1,406 人

#### 〈行事〉

パネルディスカッション

8 月 18 日（土）13:00～15:00

テーマ 「松本平の弥生文化を考える」

パネラー

直井雅直氏 (松本市教育委員会)

小松学氏 (塩尻市教育委員会)

土屋和章氏 (安曇野市教育委員会)

司会 町田勝則 (当館職員)

参加者 89 名

### 《佐久会場》

平成 30 年 9 月 29 日（土）～11 月 25 日  
(日)（開催日数 50 日間）

入場者 1,455 人

#### 〈行事〉

講演会

11 月 11 日（土）13:30～15:00

演題・講師

「箸墓古墳と卑弥呼」

春成秀爾 氏 (国立歴史民俗博物館  
名誉教授)

参加者 160 名

#### 〈印刷物〉（各会場共通）

ポスター B2 判 表カラー 2,700 部

チラシ A4 判 カラー 30,000 部

リーフレット A3 折カラー 10,000 部

#### 〈担当〉

考古資料課 西山克己、町田勝則

## ● 2019 年長野県立歴史館巡回展

「長野県の考古学」

### 《歴史館会場》

平成 31 年 3 月 16 日（土）～令和元年  
6 月 23 日（日）

（年度内開催日数 13 日間）

入場者数 858 人（3 月末時点）

主催 長野県立歴史館・塩尻市立平出

博物館・飯田市美術博物館

共催 長野県埋蔵文化財センター

後援 信濃毎日新聞社・朝日新聞長野総

局・読売新聞長野支局・毎日新聞長野

支局・中日新聞社・産経新聞長野

支局・市民タイムス・信州・市民新

聞グループ（7 紙）・長野市民新聞

社・長野日報社・南信州新聞社・NHK

### III 教育普及公開

#### 1 学校・団体見学 実施記録

##### (1) 学校見学 実施記録

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
4/11	水	9:45-11:45	小布施町立栗ヶ丘小学校6年生	4	114	6	○	探検	
4/12	木	10:30-12:00	中野市立平野小学校6年生	3	91	4	○	探検	
4/18	水	9:15-10:30	上田市立長小学校6年生	1	14	2	○	探検	
		10:20-12:00	佐久市立岩村田小学校6年生	3	89	5	○	探検	
4/19	木	12:30-14:30	長野市立塩崎小学校6年生	2	56	3	○	探検	
4/20	金	9:00-11:00	長野市立通明小学校6年生	4	114	6	○	探検	
		13:30-15:00	長野市立三輪小学校6年生	3	76	5	○	探検	
4/22	日	13:50-16:15	駒澤大学文学部歴史学科1年生	9	240	14		探検	遺物収蔵庫、文献書庫見学
4/24	火	9:00-10:30	山ノ内町立南小学校6年生	1	14	2	○	探検	
		9:00-10:30	麻績村立麻績小学校6年生	1	13	3	○	探検	
		9:00-10:30	中野市立延徳小学校6年生	1	27	2	○	探検	
		10:30-12:00	千曲市立屋代小学校6年生	3	84	3	○	探検	
		12:00-14:00	長野市立三本柳小学校6年生	4	119	6	○	探検	
		14:00-15:30	長野市立青木島小学校6年生	4	107	4	○		
4/25	水	9:00-10:30	長野市立加茂小学校6年生	1	26	2	○	探検	
		10:30-12:00	長野市立鍋屋田小学校6年生	1	33	3	○	探検	
4/26	木	9:00-10:30	須坂市立井上小学校6年生	2	39	3	○	探検	
		10:30-12:00	上田市立塩尻小学校6年生	1	33	2	○	探検	
		13:00-15:00	長野市立大豆島小学校6年生	5	146	6	○	探検	
4/27	金	9:00-10:30	長野市立安茂里小学校6年生	2	40	2	○	探検	
		10:30-12:00	長野市立山王小学校6年生	2	38	3	○	探検	
		10:45-12:00	安曇野市立明南小学校6年生	2	55	3	○		
		12:00-13:30	長野市立芹田小学校6年生	4	114	6	○		
		12:50-14:40	長野市立信里小学校6年生	2	23	3	○	探検	
5/1	火	9:00-11:00	長野市立吉田小学校6年生	4	112	5	○	探検	
		9:10-10:10	長野市立松代小学校6年生	2	48	2	○		
		10:30-12:00	長野市立中条小学校6年生	1	15	3	○	探検	
		13:30-15:00	長野市立豊野西小学校6年生	2	55	3	○	探検	
5/2	水	9:00-10:30	長野市立古牧小学校6年生	3	104	5	○		
		9:00-10:30	上田市立神科小学校6年生	4	128	6	○	探検	
		9:30-10:40	長野県上田高校2年生	2	37	2	○		
		10:30-12:00	上田市立西小学校6年生	2	67	3	○	探検	
		10:30-12:00	長野市立豊野東小学校6年生	1	28	2	○	探検	
		12:00-13:30	長野市立篠ノ井東小学校6年生	2	70	3	○	探検	
		12:00-13:30	坂城町立南条小学校6年生	2	61	4	○		
5/8	火	13:30-15:00	長野市立保科小学校6年生	1	23	2	○	探検	
		9:00-10:30	長野市立古里小学校6年生	3	89	5	○	探検	
		10:30-12:00	飯山市立飯山小学校6年生	2	63	4	○	探検	
		12:00-13:30	須坂市立須坂小学校6年生	2	37	2	○	探検	2校合同で来館
		12:00-13:30	須坂支援学校6年生	1	3	2	○	探検	
5/9	水	13:30-15:00	安曇野市立穂高西小学校6年生	3	76	5	○	探検	
		9:00-10:30	上田市立川西小学校6年生	2	41	3	○		
		9:00-10:30	須坂市立森上小学校6年生	2	58	3	○	探検	
		10:30-12:00	長野市立西条小学校6年生	1	11	2	○	探検	
		10:30-12:00	佐久市立東小学校6年生	2	60	3	○	探検	
		12:00-13:30	長野市立綿内小学校6年生	3	72	4	○	探検	
5/9	水	12:20-12:50	妙高市立妙高高原北小学校6年生	1	18	2			
		12:20-14:20	大田区立池雪小学校6年生	5	184	13	○		
		13:30-15:00	長野市立若槻小学校6年生	2	64	4	○	探検	

長野放送局・SBC 信越放送・NBS 長野放送・TSB テレビ信州・abn 長野朝日放送・FM 長野・FM ぜんこうじ・屋代有線放送電話農業協同組合・(一社)日本ケーブルテレビ連盟信越支部長野県協議会・(公財)八十二文化財団

#### 〈展示趣旨〉

長野県の旧石器時代から縄文時代への移行期、生きていくために必要な狩りの道具や煮炊き用の土器が登場します。人々は、機能性の優れた道具を作り続けましたが、そこに”匠の技”とも呼ぶべき技術開発がありました。今回の展示では、石器の移り変わりと土器の登場をテーマに展示します。また昨年「信州の特色ある縄文土器」として長野県宝に指定された土器から主なものを展示公開します。さらに日本遺産認定記念として信州にある二つの黒曜石鉱山の出土資料を展示します

#### 〈展示した主な遺跡〉

##### 1 狩猟具の変化と土器の登場

下茂内遺跡(佐久市)、神子柴遺跡(箕輪村)、星光山荘遺跡(信濃町)、貫ノ木遺跡(信濃町)、東裏遺跡(信濃町)、山の神遺跡(大町市)、松原遺跡(長野市)ほか

##### 2 長野県宝記念展示

海戸遺跡(岡谷市)、花上寺遺跡(岡谷市)、梨久保遺跡(岡谷市)、居沢尾根遺跡(原村)、大石遺跡(原村)ほか

##### 3 日本遺産認定記念展示

星糞峠黒曜石原産地遺跡(長和町)、星ヶ塔黒曜石原産地遺跡(下諏訪町)

#### 4 長野県埋蔵文化財センター調査遺跡

##### 展示

浅川扇状地遺跡群桐原宮北遺跡(長野市)、長谷鶴前遺跡群(長野市)

##### 〈主な展示資料〉

下茂内遺跡の槍先形尖頭器の製作関連資料、貫ノ木遺跡の日本最古級の土器、花上寺遺跡の有孔鍔付土器、大石遺跡の有孔鍔付土器、黒曜石鉱山の出土土器と黒曜石原石、桐原宮北遺跡の東海系土器など。

##### 〈印刷物〉 (各会場共通)

ポスター B2 判表カラー 2,500 部  
チラシ A4 判カラー 20,000 部  
リーフレット A3 折カラー 8,000 部

##### 〈担当〉

考古資料課 西山克己、近藤尚義、  
町田勝則

#### ●ミニ展示

「県歌 50 年」作詞家「浅井冽の書を見る」  
平成 30 年 5 月 19 日(土)～6 月 17 日(日)

(開催日数 26 日間)

入場者数 965 人

主催 長野県立歴史館

担当 山田直志、林 誠

#### ●ミニ展示

信州の「野球史 夏」

平成 30 年 6 月 23 日(土)～7 月 29 日(日)

(開催日数 32 日間)

入場者数 996 人

##### 〈行事〉

abn 番組(長野若里市民文化センター)でパネル展示  
平成 30 年 5 月 19 日(土)入場者数 550 人  
主催 長野県立歴史館  
担当 西山克己、近藤尚義

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
5/10	木	9:00-10:30	上田市立北小学校6年生	2	69	4	○	探検	
		10:30-12:00	長野市立川田小学校6年生	1	27	3	○	探検	
		10:30-12:00	松本市立田川小学校6年生	1	34	3	○	探検	
		13:30-15:00	池田町立池田小学校6年生	1	34	2	○	探検	
		13:30-15:00	千曲市立治田小学校6年生	2	63	3	○	探検	
5/11	金	9:00-10:30	上田市立本原小学校6年生	1	37	2	○	探検	
		9:00-10:30	飯綱村立牟礼小学校6年生	2	47	4	○	探検	
		10:30-12:00	上田市立城下小学校6年生	2	74	3	○	探検	
		12:15-13:45	長野市立大岡小学校6年生	1	5	1	○	探検	
		13:20-14:20	佐久市立中佐都小学校6年生	2	52	2			
5/13	日	13:00-14:45	大田区立松仙小学校6年生	4	154	10	○	探検	
5/15	火	9:00-10:30	野沢温泉村立野沢温泉小学校6年生	1	29	3	○	探検	
		10:30-12:00	長野市立徳間小学校6年生	3	100	5	○	探検	
		10:30-11:30	練馬区立立野小学校6年生	2	72	8	○		
5/16	水	9:00-10:30	千曲市立埴生小学校6年生	3	105	4	○	探検	
		10:30-12:00	長野市立松ヶ丘小学校6年生	2	51	3	○	探検	
		10:30-12:30	坂城町立坂城小学校6年生	2	47	3	○	探検	
		12:00-13:30	千曲市立更級小学校6年生	1	25	2	○	探検	
		13:30-15:00	練馬区立豊玉南小学校6年生	3	81	9	○	探検	
5/17	木	9:00-10:30	上田市立東小学校6年生	3	85	3	○	探検	
		10:30-12:00	佐久市立浅科小学校6年生	2	66	3	○	探検	
		13:30-15:00	佐久市立平根小学校6年生	2	42	3	○	探検	
5/18	金	9:00-10:30	須坂市立小山小学校6年生	3	77	4	○	探検	
		10:00-11:00	大田区立梅田小学校6年生	5	144	11	○		
		10:30-12:00	朝日村立朝日小学校6年生	2	40	3	○	探検	
		10:30-12:00	岡谷市立岡谷田中小学校6年生	3	78	4	○		
		12:00-13:30	佐久穂町立佐久穂小学校6年生	3	80	4	○	探検	
		13:30-15:00	高山村立高山小学校6年生	2	68	3	○	探検	
5/22	火	9:00-10:30	松本市立明善中学校2年生	3	77	6	○	探検	
		10:30-12:00	安曇野市立豊科北小学校6年生	3	81	5	○	探検	
		11:00-12:30	糸村立糸小学校6年生	1	12	2	○	探検	
		12:30-15:00	佐久市立岸野小学校6年生	1	28	2	○	探検	
5/23	水	9:00-10:30	中野市立高丘小学校6年生	1	30	2	○	探検	
		11:00-12:30	佐久市立佐久平浅間小学校6年生	3	103	6	○	探検	
5/24	木	10:30-12:00	小谷村立小谷小学校6年生	1	27	2	○	探検	
		11:00-12:30	練馬区立石神井東小学校6年生	2	61	8	○	探検	
		13:00-15:00	小諸市立美南方丘小学校6年生	4	107	6	○	探検	
5/25	金	9:00-10:30	池田町立会染小学校6年生	2	35	3	○	探検	
		10:30-11:55	南牧村立南牧北小学校6年生	1	11	2	○	探検	
		10:30-12:00	小海町立小海小学校6年生	1	27	2	○	探検	
		10:30-13:30	中野市立中野小学校6年生	4	138	7	○		
		12:00-13:30	軽井沢町立軽井沢中部小学校6年生	3	89	4	○	探検	
		13:30-14:40	大町市立大町南小学校6年生	2	43	4	○	探検	
5/26	土	10:00-12:00	大田区立嶺町小学校6年生	4	128	10	○	探検	
5/27	日	13:00-14:30	大田区立清水窪小学校6年生	1	29	4	○	探検	
5/29	火	9:00-10:30	小諸市立東小学校6年生	2	68	4	○	探検	
		9:20-10:50	飯山市立戸狩小学校6年生	1	23	3	○	探検	
		10:00-11:00	長野県小海高校2年生	3	87	6	○		講演会
5/30	水	9:00-10:30	山形村立山形小学校6年生	3	94	6	○	探検	
		10:30-12:00	練馬区立開進第三小学校6年生	3	107	9	○	探検	
		12:50-15:20	安曇野市立豊科南小学校6年生	4	109	4	○	探検	
5/31	木	9:20-10:30	上田市立川辺小学校6年生	3	101	4	○		
		9:30-11:00	大田区立矢口西小学校6年生	4	122	10	○	探検	

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
		13:30-15:00	上田市立清明小学校6年生	2	49	3	○	探検	
6/1	金	9:00-11:00	青木村立青木小学校6年生	2	41	3	○	探検	
		10:30-12:00	立科町立立科小学校6年生	2	61	4	○	探検	
		13:30-15:00	大田区立中富小学校6年生	1	29	4	○	探検	
6/5	火	10:30-12:00	軽井沢町立軽井沢西部小学校6年生	2	50	4	○	探検	
		12:00-13:30	大田区立東調布第一小学校6年生	3	118	8	○	探検	
6/6	水	10:30-12:00	長野市立東条小学校6年生	1	36	2	○	探検	
6/7	木	10:30-12:00	北相木村立北相木小学校6年生	1	10	3	○	探検	2校合同で来館
		10:30-12:00	南相木村立南相木小学校6年生	1	8	1	○	探検	
		11:00-12:00	練馬区立関町小学校6年生	3	112	10	○		
		12:00-13:30	松川村立松川小学校6年生	3	81	4	○	探検	
6/8	金	10:00-11:30	大町市立大町東小学校6年生	1	32	3	○	探検	
		10:30-12:00	穎明館中学校1年生	5	193	10	○		
		10:30-12:00	松本市立山辺小学校6年生	3	92	4	○	探検	
		13:30-15:00	大田区立雪谷小学校6年生	3	106	7	○		
		15:20-16:50	長野大学(市川ゼミ)	1	24	1	○	探検	考古バックヤード処理室等見学
6/9	土	10:00-11:30	大田区立大森東小学校6年生	1	38	3	○	探検	
6/10	日	13:30-15:00	大田区立相生小学校6年生	2	43	6	○	探検	
		11:30-13:00	大田区立山王小学校6年生	3	116	8	○	探検	
6/12	火	9:30-11:30	長野市立昭和小学校6年生	4	133	5	○	探検	
		12:00-13:30	木島平村立木島平小学校6年生	2	48	3	○	探検	
		13:30-15:00	松本市立芳川小学校6年生	3	109	6	○	探検	
6/13	水	9:00-10:30	白馬村立白馬南小学校6年生	1	15	2	○	探検	
		9:00-12:00	長野市立篠ノ井西小学校6年生	4	145	6	○	探検	
		12:00-14:00	長野市立川中島小学校6年生	4	115	5	○	探検	
6/14	木	9:00-10:30	大町市立大町北小学校6年生	2	66	3	○	探検	
		9:00-10:30	大田区立東調布第三小学校6年生	2	43	7	○		
		10:30-12:00	松本市立安曇小学校6年生	1	5	2	○	探検	2校合同で来館
		10:30-12:00	松本市立大野川小学校6年生	1	2	1	○	探検	
		10:30-12:00	生坂村立生坂小学校6年生	1	10	3	○	探検	
		12:00-14:00	長野市立裾花小学校6年生	4	115	4	○	探検	
		13:30-15:00	小川村立小川小学校6年生	1	16	2	○		
		13:30-15:00	上田市立南小学校6年生	4	116	4	○		
6/15	金	9:00-10:30	長野市立緑ヶ丘小学校6年生	3	100	4	○	探検	
		10:30-11:50	長野市立共和小学校6年生	2	61	4	○	探検	
		12:00-14:00	長野市立下氷鉋小学校6年生	4	138	6	○	探検	
6/17	日	12:00-13:30	大田区立東蒲小学校6年生	2	42	6	○	探検	
6/19	火	10:30-13:30	安曇野市立三郷小学校6年生	5	167	10	○	探検	
		13:30-15:00	千曲市立五加小学校6年生	2	60	3	○	探検	
6/20	水	9:45-11:00	稻荷山養護学校中学部2年生	1	7	10			
		12:00-13:30	練馬区立八坂小学校6年生	2	74	7	○	探検	
6/21	木	10:30-12:00	上田市立東塙田小学校6年生	1	33	3	○	探検	
		11:00-12:30	上田市立神川小学校6年生	3	97	4	○	探検	
		13:00-15:00	安曇野市立穂高北小学校6年生	4	128	6	○	探検	
6/22	金	9:00-14:30	松本市立鎌田小学校6年生	5	156	8	○	探検	
		12:00-13:30	長野市立城山小学校6年生	3	75	4	○	探検	
6/23	土	9:30-11:00	大田区立調布大塚小学校6年生	2	43	6	○	探検	
6/24	日	13:00-14:30	大田区立仲六郷小学校6年生	2	42	6	○	探検	
6/26	火	9:40-11:20	練馬区立中村西小学校6年生	2	57	8	○	探検	
		14:20-15:50	伊那市立伊那小学校4年生	3	96	7	○	探検	
6/27	水	9:40-10:40	上越市立春日小学校6年生	4	116	7	○		
		10:30-12:00	上田市立傍陽小学校6年生	1	17	3	○	探検	
		13:50-15:00	飯田市立伊賀良小学校4年生	4	144	7	○		

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
6/28	木	10:30-12:00	練馬区立光が丘春の風小学校6年生	3	81	8	○	探検	
		13:00-14:30	軽井沢町立軽井沢東部小学校6年生	1	29	3	○	探検	
		13:30-15:00	大田区立大森第四小学校6年生	3	102	9	○	探検	
		14:10-15:20	千曲市立東小学校アブリコットタイム	1	30	2	○		
6/29	金	10:30-12:00	小諸市立坂の上小学校6年生	2	61	4	○	探検	
		13:30-15:00	安曇野市立豊科東小学校6年生	2	41	3	○	探検	
7/1	日	13:30-15:00	大田区立馬込第三小学校6年生	3	99	9	○	探検	
7/3	火	9:00-12:00	松本市立菅野小学校6年生	4	111	6	○	探検	
		12:00-13:30	小諸市立水明小学校6年生	2	64	4	○	探検	
7/4	水	10:30-12:00	上田市立丸子中央小学校6年生	3	83	5	○	探検	
		13:00-15:00	長野県屋代高校附属中学校2年生	1	8	1	○		
		13:30-15:00	駒ヶ根市立赤穂東小学校4年生	3	87	7	○	探検	*
7/5	木	9:00-12:00	塩尻市立桔梗小学校6年生	4	114	4	○	探検	
		12:20-13:50	山ノ内町立山ノ内西学校6年生	1	24	2	○	探検	
7/6	金	9:00-10:30	上田市立西内小学校6年生	1	9	1	○	探検	
		10:30-12:00	安曇野市立明北小学校6年生	1	15	2	○	探検	
7/10	火	9:00-10:30	千曲市立東小学校6年生	2	63	3	○		
7/12	木	9:40-11:40	埼玉大学教育学部附属中学校2年生	1	20	1	○	探検	個人テーマ支援学習
		10:20-11:40	練馬区立小竹小学校6年生	2	44	7	○		
7/13	金	9:00-10:30	佐久市立佐久城山小学校6年生	2	58	3	○	探検	
		10:30-12:00	小諸市立千曲小学校6年生	1	14	3	○	探検	
		14:00-15:00	千曲市立八幡小学校6年生	1	32	2	○		
7/18	水	9:00-10:30	中野区立啓明小学校6年生	2	53	8	○	探検	
		9:00-10:30	上田市立豊殿小学校6年生	2	47	3	○		
		10:30-12:00	東御市立和小学校6年生	2	57	2	○	探検	
7/19	木	9:00-10:30	上田市立浦里小学校6年生	1	5	1	○	探検	
		10:30-12:00	長野県長野盲学校6年生	1	2	2	○	探検	
7/20	金	9:00-10:30	信州大学教育学部附属長野小学校6年生	2	70	2	○	探検	
		10:30-12:00	東御市立滋野小学校6年生	2	44	3	○	探検	
7/24	火	11:30-13:00	長野県屋代高校附属中学校2年生	1	19	3			
		12:00-13:30	長野県蓼科高校2年生	3	79	6	○	探検	
7/25	水	13:00-15:30	茅野市立永明中学校3年生	1	27	1	○	探検	
7/29	日	10:00-11:30	長野県長野西高校通信制	1	5	1	○		
9/15	土	10:30-12:00	大田区立糀谷小学校6年生	3	99	9	○	探検	
9/16	日	12:00-13:30	大田区立北糀谷小学校6年生	2	51	6	○	探検	
		13:00-14:30	大田区立入新井第一小学校6年生	3	96	10	○	探検	
9/19	水	10:30-12:00	大町市立美麻小中学校6年生	1	9	2	○	探検	
9/20	木	9:20-10:30	長野県屋代高校附属中学校1年生	1	5	1	○		
		10:30-12:00	長野市立戸隠小学校6年生	1	17	2	○	探検	
		10:30-12:00	長野市立城東小学校6年生	2	56	3	○	探検	
		10:30-12:00	長野県立長野ろう学校6年生	1	1	1	○	探検	2校合同で来館
		14:30-15:30	千曲市立東小学校アブリコットタイム	1	29	2	○	探検	
9/21	金	9:00-10:30	佐久市立野沢小学校6年生	3	94	5	○	探検	
9/21	金	9:00-10:30	中野市立平岡小学校6年生	2	43	3	○		
		10:30-12:00	山ノ内町立東小学校6年生	2	42	5	○	探検	
		11:00-13:00	練馬区立北町小学校6年生	3	101	10	○	探検	
9/23	日	13:30-14:30	大田区立西六郷小学校6年生	2	53	6	○	探検	
		13:30-14:45	大田区立中萩中小学校6年生	3	87	8	○	探検	
9/26	水	10:30-12:00	須坂市立豊丘小学校6年生	1	17	2	○	探検	
9/27	木	9:00-11:00	松本市立開明小学校6年生	4	119	6	○	探検	
		12:00-13:30	中野区立向台小学校6年生	1	33	3	○	探検	
		13:30-15:00	大田区立入新井第二小学校6年生	3	88	8	○	探検	
9/28	金	10:00-12:30	練馬区立中村小学校6年生	4	151	10	○	探検	

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
9/29	土	12:00-13:00	大田区立東六郷小学校6年生	2	56	7	○	探検	
9/30	日	13:00-14:30	大田区立六郷小学校6年生	2	55	6	○	探検	
10/2	火	9:00-10:20	箕輪町立箕輪中部小学校4年生	3	100	8	○	探検	
		10:00-12:00	長野市立南部小学校6年生	4	118	6	○	探検	
		13:30-15:00	須坂市立高甫小学校6年生	1	25	2	○	探検	
10/3	水	9:00-10:30	長野市立浅川小学校6年生	2	64	3	○	探検	
		10:30-12:00	長野市立寺尾小学校6年生	1	19	2	○	探検	
10/4	木	9:00-10:30	塩尻市立宗賀小学校6年生	2	42	3	○	探検	
		10:30-12:00	大田区立都南小学校6年生	2	57	8	○	探検	
		12:00-14:00	中野市立科野小学校6年生	1	13	2	○	探検	2校合同で来館
		12:00-14:00	中野市立倭小学校6年生	1	8	1	○	探検	
10/5	金	10:00-11:30	練馬区立大泉北小学校6年生	4	120	13	○	探検	
		13:30-15:00	大田区立出雲小学校6年生	3	84	9	○	探検	
		13:45-15:00	長野県須坂東高校1年生	2	38	2	○	探検	考古バックヤード処理室等見学
10/7	日	13:00-14:30	大田区立入新井第五小学校6年生	2	57	7	○	探検	
10/8	月	13:30-15:00	大田区立大森第三小学校6年生	3	86	8	○	探検	
10/11	木	9:30-10:30	長野市西部保育園	1	27	5	○		
		13:30-15:00	大田区立池上第二小学校6年生	2	81	6	○	探検	
10/12	金	9:00-9:30	徳応院保育園	3	56	9	○		
		10:00-11:30	白馬村立白馬北小学校6年生	2	50	3	○	探検	
		10:30-12:00	中野市立長丘小学校6年生	2	24	3	○	探検	
10/13	土	11:30-13:00	大田区立おなづか小学校6年生	2	61	6	○	探検	
10/16	火	13:30-15:00	大田区立東糀谷小学校6年生	2	76	7	○	探検	
10/17	水	10:00-12:00	練馬区立仲町小学校6年生	4	138	10	○	探検	
		13:30-15:00	安曇野市立穂高南小学校6年生	3	94	4	○	探検	
10/18	木	10:30-12:00	練馬区立富士見台小学校6年生	3	111	8	○		
		10:30-12:00	長野県若槻養護学校小学部5・6年生	1	3	3	○	探検	
		12:00-13:30	東御市立柿津小学校6年生	2	50	4	○	探検	
		13:30-15:00	大田区立多摩川小学校6年生	2	76	7	○	探検	
10/21	日	12:30-14:00	大田区立大森第一小学校6年生	2	62	8	○	探検	
10/26	金	9:00-10:30	長野市立湯谷小学校6年生	3	95	4	○	探検	
10/28	日	12:30-14:00	大田区立蒲田小学校6年生	2	67	6	○	探検	
11/2	金	9:00-10:20	飯綱町立三水小学校6年生	2	35	4	○	探検	
		10:30-12:00	千曲市立上山田小学校6年生	1	31	2	○	探検	
		14:00-15:00	岡谷市立神明小学校6年生	3	85	5	○	探検	
11/6	火	10:30-12:00	佐久市立泉小学校6年生	2	45	5	○	探検	
11/7	水	9:00-10:30	上田市立塩田西小学校6年生	2	39	3	○	探検	
11/8	木	10:30-12:00	飯山市立常盤小学校6年生	1	10	2	○	探検	
11/13	火	10:30-12:00	長野市立長沼小学校6年生	1	17	2	○	探検	
11/15	木	10:50-12:20	須坂市立仁礼小学校6年生	2	37	2	○	探検	
11/15	木	13:10-14:10	長野市立信更小学校6年生	1	7	2	○		
11/22	木	11:00-12:30	信州大学教育学部附属松本小学校6年生	2	67	4	○	探検	
		13:30-15:00	大町市立大町西小学校6年生	2	47	3	○	探検	
2/8	金	13:30-15:00	下諏訪町立下諏訪中学校1年生	3	96	6	○	探検	
2/28	木	10:30-12:00	長野市立豊野東小学校特別支援学級	1	3	2	○		

合計 569 15,902 1,128 248

## (2) 教育関係機関視察及び見学 実施記録

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
4/26	木	12:00-13:20	練馬区教育委員会実地踏査		18		○	視察	常設展解説、バックヤード視察
5/18	金	15:00-16:45	須坂市教育委員会		13		○	視察	常設展解説、バックヤード視察
5/25	金	10:30-11:30	県博協北信越視察研修		30		○	見学	常設展解説、バックヤード見学

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
5/25	金	12:40-13:30	板橋区教育委員会実地踏査		20		○	視察	常設展解説、バックヤード視察
5/31	木	14:20-15:10	中野区教育委員会実地踏査		12		○	視察	常設展解説、バックヤード視察
6/8	金	13:00-14:10	県総合教育センター研修		12		○	見学	「歴史学習の教材」
7/27	金	9:50-10:50	大田区教育委員会実地踏査		60		○	視察	常設展解説、バックヤード視察
8/1	水	9:00-17:00	信州大学教員免許更新講習①		50		○	見学	「歴史館で教材開発」
8/2	木	9:00-17:00	信州大学教員免許更新講習②		50		○	見学	「歴史館で教材開発」
11/11	日	9:00-17:00	信州大学教員免許更新講習③		40		○	見学	「歴史館で教材開発」
2/15	金	10:00-15:10	博物館等関係職員研修会		40		○	見学	常設・企画展解説、バックヤード視察
2/15	金	10:00-15:10	信州大学博物館学講座		53		○	見学	常設・企画展解説、バックヤード視察
合計					398		12		

### (3) 一般団体見学 実施記録

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
4/25	水	10:00-11:00	生塚自治会敬老会		48		○	見学	
5/9	水	9:00-10:30	下沢様		2		○		
5/17	木	16:00-17:00	軽井沢史友会		12				
5/20	日	9:30-11:00	深谷市自治会連合会幡羅支部自治会研修		34				人権センター見学
5/22	火	9:00-10:00	南部地域公民館		14				
5/29	火	10:30-12:00	芳川公民館 にれつば会		13		○	見学	
6/3	日	10:00-11:00	木町分館		20		○		
6/6	水	15:00-16:10	連合長野		11		○		人権センター見学
6/14	木	9:15-10:00	糸魚川地区更正保護女性会		16				
		9:30-10:30	人権		25				
6/21	木	10:00-11:00	晶寿会		21				
6/24	日	9:30-10:45	北村地区公民館		41		○	見学	
		10:00-11:30	宮前区公民館		21		○	見学	
6/26	火	10:00-11:00	東御市シニア大学		26				
6/29	金	9:00-10:00	今井議員後援会		15		○		
6/29	金	10:00-11:30	須坂市勤労者協議会		11		○		
7/3	火	13:30-15:00	NPO法人心の休憩所アトリエ虹		2		○	見学	
7/5	木	13:35-15:00	田名向原遺跡 解説ボランティア		33				
7/10	火	10:00-11:00	木島平村福祉協議会		27				
7/19	木	10:00-11:30	長野市身体障害者福祉協会		30		○		
7/22	日	9:50-11:00	穴田分館女性部		20		○		
7/24	火	14:00-15:30	安曇野市豊科南穂高地区民生児童委員会		10		○	見学	
7/24	火	14:00-15:00	花工房福祉会		8				
7/26	木	10:15-11:45	長野市身体障害者福祉協会		24		○		
9/19	水	10:00-11:00	ほたるの里		17				
9/20	木	9:20-10:50	長野市立篠ノ井公民館		67		○		
9/23	日	13:30-14:30	龍鳳書房		16				
9/28	金	14:40-15:40	安茂里公民館		20		○		
9/29	土	9:00-11:00	塩尻市立平出博物館		17		○	見学	
9/29	土	14:00-15:30	一般社団法人小県医師会		10		○	見学	
10/4	木	9:30-10:30	奈良歴史遺産市民ネットワーク		34		○	見学	

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
10/4	木	9:55-10:55	中曾根さわやかクラブ		24				
10/5	金	10:10-13:30	塩尻口マン大学18期生		53		○		
10/10	水	10:00-11:30	塩尻市中央公民館		21		○		
10/12	金	13:50-14:50	国立歴史民俗博物館友の会（日本の原始・古代を考える会）		26		○		
10/13	土	9:00-10:00	上田市富士山中組自治会歴史研究会		7		○		
		14:20-15:50	クラブツーリズム 歴史の旅		21		○	見学	
10/18	木	11:00-13:00	はつか会		8		○		
		15:00-16:00	東アジアの古代史を楽しむ会		17		○		
10/19	金	9:30-11:30	佐久シニア大学		96		○	見学	
		10:00-11:00	三郷社会就労センター		21				
10/25	木	15:30-16:30	辰巳クラブ		20		○		
10/28	日	9:10-11:30	上伊那広域連合		50		○	見学	KOAの日関連
		14:00-15:00	縄文学校		10		○		
10/30	火	10:00-11:00	友壇会		6		○		
11/1	木	14:30-15:30	NPO法人稻荷山蔵の会		8		○	見学	
11/2	金	13:30-14:30	NPO法人心の休憩所アトリエ虹		4		○		
11/6	火	9:40-10:40	平出高嶺クラブ		18				
		10:15-11:00	飯綱町福祉協議会		23		○		
11/7	水	10:15-11:00	飯綱町福祉協議会		19		○		
11/8	木	10:15-11:00	飯綱町福祉協議会		19		○		
11/10	土	10:15-11:00	飯綱町福祉協議会		22		○		
11/11	日	10:00-11:20	松南地区 町内連合会		29		○		
11/13	火	11:00-12:30	須坂市中央公民館 市民学園 歴史と文化クラブ		8		○		
11/15	木	14:00-15:00	敬文社		17		○	見学	
11/22	木	15:30-17:00	千曲警察署		6		○	見学	
11/25	日	9:00-10:00	白糸町シニアクラブ		41				
11/30	金	11:00-12:00	松本市大手公民館		25		○		
12/15	土	9:00-12:00	長野都市ガス株式会社		38		○	見学	長野都市ガスの日関連
12/16	日	9:00-10:30	田淵行男記念館友の会		21		○		
12/19	水	13:30-14:30	上田情報ライブラリー		25		○	見学	
1/6	日	10:00-11:30	南牧村古文書教室		5		○	見学	
1/18	金	10:30-11:30	NHKカルチャー美術館・博物館めぐり		11		○		
2/1	金	13:30-15:00	NPO法人 心の休憩所 アトリエ虹		8		○	見学	
2/15	金	10:10-11:10	花工房福祉会		7				
2/17	日	10:10-11:10	近藤様		12				
3/1	金	10:00-12:00	安原地区公民館		20		○	見学	
3/7	木	10:20-11:00	JA中野市高丘年金友の会		22				
3/8	金	10:20-11:00	平岡事業所年金友の会		65				
3/12	火	13:30-15:00	長野市立芋井公民館		23		○	見学	
3/14	木	10:20-11:10	延徳年金友の会		48				
3/23	土	11:00-13:00	「長野県の遺跡・古墳群一縄文の國宝土偶から黒曜石、古墳時代の前方後円墳・積石塚古墳まで」		8		○	見学	
3/24	日	9:45-10:30	森将軍塚古墳ボランティアガイド研修		19		○		

合計

1,616

52

## 2 企画展関連講演会等

月 日	テー マ	講師 等	参 加 者 数
4月 21日	長野県の遺跡発掘 2018 パネルディスカッション 「長野県北部の弥生文化を考える」	パネリスト:田中一穂 氏(須坂市生涯学習スポーツ課)、田中暁穂 氏(長野市教委)、長谷川桂子 氏(長野県埋蔵文化財センター)、町田勝則(当館職員)	85
6月 16日	夏季企画展講演会 「妖物の誕生」	関西学院大学教授 西山 克 氏	135
7月 14日	夏季企画展講座 「河童が登場するまで-人と水との関係史-」「君は河童を見たか-水辺の出会い-」	寺内隆夫(当館職員) 溝口俊一(当館職員)	111
7月 14日	長野県の遺跡発掘 2018 [南信会場] パネルディスカッション 「長野県南部の弥生文化を考える」	パネリスト小池岳史 氏(茅野市教委)、宮坂清 氏(下諏訪町諏訪湖博物館)、福島永氏(辰野町教委)、山下誠一 氏(飯田市教委)、濱慎一 氏(伊那市創造館)、町田勝則(当館職員)	42
8月 18日	長野県の遺跡発掘 2018 [中信会場] パネルディスカッション 「松本平の弥生文化を考える」	パネリスト:直井雅直 氏(松本市教委)、土屋和章 氏(安曇野市教委)、小松学 氏(塩尻市教委)、町田勝則(当館職員)	89
9月 22日	秋季企画展関連講演会 「黒曜石が語る列島の細石器文化」	浅間縄文ミュージアム館長 堤 隆 氏	94
9月 29日	秋季企画展関連ギャラリートーク	町田勝則(当館職員)	6
10月 20日	秋季企画展関連イベント ワークショップ「英国フリントの石器作り」 国際交流子どもサミット「歴史遺産の未来を考える」	富士見町境小学校縄文クラブ 長和町黒曜石大使 英国ティーンエイジヒストリークラブ	133
10月 21日	秋季企画展関連講演・国際シンポジウム 講演「先史時台における採掘活動の社会的背景」 シンポジウム「地球資源の開発とその社会」	イングリッシュュヘリテイジ ピーター・トッピング博士	41
10月 27日	秋季企画展関連ギャラリートーク	水澤教子(当館職員)	15
11月 3日	秋季企画展関連コンサート・トークショー 「黒曜石の世界」	シンガーソングライター 葦木ヒロカ 氏ほか	50
11月 11日	ギャラリートーク 長野県の遺跡発掘 2018 [東信会場] 講演会「箸墓古墳と卑弥呼」	国立歴史民俗博物館名誉教授 春成秀爾 氏	160

11月 23日	秋季企画展関連ギャラリートーク	大竹憲昭（当館職員）	21
12月 23日	冬季展関連ギャラリートーク	小野和英（当館職員）	8
1月 19日	冬季展関連対談 「田淵行男と人づくり-安曇野の環境保全-」	那須野雅好 氏(安曇野市教育委員会教育部文化課課長)、江田慧子 氏(帝京科学大学講師)、巻山圭一 氏(飯田高校長)、 笹本正治(当館館長)、林誠(当館職員)	120
1月 26日	冬季展関連ギャラリートーク	畔上不二男（当館職員）	22
2月 16日	冬季展関連ギャラリートーク	林 誠（当館職員）	60

### 3 講 座

#### (1) 県立歴史館の信州学講座

##### ① 館内

月 日	テーマ	講 師	参加者数
5月 26日(土)	歴史館から信州を考える	笹本正治	130
6月 9日(土)	古墳時代研究からわかる科野の成立	西山克己	153
6月 23日(土)	室町時代諏訪信仰を広げたのは誰だ	村石正行	141
7月 7日(土)	拾ヶ堰－近世安曇平における用水路の到達点	逸見大吾氏 (安曇野市教育委員会)	88
12月 1日(土)	信州の風景とイギリス風景画	桜井綾乃氏 (長野県教育委員会)	56
12月 22日(土)	近世後期の武士家臣団－松代藩を例として－	宮澤崇士氏 (飯山市教育委員会)	78
1月 12日(土)	縄文時代の食料事情	寺内隆夫	69
2月 9日(土)	雪国のくらし	畑上不二男	67
3月 9日(土)	旧石器時代の信州	大竹憲昭	86

##### ② 信州学出前講座 in 上田

月 日	場所	テーマ	講 師	参加者数
8月 25日(土)	上田市立信濃国分寺 資料館講堂	古墳時代後期のシナノの国	西山克己	25

##### ③ 信州学出前講座 in 箕輪

月 日	場所	テーマ	講 師	参加者数
11月 24日(土)	箕輪町地域交流セン ター研修室	描かれた日本アルプス －江戸から明治へ－	林 誠	41
		シナノの古墳文化と上伊那	西山克己	

##### ④ 信州学出前講座 in 諏訪

月 日	場所	テーマ	講 師	参加者数
2月 23(土)	諏訪市博物館 学習室	諏訪信仰と室町幕府	村石正行	122

⑤ 信州学出前講座 in 松本

月 日	場所	テーマ	講 師	参加者数
3月2日(土)	松本市博物館 講堂	河童が登場するまで 一人と水の関係史一	寺内隆夫	57
		日本人の心に生きる河童	溝口俊一	

⑥ 信州学出前講座 in 飯田

月 日	場所	テーマ	講 師	参加者数
3月10日(土)	飯田市美術博物館 講堂	田中芳男ー博物館の父は飯田 から羽ばたいたー	青木隆幸氏 (飯田OIDE 長姫高校教諭)	53

(2) 考古学講座 『文化の画期について』

月 日	テーマ	講 師	参加者数
5月12日(土)	温暖化への適応	大竹憲昭	85
6月 2日(土)	寒冷化に備える	寺内隆夫	105
6月 30日(土)	石器の消滅	町田勝則	122
7月 21日(土)	シナノから科野へ	西山克己	126

(3) 古文書講座

①初級

日 時	テ 一 マ	講 師	参加者数
A：6月10日(日) B：6月14日(木)	古文書の世界に踏みだそう	小野和英	40 49
A：7月 8日(日) B：7月19日(木)	立屋口留番所文書を読む1	小野和英	39 45
A：8月 5日(日) B：9月20日(木)	立屋口留番所文書を読む2	小野和英	37 39
A：9月16日(日) B：10月18日(木)	寺澤家の「世帯道具」式	伊藤友久	30 42
A：10月 7日(日) B：11月15日(木)	文書から見る長野県誕生史	伊藤友久	30 40

②中級

日 時	テ 一 マ	講 師	参加者数
A：6月 9日(土)	江戸時代の武家作法を学びましょう	村石正行	46

B : 6月14日(木)			47
A : 7月 7日(土) B : 7月19日(木)	弘化四年 善光寺地震被害報告	村石正行	46 44
A : 8月 4日(土) B : 9月20日(木)	七十の日記	村石正行	42 41
A : 9月15日(土) B : 10月18日(木)	諏訪信仰の文書を読む 1	畔上不二男	41 43
A : 10月 6日(土) B : 11月15日(木)	諏訪信仰の文書を読む 2	畔上不二男	38 43

③上級

日 時	テ 一 マ	講 師	参加者数
5月26日(土)	上級文書を読む (1)	尾崎行也 氏 (元長野県史刊行会常任参与)	21
6月30日(土)	上級文書を読む (2)	尾崎行也 氏 (元長野県史刊行会常任参与)	22
7月28日(土)	上級文書を読む (3)	尾崎行也 氏 (元長野県史刊行会常任参与)	23
9月29日(土)	上級文書を読む (4)	尾崎行也 氏 (元長野県史刊行会常任参与)	20
10月13日(土)	上級文書を読む (5)	尾崎行也 氏 (元長野県史刊行会常任参与)	17

④ティーンズ

日 時	テ 一 マ	講 師	参加者数
8月7日(火)	ヘンタイ仮名の世界へようこそ	村石正行	7
8月8日(水)	往来物「曾我物語」を読んでみよう	村石正行	7
8月9日(木)	「浦島縁起絵巻」を読んでみよう	村石正行	7
8月10日(金)	戦国武将の古文書を読んでみよう	村石正行	7

## 4 考古学セミナー

長野県考古学会との共催による。

日 時	テー マ	講 師	参加者数
6月3日 (日) 13:30~15:40	藤森栄一賞受賞記念講演 「『岩宿時代』を考える」  研究発表 「黒曜石産地分析から何を読み取るか」	小菅将夫 氏 (群馬県岩宿博物館館長)  大竹憲昭 (当館職員)	80
11月25日 (日) 13:30~15:00	講演 「比較して探る黒曜石原産地と遺跡の保存・活用の可能性」	小野 昭 氏 (東京都立大学名誉教授)	32

## 5 近世史セミナー

信濃史学会、信州近世史セミナーとの共催として実施。「近世地方都市の生活」をテーマにして、2名の発表があった。

日 時	テー マ	講 師	参加者数
12月9日 (日) 13:00~15:50	研究発表 「近世の都市の生活－松本城下町跡の発掘から－」  講演 「幕末維新期における松本地方の医療環境－病院・医学校をめぐる「公」の行方－」	竹内靖長氏  塩原佳典氏	33

## 6 講習会

### (1) 考古資料保存処理講習会

月 日	テー マ	講 師	参加者数
11月30日 (金)	「赤外線、X線、実体顕微鏡を応用した資料観察の手順と読影方法」	講義・実習・質疑応答 白沢勝彦	18

(2) 文献史料保存活用講習会

月 日	テマ	講 師	参加者数
6月21日（木） 12：40～15：00	高嶋城跡と茶臼山遺跡一大昔調査会発足に 寄せてー	高見俊樹氏（一般社団法 人大昔調査会理事長）	33
10月24日（水） 13：30～17：00	災害に対する備え・日頃の資料管理 事例報告 松田館焼失における資料レスキ ューについてほか	青木 瞳氏（国文学研究 資料館） 小野紀男氏（千曲市教育 委員会）ほか	62
1月29日（火） 13：30～15：00	見学会 史料修復の現場を学ぶ	小林誠治氏（(株)清蘭堂 ）	5
2月27日（水） 2月28日（木） 10：00～15：30	襖裏貼を剥がしてみよう	村石正行	17

## 7 各種講習会・イベント

日時	テーマ	内 容	参加者数
5月5日	歴史館でこどもの日	石のアクセサリーブル	121
		プラ版マスコットづくり	126
		縄文人になって遊ぼう！	208
		バックヤード探検	60
6月8日	総合教育センター研修講座	歴史学習の教材研究	13
6月21日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会①		33
7月28日	歴史館で夏休み	石のアクセサリーブル	44
		プラ版マスコットづくり	76
		バックヤード探検	30
		縄文人になって遊ぼう	72
		昔話ビデオ上映	55
8月1日、2日	教員免許状更新講習	歴史館で教材開発	50
10月28日	KOAの日関連	バックヤード探検	20
10月24日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会②		62
11月3日	将軍塚まつり	縄文人になろう	480
		プラ版マスコット作り	171
		勾玉をつくってみよう	135
11月18日	子育て家庭優待日（いい育児の日）	どきどきドキ 作製	41
11月23日	黒曜石で星降る森のリースを作ろう		23
11月30日	考古資料保存処理講習会		18
12月15日	長野都市ガスの日関連	赤外線透視	2
		バックヤード探検	39
2月14日	長野県博物館協議会研修会		62
2月15日	長野県博物館協議会研修会		55
2月15日	信州大学学芸員資格取得講座		53
2月27日、28日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会③		20

## 8 展示解説

事前に解説を申し込んだ団体を対象に展示解説を実施（解説実施 団体）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
学校数	23	77	57	26	0	22	30	11	0	0	2	0
一般団体数	1	2	6	5	0	4	13	11	3	2	1	4
小計	24	79	63	31	0	26	43	22	3	2	3	4

## 9 学校との連携

### (1) 千曲市立東小学校との連携

- ・総合的な学習の時間「アプリコットタイム」の講座「歴史探検」  
年間7回を学校と共に計画を立案し、勾玉作り、ペーパークラフト作り、黒曜石ナイフ・弓矢体験学習等の講師を務めた。

### (2) 埼玉大学教育学部附属中学校 2年生への学習支援（7月12日）

- ・当館の見学に合わせて設定した個人研究テーマに基づき学習支援を行った。事前に送られてきた質問への回答を行い、見学当日も疑問に答えたり、学習の進め方へのアドバイスを行ったりするなどの支援をした。生徒20名。

### (3) 長野市立川中島小学校への講師派遣（10月10日）

- ・体験交流講座で、勾玉づくりの講師（2名）を務めた。児童21名。

### (4) 長野県総合教育センターへの研修協力（6月8日）

- ・研修講座〔歴史学習の教材研究～長野県立歴史館の資料を活用して～〕 12名  
講義「地域素材の教材化」の講師を務めた。  
演習「県立歴史館の資料を用いた地域の歴史の教材化」で教材化の相談に応じた。

### (5) 信州大学教員免許更新講習の開設（8月1日、8月2日、11月11日

計3日間)

- ・「信州大学と長野県教育委員会との連携に関する協定」に基づき、当館を会場にして講習を開設した。（受講者は2回の合計で140名）
- ・総合情報課長による講義、館内の案内、演習時の支援等を行った。

### (6) 信州大学学芸員資格取得講座の開設（2月14日、15日 計2日間）

- ・当館を会場に信州大学学芸員資格取得講座「博物館経営論」「博物館情報・メディ

ア論」を開設した。(受講者は2日間で71名)

- ・博物館関係職員等研修会と同時開催。当館職員や外部講師による講義、実務研修、館内の見学を行った。

#### (7) お出かけ歴史館事業の実施

- ・お出かけ歴史館事業実施計画立案のため、飯田・下伊那地方の小学校のアンケートを実施した。
- ・アンケートの結果をもとに実施計画を立案し、上伊那・下伊那・木曽地方の小中学校、公民館に広報活動を行った。
- ・実施した学校数：7校、学級数：17学級、公民館数2館、実施人数415名。詳細は以下の通り。

平成30年10月4日(木) 南木曽町立南木曽小学校(木曽郡南木曽町)

対象：小学校6年生30名、保護者30名 1クラス 計60名

内容：土器や石器にふれよう

10月24日(水) 伊那市立長谷小学校(伊那市)

対象：小学校1年生 1クラス 10名

内容：黒曜石にふれよう

10月30日(火) 王滝村立王滝小学校(木曽郡王滝村)

対象：小学校6年生 1クラス 5名

内容：縄文人になろう

11月13日(火) 学校法人どんぐり向方学園(下伊那郡天龍村)

対象：小学校5～高校1年生 6クラス(学年) 8名

内容：土器や石器にふれよう

平成31年1月29日(火) 飯田市立丸山小学校(飯田市)

対象：小学校5年生 3クラス 95名

内容：縄文人になろう

2月2日(土) 南木曽公民館(木曽郡南木曽町)

対象：小学校3年生～6年生 7名

内容：土器や石器にふれよう

3月1日(金) 駒ヶ根市立中沢小学校(駒ヶ根市)

対象：小学校5年生 1クラス 16名

内容：土器や石器にふれよう

3月8日(金) 飯田市立鼎小学校(飯田市)

対象：小学校5年生 4クラス 134名

内容：土器や石器にふれよう

3月9日(土) 大桑村歴史民俗資料館

対象：小学校1～6年生 35名 一般 45名 計80名  
内容：縄文人になろう（小学生）、講座（一般）

## 10 博物館実習

- ・実習期間 9月13日（木）～9月23日（日） 9月18日（火）を除く10日間
- ・実習生 3名（のべ30名）
- ・内容 博物館学概論、資料調査の実際、閲覧業務の実習、展示解説の見学・解説の実習、常設・企画展示室の設営と展示、考古資料の保管・活用・調査研究、考古資料の取り扱い（土器・石器、木製品、金属製品）、行政文書の整理実習、古文書の整理実習 他

## 11 インターンシップ

- ・実習期間 9月13日（木）～17日（月）の内、2名は3日間、1名は5日間
- ・実習生 3名（のべ11名）
- ・内容 常設・企画展示室の設営、考古資料の整理、文献史料の整理、閲覧業務の実習 他

## 12 職場体験学習

### (1) 中学生による職場体験学習（6校、18名、のべ16日間、49名）

- 6月27日～29日（3日間） 千曲市立屋代中学校2年生（5名）
- 7月18日～20日（3日間） 長野市立広徳中学校2年生（4名）
- 7月24日～26日（3日間） 千曲市立埴生中学校2年生（5名）
- 10月11日～12日（3日間） 長野市立川中島中学校2年生（1名）
- 10月23日～25日（3日間） 千曲市立更埴西中学校2年生（1名）
- 10月25日～26日（3日間） 中野市立中野平中学校2年生（2名）

### (2) 高校生による就業体験学習（3校、3名、のべ5日間、5名）

- 7月27日（1日間） 長野県上田東高等学校2年生（1名）
- 7月27日～28日（2日間） 長野県上田染谷丘高等学校2年生（1名）
- 7月27日～28日（2日間） 長野県上田千曲高等学校2年生（1名）

### (3) 社会人研修

本年度の受け入れはありませんでした。

## 13 サークル育成活動

### ○ 古文書愛好会

#### (1) 館蔵文書を読む会

「嘉永七寅正月廿一日より異国船御防禦出府中書記」(5-7-A5976)

内容：解読し全体で検討を行い、史料を読み解き、翻刻して50部製本した。

6月1日(木) 7月6日(木) 8月24日(木) 9月7日(木) 10月5日(木) 11月9日(木) 12月7日(木) 計7回 38名参加 延べ209名

#### (2) 古文書探訪会

① 参加者 32名 (歴史館職員2名含む)

② 見学場所 大町市文化財センター・塩の道ちょうじや・仁科神明宮・清水家表門

③ 参加費 6000円

#### (3) 古文書演習

実施に至るまで

5月上旬：今年度整理文書の選定・愛好会担当幹事と協議

5月中旬：会員へ通知発送・愛好会役員会で班分け等実施準備

夏季 35名参加 延べ124名(4班)

5月26日(土)・6月30日(土)・7月28日(土)・9月29日(土)・10月13日(土)  
計5回

冬季 32名参加 延べ356名(3班)

1月18日(金)・19日(土)・20日(日)・25日(金)・26日(土)・27日(日)  
2月1日(金)・2日(土)・3日(日)・16日(土)・17日(日)・22日(金)・23  
日(土)・24日(日)・28日(木)・3月1日(金)・2日(土)・3日(日)  
計18回

内容 仮目録採りと班ごとの学習会  
演習文書

夏季 塙科郡森村近藤家文書・塙科郡森村中澤家文書・佐久郡下平尾村森泉家文書(終了)

冬季 塙科郡森村近藤家文書・塙科郡森村中澤家文書・本山宿関係文書・伊那郡大草村高坂家文書

#### (4) グループ学習会

・上記古文書演習の最中の金・土・日3日間のうちの半日(2時間)を使って、グループごとに自分たちが整理した文書の中から適当なものを選んで学習した。

#### (5) 総会

① 日 時 3月3日(日) 13:00~13:30

② 議 題 ・平成30年度古文書愛好会事業報告・平成30年度古文書愛好会会計報告  
・平成30年度古文書愛好会会計監査報告  
・平成31年度古文書愛好会事業計画案・平成31年度古文書愛好会予算案

③ 参加者 会員32人 事務局2人 計34人

## (6) 講演会

- ① 日 時 3月3日（日）13:00～13:30
- ② 講 演 「中山道を見る」
- ③ 講 師 県立歴史館文献史料課長 小野和英
- ④ 参加者 会員 32人 事務局 2人 計 34人

# 14 ボランティア活動

## (1) 全体的な活動等

- ① 総会の開催 3月23日（土）13:30～14:30 役員選出、次年度の活動計画等
- ② 保険の加入 保険適用無し
- ③ 募集 ホームページ、千曲市のちらし回覧、エントランスにちらし設置等
- ④ 名簿作成 ボランティア会員数

	体験	解説	作業	合計（延数）	実数
年度当初数（人） 4/1	35	22	6	66	44
年度末数（人） 3/31	45	27	13	85	56

\* 実際に解説を行っている会員は12名、他は研修中ほか。

- ⑤ 内覧会案内・招待券・館だより等の送付

## (2) 解説ボランティア活動

- ① 団体への展示解説
  - ・一般団体を主として依頼した（2団体で解説延べ6回実施）。
  - ・学校団体は状況に応じて依頼した（1回実施）。
- ② 一般客への展示解説 「日曜解説」
  - ・実施日 毎週日曜日および祝日（通年）
  - ・実施時間 午前10:30～12:30 午後1:30～3:30（12～2月は1:00～3:00）
  - ・解説人数 午前・午後ともに2名を原則
  - ・解説方法 展示室で声がけをしながら適宜活動。喜びの持てる活動となった。
  - ・実績 解説者延数229、利用者数1,369人（4/6～3/31）
  - ・日曜解説以外の解説 ボランティア会員の希望により土曜日・平日に実施（3日、解説者延数3、利用者数28）
- ③ イベント時における展示解説と監視  
「歴史館でこどもの日」「歴史館で夏休み」「森将軍塚まつり」
- ④ 研修 日曜解説研修（研修者の都合に合わせて実施）、内覧会、自主研修ほか

### (3) 体験ボランティア活動

- ① 歴史館でこどもの日 5月5日(金) 勾玉16人 繩文人4人 解説監視10人
- ② 歴史館で夏休み 7月28日(土) 勾玉14人 繩文人4人 解説監視9人  
                                  プラ板3人
- ③ 森将軍塚まつり 11月3日(金) 勾玉19人 繩文人4人 解説監視3人  
                                  プラ板2人
- ④ クリスマスリース作り 11月23日(金) リース作り支援3名

### (4) 作業ボランティア活動

木器処理作業4人延べ88回、文献整理作業4人延べ48回

## 15 博物館関係職員等研修会

長野県教育委員会、長野県博物館協議会共催

### (1) 期日

平成30年2月14日(木)、15日(金)

### (2) 参加対象者

公立・私立博物館等（博物館、美術館、歴史民俗資料館及び考古資料館等）職員

市町村教育委員会職員

教育事務所職員

県文化振興事業団職員（埋蔵文化財センター、創造館、文化会館等）

その他受講希望者

※一部、信州大学（学生向け）講座を兼ねて実施

### (3) 内容

テーマ「ミュージアムと子どもたち」

2月14日(木)（参加者=80名）

#### ① 講演1「こども歴史文化館、チャレンジの10年」

〈講師〉福井県立こども歴史文化館館長 笠松雅弘 氏

#### ② 講演2「子どもたちと向き合う博物館活動」

〈講師〉長和町黒耀石体験ミュージアム・長和町教育委員会課長補佐 大竹 幸恵 氏

#### ③ トークセッション「ミュージアムと子どもたち」

コーディネーター：笹本正治（長野県博物館協議会会长（長野県立歴史館長））

笠松氏、大竹氏、笹本会長に加え、フロアの方々も参加

2月15日(金) (参加者=108名)

① 事例報告「学校と美術館の連携」

〈講師〉丸山晩霞記念館 学芸員 佐藤聰史 氏

② 研修

◇研修Ⅰ 「県立歴史館の学校見学の実際」 (バックヤード探検、常設展示室の案内)

〈担当〉西山克己(長野県立歴史館考古資料課長)

溝口俊一(長野県立歴史館専門主事)

◇研修Ⅱ 「子ども向け展示コーナーの様々」

(様々な博物館の子ども向けコーナーから学ぶ)

〈担当〉山田直志(長野県立歴史館専門主事)

◇研修Ⅲ 「『田淵行男』展と博物館再考」 (企画展展示解説+ディスカッション)

〈担当〉林 誠(長野県立歴史館専門幹・学芸員)

## 16 職員派遣(出前講座)

月 日	派 遣 先	内 容	参 加 者 数	職 員
4/13	平成30年度キャリア形成研修 新規採用課程（前期）	長野県のあゆみ	65	福島良彦
4/14	幸せ実感都市長野市民会議講演会	長野県と長野市の文化はいつ・どこから始まったか	15	大竹憲昭
4/15	さかき歴史同好会総会記念講演会	川中島合戦と村上氏	49	村石正行
4/20	平成30年度キャリア形成研修 新規採用課程（前期）	長野県のあゆみ	62	福島良彦
4/27	平成30年度キャリア形成研修 新規採用課程（前期）	長野県のあゆみ	62	福島良彦
5/10	千曲市立東小学校アプリコットタイム		30	加藤廣美
5/11	五明区編纂講演会	旧石器時代から古代の様相	33	西山克己
5/15	蓼科高校「蓼科学」	黒曜石の運ばれた道	44	大竹憲昭
5/22	蓼科高校「蓼科学」	中山道の歴史	47	小野和英
5/24	望月歴史民俗資料館講座	進化する縄文土器	12	寺内隆夫
5/24	北信越博物館協議会 研究協議会	地域と博物館-資料保存・学校連携・地域との連携-	54	笹本正治
5/27	永昌寺「寺来や塾」	君は河童をみたか	30	溝口俊一
6/4	森林の防災・減災講座2018講座	木を伐るな～土石流災害と伝説～	120	笹本正治
6/5	安曇野市賛助会30周年記念講演会	安曇野の戦国時代と山城	80	笹本正治
6/7	千曲市立東小学校アプリコットタイム		30	加藤廣美
6/14	市立長野高校「ながのろじー」	稲作の伝来	16	町田勝則
6/22	大桑村ふるさと講座「そうかい」	土石流災害と伝説	80	笹本正治
7/4	文化的景観保護実務研修会	文化的景観と地域の誇り一小菅の地域づくりと私一	100	笹本正治
7/5	千曲市立東小学校アプリコットタイム		30	加藤廣美
7/22	望月歴史民俗資料館講座	中山道を辿る	42	小野和英
7/29	垂崎市ふるさと偉人資料館特別企画展講演会	新府城と築城関連書状	90	笹本正治
8/3	信濃木崎夏期大学	実像の戦国史 戦争・職人・心持	280	笹本正治
8/4	日滝史蹟保存会設立70周年記念講演会	中世の須田氏と本郷	120	村石正行
8/25	佐久市市民講座	信州最古のブランド・佐久最古のブランド	80	大竹憲昭
8/30	市立長野高校「ながのろじー」	川中島合戦	14	村石正行
9/6	第57回山梨県老人福祉大会・高齢者友愛実践活動研修会	山梨の歴史と武田三代	470	笹本正治
9/13	市立長野高校「ながのろじー」	君はかっぱを見たか	14	溝口俊一
9/13	信州千曲観光局ワーキンググループ	千曲市の伝統祭礼	15	笹本正治
9/14	湯～ばれあ「歴史講座」	古墳時代の渡来文化	23	西山克己
9/15	西高桜の葉セミナー	「最古の信州ブランド 黒曜石」	12	大竹憲昭
9/16	永昌寺「寺来や塾」	長野県の弥生文化の特質について	35	町田勝則
9/22	西高桜の葉セミナー	「縄文土器を読み解く視点—土器模様と胎土から—」	11	水澤教子

9/26	長野市経営研究所ワイワイガヤガヤクラブ	地域文化の学びと伝承ー誇りと地域おこしー	20	笹本正治
9/27	長野県公民館大会	広域景観から見た善光寺	380	笹本正治
10/3	古里公民館歴史講座	古里と天領	53	畔上不二男
10/3	ながの南無の会10月例会	かるかや山西光寺に日本最初の石油精製所があった	15	山田直志
10/4	博物館長研修	学習活動の拠点となる博物館	200	笹本正治
10/5	湯～ばれあ「歴史講座」	旧石器時代の石槍生産	24	近藤尚義
10/5	長野県シニア大学佐久学部「郷土の歴史と文化」	最古の信州ブランド黒曜石	113	大竹憲昭
10/6	平出博物館土曜サロン	縄文社会における土器の移動と交流	67	水澤教子
10/10	川中島小学校「総合的な学習」	石のアクセサリーを作ろう	21	加藤廣美・溝口俊一
10/14	小笠原氏城跡と松本城	信濃守護小笠原氏とその足跡	137	村石正行
10/14	永昌寺「寺来や塾」	自然を見つめた田淵行男	18	小野和英
10/17	上田・東御・小県地域史連絡協議会	災害時の史料レスキューの在り方	25	村石正行
10/18	市立長野高校「ながのろじー」	自然を見つめた田淵行男	13	小野和英
10/19	牛伏川階段工100周年記念行事	防災と伝承	300	笹本正治
10/19	海津大学園「郷土史料」	新派・新劇の到来と信州	52	伊藤友久
10/21	生誕150年・明治150年美しき明治のみづゑ 丸山晩霞	明治期における水彩画の発展と丸山晩霞	100	林誠
10/26	「歩く・見る・聞く」諫訪を知る歴史講座	長野県の弥生時代～北、南、そして諫訪～	78	町田勝則
10/30	湯～ばれあ「歴史講座」	器械製糸黎明期の歴史	14	山田直志
11/1	千曲市立東小学校アプリコットタイム		30	加藤廣美
11/3	森將軍塚まつり 青空講座	土器・石器づくりに見る匠の技	60	近藤尚義
11/8	夜間瀬川直轄砂防施工100周年事業	夜間瀬川地域における江戸時代以前の水害	360	畔上不二男
11/8	文化財保護研修会	長野県の縄文文化遺産(遺跡と遺物)について	92	寺内隆夫
11/15	千曲市立東小学校アプリコットタイム		30	加藤廣美
11/17	中央市歴史郷土シンポジウム	浅利氏と戦国時代の甲斐国	100	笹本正治
11/20	古代出雲歴史博物館 人権・童話問題専門研修会	博士と差別	50	笹本正治
11/21	万綏学級:歴史講座	中世の小田切の歴史	65	村石正行
11/21	稲荷山公民館教養講座	伊能忠敬と稲荷山宿	24	小野和英
11/23	全国歴史の道会議長野大会	中山道と生涯学習	140	小野和英
11/23	伊那市桜大学	高遠と学び	200	笹本正治
11/29	湯～ばれあ「歴史講座」	戦国時代の井上氏	50	村石正行
12/6	埴生公民館「すこやか学級」	器械製糸黎明期の歴史	38	山田直志
12/7	信越県境地域づくり交流会	ミュージアムと地域づくり	100	笹本正治
12/14	海津大学園「郷土史料」	信州古墳研究の最前線	54	西山克己
1/31	もりもり上伊那 山の感謝祭	山の恵みを忘れてはいませんか	240	笹本正治
2/2	上田郷友会	信州最古のブランド『黒曜石』から見る先史(旧石器・縄文時代)の信州	100	大竹憲昭

2/3	篠ノ井五明区	考古資料からみた信濃と篠ノ井地域の原始・古代	90	西山克己
2/7	長野県道路整備期成同盟会	道路講演会特別講演	150	笹本正治
2/16	屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト	ふるさとの文化的景観～飯山市小菅地区を事例に	85	笹本正治
2/23	さらしなルネサンス	長野県之温泉と名勝	65	林誠
3/1	戸倉上山田ロータリークラブ	諏訪信仰について	20	畔上不二男
3/6	桜堂楽友会	伊能忠敬と千曲市	25	小野和英
3/9	大桑村民俗資料館	大桑村出土の人面土器について	45	寺内隆夫
3/19	木島平農村交流館	シナノの弥生時代終末から古墳時代の渡来文化	45	西山克己
3/23	飯山市公民館	世界から見た飯山の魅力	70	笹本正治

## IV 共催事業

月 日	共催事業	共催団体	参加者数
12月9日	近世史セミナー	信濃史学会、近世史セミナー	33
6月3日	第1回考古学セミナー	長野県考古学会	80
11月25日	第2回考古学セミナー	長野県考古学会	32
6月～12月	館蔵文書を読む会（7回）	古文書愛好会	209
5月～3月	古文書演習(23)	古文書愛好会	480

# V 出版

## 1 長野県立歴史館たより

(1) 夏号 vol. 95 表紙 銅鑓子(長野市  
松代町大峰寺蔵)

平成 30 年 5 月 15 日発行 A4 判、8 頁(オ  
ールカラー)

主な内容：「常設展示室から～新展示のみ  
どころ紹介～」、平成 30 年度夏季企画  
展「君は河童を見たか！－水辺の出会い  
ー」、ミニ展示「県歌 50 年 作詞家「浅  
井冽の書を見る」、研究の窓「室町幕  
府奉行人をめぐる珍史料」、行事アル  
バム「冬季展&KOA の日」・「やさし  
い信濃の歴史講座」・「長野県の遺跡  
発掘 2018 遺跡報告・パネルディスカ  
ッション」、6 月～9 月の行事予定

(2) 秋号 vol. 96 表紙 国史跡星糞峠  
黒曜石原産地遺跡の黒曜石原石(長  
和町教育委員会蔵)

平成 30 年 8 月 17 日発行 A4 判、8 頁(オ  
ールカラー)

主な内容：秋季企画展「最古の信州ブラン  
ド黒曜石～先史社会の石材獲得と流  
通」、文献史料を読む「高島藩士が門  
番だった「外桜田門」の記録、考古資  
料を読む「長野県宝下茂内遺跡の二つ  
の槍先形尖頭器－刃はこの部分にあり  
ー」、展示資料の紹介「千曲川通船の  
「形どり図面」と「川筋略絵図面」、  
研究の窓「天皇御大典と地方饗饌」、9  
～12 月の行事予定、行事アルバム

(3) 冬号 vol. 97 表紙『安曇野に多い石

仮や碑』(1970 年、田淵行男撮影、  
田淵行男記念館蔵)

平成 30 年 11 月 15 日発行 A4 判、8 頁(オ  
ールカラー)

主な内容：平成 30 年度冬季展 「自然を  
見つめた田淵行男」、考古資料を読む  
「信州の特色ある縄文土器－新指定長  
野県宝 縄文時代中期の土器 158 点  
一」、ミニ展示から「信州の野球史  
夏」、展示資料紹介「五榜の掲示」、  
行事アルバム「巡回展イベント in 塩  
尻」「信州学講座 in 上田」・「考古  
学講座 遺跡探訪会」、12～3 月の行  
事予定

(4) 春号 vol. 98 表紙 佐久市下茂  
内遺跡出土槍先形尖頭器(当館蔵、  
岩宿博物館写真提供)

平成 31 年 2 月 20 日発行 A4 判、8 頁(オ  
ールカラー)

主な内容：平成 31 年度の長野県立歴史館  
「歴史館は画期的な企画展を行いま  
す」、秋季企画展を振り返って「黒曜  
石・歴史遺産 世界からの眼 子どもた  
ちからの眼」、2019 年巡回展「長野  
県の考古学-時代を映す“匠”的技-」、  
考古資料をよむ「長野県内出土の磬」、  
文献史料をよむ「御真影焼失説」の真  
相を究明する」、行事アルバム「秋季  
企画展関連行事」・「県立歴史館の信  
州学講座」・  
「県立歴史館・長野都市ガスの日」、3  
～6 月の行事予定

## 2 研究紀要

『長野県立歴史館研究紀要』第 25 号 平成 31  
年 3 月 31 日発行、A4 判、160 頁、1,000 円

### <内容>

口絵／資料紹介

府中小笠原家文書 村石 正行

### ◇研究報告

小笠原貞政・秀政関係文書の基礎的考察

村石正行

真影拝戴一件—聖旨徹底過程と行政文書—

伊藤友久

### ◇研究ノート

長野県の器械製糸黎明期の歴史 一水車の

動力利用にかかわって—

山田直志

田淵行男と民俗学者らとの交流—雪形をめぐって

小野和英

### ◇資料紹介

明治期陶磁器輸送の一形態 近藤尚義

中村不折「明治二七年四月六日付御子柴琴治良宛書簡」 林 誠

### ◇研究報告

再考、信濃国出土の富本錢と皇朝十二錢

西山克己

刃器の研究（上）－「大形刃器」の分類と種類— 町田勝則

### ◇資料紹介

鮫歯状石製垂飾品について—長野市松原遺跡発見の「ペン先状石製品」等を題材に—

町田勝則

### ◇講演録

先史時代における採掘活動の社会的背景（秋季企画展シンポジウム報告）

### ◇職員執筆抄・研究活動

(2)『信州を学ぶ2 視野を育てる編—広い世界とつながる信州』平成30年11月30日発行、四六判、282頁、1400円

### <内容>

はじめに（笹本正治）、第1章 信州に集まる人、モノ、文化、海への憧れは距離を超える寺内隆夫）、大陸系磨製石斧の一大プラント（町田勝則）、諏訪信仰はこうして広がった（畔上不二男）、城跡が語る信濃の境目（遠藤公洋）、伊那谷が慈しんだ人形芝居（小野和英）、松本城に博覧会がやって来る！（林誠）、文化の十字路は祭りの宝庫（笹本正治）、第2章 信州は日本をリードした、黒曜石は輝ける最古の信州ブランド（大竹憲昭）、川中島が読み解いた歴史の挿間（村石正行）、博物館の父は飯田から羽ばたいた（青木隆幸）、「世界のシルク王」が描いた夢は（山田直志）、野球に青春をかけた教師たち（西山克己）、上田から広まった自由大学運動（伊藤友久）、学校と森林の長くて深い関係（溝口俊一）、第3章 世界の中の信州、シナノの古墳に眠る渡来文化（西山克己）、善光寺信仰と東アジアのつながり（福島正樹）、世界も驚いた松本城下の水事情（中野亮一）、ヨーロッパを目指した若き才能（林 誠）、戦争が記録する消えない記憶（原 明芳）、受け継いでいく長野五輪の遺産（畔上不二男）、コラム 信州が起源？鷹狩（村石正行）、長野県民の常識 学校登山（市川 厚）、平岡ダムは誰が造ったのか 戦時中の労働（福島良彦）

## 3 その他

(1) 平成30年度催し物案内（前期）（後期）

A4変形判（21.0×52.2cm）、三つ折カラー

## VI 閲覧・情報提供

### 1 図書等資料

#### (1) 図書資料数

(単位：冊)

区分	図書	逐次刊行物	図録	小冊子	遺跡報告書	小計
自館制作	2	5	6	4	0	17
購入	72	257	0	0	0	329
寄贈	508	669	361	92	895	2,525
平成30年度計	582	931	367	96	895	2,871
累計	30,874	34,339	6,606	10,584	25,519	107,922

#### (2) 文庫等図書資料数 (単位：冊)

長野県史刊行会	3,080
米山・関川・塙田・宝月文庫他	15,349
長野県考古学会	5,685
累計	24,114

#### (3) 公開用雑誌製本

雑誌製本 0件

#### (4) 映像資料

購入DVD 0本、寄贈DVD 0本

寄贈CD-ROM 0本

### 2 情報提供

(1) レファレンス 96件

(2) ホームページアクセス数 76,369件

## VII 調査研究

### 1 調査研究の体制と内容

#### (1) 趣 旨

歴史館の運営及び事業を行うため、歴史館職員として必要な専門的な知識・技術等の向上を図ることを目的とする。

#### (2) 体 制

学芸部全職員による学芸研究会および原始、古代・中世、近世、近現代の各時代担当者による時代別研究会によって構成する。

#### (3) 内 容

史資料の収集・整理、常設展示・企画展示、本館主催の各種講座等の実施に関わる事項および今後の歴史館の運営及び事業を行うために必要と思われる事項について調査研究を進める。

### 2 学芸研究会

歴史館学芸部職員の職務能力の向上をはかるため、下記のとおり学芸研究会をおこなった。

第1回（4月12日）

- ・歴史研究の方法 笹本正治

第2回（6月28日）

- ・平成30年度調査研究計画（報告と討議）

第3回（7月26日）

- ・長野県の河童伝承と水との関わり 溝口俊一
- ・中世後期武家の文書体系 村石正行

第4回（8月23日）

- ・田淵行男と環境・民俗 小野和英
- ・弥生時代の信州産黒曜石の利用について 町田勝則

第5回（10月11日）

- ・県立歴史館新コーナー構想に係わる調査報告及び経過報告 山田直志

第6回（10月18日）

- ・考古資料から見えてくる信濃国の誕生 西山克己
- ・文化財の保存と活用—博物館の役割から考える— 大竹憲昭

第7回（11月21日）

- ・御真影拝戴一件-聖旨徹底過程と行政文書- 伊藤友久

第8回（12月20日）

- ・明治期陶器輸送の一形態 近藤尚義

第9回（1月24日）

- ・信州の土偶 寺内隆夫
- ・長野県の雪国の暮らし 畑上不二男

第10回（2月20日）

- ・現代の道路建設から見た古代の道路構造 白沢勝彦
- ・PEG2段階処理の実践 水澤教子

第11回（3月26日）

- ・木版画としての「教草」 林 誠
- ・学校見学-展示解説の役割- 加藤廣美

### 3 時代別研究会

#### (1) 平成30年度 時代別所属者名

	学芸部長	総合情報課	考古資料課	文献史料課
原始		大竹憲昭 寺内隆夫	近藤尚義 町田勝則	
古代 中世		水澤教子 溝口俊一	西山克己	村石正行
近世		畠上不二男 加藤廣美	白沢勝彦	小野和英
近現代	福島良彦	林 誠 山田直志		伊藤友久

#### (2) 時代別研究会の主な業務

- ① 史資料及び図書資料の調査研究
- ② 常設展及び企画展の展示資料についての調査研究

## VIII 資料の収集・整理・保存

### 1 資料収集の方針

(平成3年6月建設委員会決定)

#### (1) 資料収集の基本方針

資料収集は歴史館にとって基本的な機能であり、その規模と質が歴史館の機能を左右することにつながっている。したがって、資料収集は長期的計画的に行うとともに、開館にむけて短期的課題として集中的な対応が必要である。

次の諸点に留意し、資料収集に当たるものとする。

##### ① 資料保存体制の整備

歴史館は埋蔵文化財資料と文献史料を収集保存し、調査研究と活用を図る機関である。そのためには、県内の資料保存問題に深く留意するとともに、資料の分布調査、整理、保存、公開等のための措置と体制を長期的計画的に整備する必要がある。

##### ② 既存諸機関との関係

県内市町村の歴史資料館等既存の類似施設や諸機関は、それぞれ歴史的背景をもち、多くの成果をあげている。歴史館はこれらの諸機関を十分尊重し、友誼的関係を結び、相互に協力しつつ資料保存整備に当たることが重要である。

##### ③ 資料所蔵者との関係

資料は、県民の理解を得て寄贈寄託を図ることが望ましい。その際、所蔵者との信頼関係を長期にわたり維持発展させていくことが重要である。なお、商品として市場にある資料などは、必要なものを機を失せず購入することが望ましい。

##### ④ 歴史情報システムの整備

歴史館は、郷土や地域の歴史についての情報の収集、提供を行う。そのため、収蔵資料情報以外にも、県内外資料情報、歴史情報、各種目録等を長期的計画的に収集し、総合的、有機的に利用できるよう、コンピュータ化する必要がある。

#### (2) 資料収集の具体的方針

##### ① 収集資料の種類

###### (a) 保存用資料

埋蔵文化財資料、行政文書、古文書など歴史的に重要な保存、収蔵していること自体に意味があるもの。歴史館としての評価はこの部分の規模と質によって決まる。

埋蔵文化財調査及び、県史編纂の過程で収集した資料を中心としたながら、寄贈、寄託、購入などによっても収集を図る。

###### (b) 展示用資料

常設展示や企画、巡回、特別展示などに必要な資料

で、歴史館所有保管にならないものも含み、借用、複製、購入などによって収集を図る。

##### (c) 研究用資料

教育普及、情報提供や長野県の歴史、郷土に関する調査研究など、館内または外部研究者、来館者の学習、研究上必要な資料を収集する。

##### (d) 歴史情報資料

諸学会、研究団体、歴史民族資料館などが所有する地域史史料の情報、地域史研究に関わる歴史情報などを収集し、総合的、有機的に利用できるよう、コンピュータによるデータベース化を図る。

#### ① 収集資料の範囲

(a) 歴史館は、考古館及び文書館施設としての性格をもった歴史博物館的施設である。従って収集対象とする資料の時代的範囲は、原始から現代に及ぶものとする。

(b) 収集資料の地域的範囲は、おおむね現在の県域を中心とする。しかし、長野県は東西文化の結節点に位置し、東西交流はもとより太平洋側と日本海側を縦断する南北交通の要衝にあり、本県に関連する重要資料は、全国に存在しているため必要に応じて全国的視野からの収集を考慮する。

(c) 歴史館は、長野県に関する埋蔵文化財資料及び文献史料の収集を主とするが、それ以外にも下記のような展示、調査研究等に活用できるものを中心に可能な限り収集する。

ア 信濃の歴史的変遷や生活風土の諸相を示す資料

イ 美術工芸品で長野県に関係が深く展示テーマに合致する資料

ウ 各時代の生活の特色を示す生活民俗資料

エ 地域史研究に役立つ文献以外の諸資料（地名、地図、伝承、風俗、地割等）

#### ③ 資料収集の方法

(a) 資料は、埋蔵文化財センター、信濃史料刊行会、長野県史刊行会、長野県立図書館などで収集された資料の移管、委譲をはじめ、県民の理解を得て寄贈、寄託が望ましい。そのため、早くから広報活動を行い、必要な資料については、購入、複製収集などに当たる。

(b) 寄贈、寄託、購入などに当たっては必要に応じ専門家の意見を聞くものとし、取扱いについては別途定める。

(c) 本館の活動が、県内市町村の歴史資料館等類似施設の活動に不安を与えることのないように配慮する。資料は、現地保存、現地公開、現地利用を原則とし、贈、寄託等を受けるに当たっては、所蔵者との交渉のみならず市町村の了解を得ることが望ましい。これらの諸機関との友誼的関係にたって収集に当たる。特に歴史的価値が高いもので、

ア 市町村において保存、整理、公開の対応ができるものの

- イ 資料散逸の危機性が高く、早急な対応が必要なものについては優先的に対応する。
- (d) 資料収集は、県内の所在資料について詳細な調査を進めるとともに、県外所在資料についても順次調査を行う中で系統的長期的に行う。資料の選択と評価にあたっては、個人的、時代的な価値判断に陥らないよう、十分留意するものとする。
- (e) 県内における文献史料の所在、分布調査等を行うため、資料調査員制度を設ける。
- (f) 歴史的に重要な行政文書等の収集・保存を組織的系統的に行う。

平成30年度、過去に長野県埋蔵文化財センターから移管された資料の移管残し資料の移管があった。遺物類は報告書掲載分（村東山手遺跡：2箱）、報告書非掲載分（その他の遺跡：26箱）、測量関係2箱（測量基準点及び基準線設定作業報告書等=42冊）、2筒（大星山古墳測量図面）、写真記録類6箱（吉田向井遺跡遺物写真ほか）、調査日誌2箱（赤沢城遺跡ほか）、自然科学分析報告16箱（清水山古窯跡C14年代測定結果ほか：13箱、段ボール3箱：271冊）、安曇野市穂高古墳群関係1箱、図面ファイル1冊（ラジコンヘリ空撮、空撮写真集ほか：5冊）

## 2 展示資料

### (1) 収集資料数

区分	製作・購入	移管	寄贈	寄託	計
平成30年	0	0	5	0	5

### (2) 収集資料の内訳

なし

### (3) 寄贈

品名	員数	寄贈者	時代	備考
小型攪拌式洗濯機 MW201型	1台	長岡邦男	近現代	
五傍の掲示 第一札	1面	松本武典	近現代	
中山道長窪宿高札 (問屋規定)	1面	石合道重	近現代	
三村家資料	1式	依田由加	近現代	
手回し洗濯機	1台	小林正宜	近現代	

### (4) 寄託

なし

### (5) 修復

なし

## 3 考古資料

### (1) 収集

## (2) 保存処理・修復・科学分析

### ・保存処理・科学分析

館蔵脆弱資料のうち劣化が深刻な資料に対して、集中的な保存処理を継続実施。  
当館の設備を用いて、当県の歴史の研究のために必要とされる科学分析を実施した。  
長野県埋蔵文化財センター並びに市町村教育委

員会へ必要な技術協力を行なった。

### ・その他

市町村埋蔵文化財担当者および博物館施設職員等を対象とした、考古資料保存処理講習会「赤外線、X線、実体顕微鏡を応用した資料観察の手順と読影方法」を11月30日に開催し、18名の参加があった。

項目	内 容		件 名 ・ 資 料 名	処理点数	状 況	所 管
木 器	大型木器等 PEG処理 槽一括 処理	P E G法※1	第33シリーズ（B槽） (社宮司遺跡他)	519	継 続	当 館
			第32シリーズ（C槽） (春山B遺跡他)	282	完 了	当 館
			第31シリーズ（A槽） (東條遺跡他)	110	完 了	当 館
		小型木器	F D法※2 (FD処理待ち含む) 屋代脆弱（D槽）	110	継 続	当 館
	継 続 合 計			629		
	完 了 合 計			392		
	PEG処理後写真 記録整理	第31シリーズ（A槽110点写真） 第32シリーズ（C槽282点写真）		392	完 了	当 館
		第29・30・31シリーズ (記録整理)		980	完 了	当 館
金 属 器	保存処理・修復		館蔵金属製品（峯譜坂遺跡）	33	継 続	当 館
			若森社遺跡「菊花飛雀鏡」 唐沢城跡出土「松樹双雀鏡」	2	完 了	飯島町教育委員会
科 学 分 析	赤外線観察		松本市波田地区諏訪神社 木札墨書	2	完 了	松本市教育委員会
			松本市島立地区沙田(いさごた)神社 木札墨書	5	完 了	
			武田晴信書状墨書	1	完 了	当館文献史料課
	X線透過撮影観察		小島・柳原遺跡 金属製品	204	完 了	長野県埋蔵文化財センター
			須坂市小河原遺跡 銅錢	5	完 了	須坂市生涯学習スポーツ課
			若森社遺跡「菊花飛雀鏡」 唐沢城跡出土「松樹双雀鏡」	2	完 了	飯島町教育委員会
	合 計			219		
保存処理・観察・分析・修復・環境管理等問合せへの回答				27 件	15県市町村	

※1 ポリエチレングリコール処理を実施したもの（最終的にポリエチレングリコールを100%まで浸漬）。

※2 真空凍結乾燥法で保存処理したもの。

## 4 文献史料

### (1) 行政文書

#### ① 収集・整理

- ア 行政文書 587 冊
- イ 行政資料 371 冊 (長野県の行政刊行物、議会資料等)
- ウ 県報 122 件 (平成 30 年 1 月～12 月 製本)

#### ② 公開・非公開判定

- ア 行政文書の公開・非公開判定 (大正期の見直し判定を含む) 2,573 冊

#### ③ その他

- ア 保存箱作成、金属除去、ラベル貼り

### (2) 近現代資料収集・整理・保存

#### ① 収集・整理

- ア 寄贈資料の登録・配架 酒井三重氏資料ほか 8 件
- イ 移管資料の登録・配架 県立長野図書館ほか 3 件
- ウ 長野県労働組合評議会資料 (昭和 27～63 年) 916 冊
- 長野県労働組合評議会資料 (昭和 32～平成 2 年メーデーほか) 写真・ネガ 56 件
- エ 地区労働組合評議会・単産労働組合 66 冊

#### ② 保存

- ア 長野県史写真フィルム (35mm) の洗浄・複製製作 (業者委託)  
継続事業 小県郡 486 本

(3) 古文書

① 収集 (\* 概数含む) 8,374 点

文 書 名	内 容
寄贈	
安曇郡堀之内村中村家文書 379 点	村方文書・土地集積史料
安曇郡堀之内村柏原家文書 1,226 点	近世以降の貸借・売買関係の文書
*埴科郡森村近藤家文書 5,000 点	森村村方文書・戦時郵便等
筑摩郡南百瀬村百瀬家文書 78 点	小笠原秀政時代の名寄帳や忠政時代の家中名簿
細川賢一関係史料 1,225 点	林務技師細川賢一収集の本草学・地誌・医学関係資料
中澤恵太収集史料 104 点	長野県の衛生団体の会報『信濃衛生』
下諏訪宿増沢家文書 118 点	友之町役人の増沢家（奈良屋）に関する史料
計 約 8,130 点	
寄託	
なし	
購入	
真田家勘定吟味役成沢家文書 135 通	藩政に関わる幕末明治の日記・書状
夜の鶴 冷泉為和奥書 1 冊	阿仏尼の著作による故実写本
大坂城代諸事手控 4 冊	上田藩主松平忠優が大坂城代時代に記した諸書留
三好亭江御成之記 1 冊	足利義輝が三好長慶邸を訪問した際の記録で松代藩飯島氏旧蔵本
安曇郡中堂村二村家文書 96 通	松本藩鷹狩二村家伝来の文書
小笠原家文書 2 幅	足利尊氏自筆書状・徳川家康書状
武田家朱印状 1 幅	永禄 10 年諏訪上社如法院あて朱印状
村上（山浦）景国判物 1 幅	天正 10 年更埴の武士酒井氏に出した安堵状
平某下文 1 幅	白馬地域の地頭に出された平氏による鎌倉時代初期の下文原本
堀直寄家中在々置文 1 通	飯山領主堀直寄による法度
恵崎家文書（仙石秀久黒印状並同心政判物）1 幅	仙石氏代々が東信の武士恵崎氏に出した安堵状等
計 244 点	

② 整理 (\*=継続整理中)

文書名	点数(点)
*宮坂武男城郭研究資料	5,910
*伊那郡石曾根村飯島家文書	4,341
大工石倉芳隣関係資料（上条信彦氏収集史料）	17
信濃国藩政史料 追加分	4
県立歴史館収集文書（雑）追加分	193
細川賢一関係史料	1,225
中澤恵太収集史料	104
佐久郡上平尾村森泉家文書	3,916
諫訪郡乙事村五味家文書（上条信彦氏収集史料）	37
下諫訪宿鳩屋山田家文書	114
森川汀川蔵 島木赤彦追悼短歌（上条信彦氏収集史料）	112
下諫訪宿増沢家文書（東洋大学近世史ゼミ寄贈分）	118
諫訪郡下桑原村関家文書	18
諫訪郡地方文書	58
飯田藩士杉本家文書（上条信彦氏収集史料）	73
*伊那郡地方文書（上条信彦氏収集史料）	164
筑摩郡二子神社文書（上条信彦氏収集史料）	10
安曇郡宮本神明宮神官一志家文書（上条信彦氏収集史料）	65
*筑摩郡安曇郡地方文書（上条信彦氏収集史料）	112
安曇郡堀之内村中村家文書	379
安曇郡小室村二村家文書	96
筑摩郡南百瀬村百瀬家文書	78
安曇郡堀之内村柏原家文書	1,226
筑摩郡横川村文書（上条信彦氏収集史料）	23
筑摩郡中村山崎家文書（上条信彦氏収集史料）	101
善光寺地震被害状況一件	1
更級郡埴科郡地方文書（上条信彦氏収集史料）	15
松代藩郡奉行成沢家文書	135
更級郡布施五明村村松家文書（上条信彦氏収集史料）	153
更級郡塙崎村長谷組文書（上条信彦氏収集史料）	21
埴科郡森村中澤家文書	1,107
*高井郡地方文書（上条信彦氏収集史料）	19
高井郡赤岩村湯本家文書（上條信彦氏収集文書）	362
上水内郡北小川村戸谷家文書（上条信彦氏収集史料）	223
水内郡鬼無里村・一野瀬村文書	76
水内郡桜枝町春日榮太郎商店史料（上条信彦氏収集史料）	74
水内郡替佐村文書（上条信彦氏収集史料）	19
水内郡長井村文書（上条信彦氏収集史料）	65
合計 38タイトル	20,764

③ 公開 (WEB も含めて)

番号(地区・通番)	文書名	点数(点)
0 23	大工石倉芳隣関係資料(上条信彦氏収集史料)	17
0 21	信濃国藩政史料 追加分	4
0 99-3	県立歴史館収集文書(雑)追加分	214
1 16	細川賢一関係史料	1,225
1 17	中澤恵太収集史料	104
2 25	佐久郡上平尾村森泉家文書	3,916
3 25	諏訪郡地方文書	58
3 26	諏訪郡乙事村五味家文書(上条信彦氏収集史料)	37
3 27	下諏訪宿鳴屋山田家文書	114
3 28	森川汀川蔵 島木赤彦追悼短歌(上条信彦氏収集史料)	112
3 29	下諏訪宿増沢家文書(東洋大学近世史ゼミ寄贈分)	118
3 30	諏訪郡下桑原村関家文書	18
4 39	飯田藩土杉本家文書(上条信彦氏収集史料)	73
4 40	伊那郡地方文書(上条信彦氏収集史料)	164
5 56	筑摩郡二子神社文書(上条信彦氏収集史料)	10
5 57	安曇郡宮本神明宮神官一志家文書(上条信彦氏収集史料)	65
5 58	筑摩郡安曇郡地方文書(上条信彦氏収集史料)	112
5 59	安曇郡堀之内村中村家文書	379
5 60	安曇郡小室村二村家文書	96
5 61	筑摩郡南百瀬村百瀬家文書	78
5 62	安曇郡堀之内村柏原家文書	1,226
5 63	筑摩郡横川村文書(上条信彦氏収集史料)	23
5 65	筑摩郡中村文書(上条信彦氏収集史料)	101
7 45	善光寺地震被害状況一件	1
7 46	更級郡埴科郡地方文書(上条信彦氏収集史料)	15
7 47	松代藩郡奉行成沢家文書	135
7 49	更級郡布施五明村村松家文書(上条信彦氏収集史料)	153
7 50	更級郡塙崎村長谷組文書(上条信彦氏収集史料)	21
8 19	高井郡地方文書(上条信彦氏収集史料)	19
8 20	高井郡赤岩村湯本家文書(上条信彦氏収集史料)	362
9 35	上水内郡北小川村戸谷家文書	223
9 36	水内郡鬼無里村・一野瀬村文書	76
9 37	水内郡桜枝町春日榮太郎商店史料(上条信彦氏収集史料)	74
9 38	水内郡替佐村文書(上条信彦氏収集史料)	19
9 39	水内郡長井村文書(上条信彦氏収集史料)	65
35タイトル	合計	9,427

④ 収蔵文書目録 18 の刊行

文書番号	収録文書名
2-23・25・29	佐久郡大日向村浅川家・上平尾村森泉家・同村大工川村家文書

⑤ 古文書のマイクロ化・紙焼き・製本

マイクロ	矢代宿本陣柿崎家文書 佐久郡上平尾村森泉家文書	全点終了 目録番号 2-25-1～（終了） 2,850 カット
紙焼・製本	矢代宿本陣柿崎家文書 佐久郡上平尾村森泉家文書	全点終了 目録番号 2-25-1～（継続） 2,850 カット

⑥ 資料のデジタル化（業者委託）

宮坂武男城郭研究資料（鳥瞰図）	24bit フルカラー TIFF（保存データ）・JPEG（活用データ）・ PDF（郡毎） 832 点
-----------------	---

⑥ 資料の修復（業者委託）

飯島家文書「室町幕府申状案」

(4) その他

- ① くん蒸釜のよるくん蒸 9回 行政文書、行政資料、古文書、展示資料など

## IX 広 報

### 1 広告・案内

当館の紹介や企画展示・関連行事・講座等で実施した主な広報は以下の通りである。下記以外に千曲市内へのチラシ回覧、千曲市内および長野市内の学校や諸機関等への手配りチラシ広報を実施している。また、各報道機関への案内・当館及び県博協、日博協などのホームページの情報更新も適宜行っている。

月	掲載・掲示	内 容	規 格	備 考
4月	毎日新聞 県教委メールマガジン 信濃毎日新聞 中島新聞店チラシ 毎日新聞 博物館研究 5月号 朝日新聞 ハートピアすまいる 信濃毎日新聞	長野県の遺跡発掘 2018 5月の予定 「県北部の弥生文化を考える」遺跡報告・パネルディスカッション 信毎の本 「日常生活からひもとく信州」 長野県の遺跡発掘 2018 長野県の遺跡発掘 2018 長野県の遺跡発掘 2018 歴史館でこどもの日 本紹介 「日常生活からひもとく信州 信州を学ぶ足元を探る編」	新聞 メールマガジン 新聞 チラシ 新聞 日博協機関誌 新聞 中島新聞店チラシ 新聞	美術館・博物館ガイド 週刊ガイド 美術館・博物館ガイド 美術館・博物館ガイド Na713 本の散歩みち
5月	毎日新聞 信濃毎日新聞 週刊長野 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 博物館研究 6月号 読売新聞 県教委メールマガジン 毎日新聞 信濃毎日新聞	長野県の遺跡発掘 2018 考古学講座 「温暖化への適応旧石器時代から縄文時代へ」 「信州学」「考古学」シリーズで5月から県立歴史館講座 望月歴史民俗資料館講座 「進化する縄文土器」 若者向け古文書講座の受講生を募集 信州学講座 「歴史館から信州学を考える」 長野県の遺跡発掘 2018 君は河童をみたか！一水辺の出会いー 長野県の遺跡発掘 2018 6月の予定 長野県の遺跡発掘 2018 考古学講座「寒冷化に備える 縄文中期・後期、中部高地縄文人の知恵」	新聞 新聞 タブロイド紙 新聞 新聞 新聞 日博協機関誌 新聞 メールマガジン 新聞 新聞	美術館・博物館ガイド 週刊ガイド 週刊ガイド 文化短信 週刊ガイド 美術館・博物館情報 美術館・博物館ガイド 週刊ガイド
6月	長野市民新聞 信濃毎日新聞 長野県プレスリリース 広報ながのけん夏号 中日新聞 信濃毎日新聞 毎日新聞 FMぜんこうじスポットCM 週刊長野 信濃毎日新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 博物館研究 7月号 毎日新聞 県教委メールマガジン	考古学セミナー 「『岩宿時代』を考える」 信州学講座 「古墳時代研究からわかる科野の成立」 夏季企画展 「君は河童をみたか！一水辺の出会いー」 夏季企画展 「君は河童をみたか！一水辺の出会いー」 夏季企画展 「君は河童をみたか！一水辺の出会いー」 夏季企画展 「君は河童をみたか！一水辺の出会いー」 夏季企画展 「君は河童をみたか！一水辺の出会いー」 夏季企画展 「君は河童をみたか！一水辺の出会いー」 夏季企画展 「君は河童をみたか！一水辺の出会いー」 夏季企画展 「君は河童をみたか！一水辺の出会いー」 信州学講座 「室町時代諏訪信仰を広げたのは誰だ」 「君は河童をみたか！一水辺の出会いー」 夏季企画展 「君は河童をみたか！一水辺の出会いー」 7月の予定	タブロイド紙 新聞 プレスリリース 広報紙 新聞 新聞 新聞 ラジオ放送～6/22 タブロイド紙 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 日博協機関誌 新聞 メールマガジン	週間ガイド 情報掲示板 有料広告 週間ガイド 有料広告 週間ガイド 有料広告 週間ガイド 有料広告 美術館・博物館ガイド 有料広告

	中日新聞 信濃毎日新聞	夏季企画展 「君は河童をみたか！一水辺の出会いー」 考古学講座「石器の消滅 弥生中期から後期への移行」	新聞 新聞	週間ガイド
7月	毎日新聞	夏季企画展「君は河童をみたか！一水辺の出会いー」	新聞	美術館・博物館ガイド
	信濃毎日新聞	信州学講座「拾ヶ堰 近世安曇平における用水堰開発の到達点」	新聞	週間ガイド
	ケーブルネット千曲7月号	夏季企画展「君は河童をみたか！」	チラシ	地域情報
	毎日新聞	夏季企画展「君は河童をみたか！一水辺の出会いー」	新聞	美術館・博物館ガイド
	信濃毎日新聞	県立歴史館巡回展「長野県の遺跡発掘」県伊那文化会館	新聞	週間ガイド
	信濃毎日新聞	夏季企画展関連講座	新聞	週間ガイド
	長野市民新聞	河童（かつぱ）講座	タブロイド紙	講座案内
	信濃毎日新聞	考古学講座「シナノから科野へ」	新聞	週間ガイド
	信濃毎日新聞	歴史館で夏休み	新聞	週間ガイド
8月	信濃毎日新聞	「信濃の風土と歴史24 みち」	新聞	本の散歩みち
	広報うえだ	信州学出前講座 in 上田 「古墳時代後期のシナノの国」	広報紙	情報アラカルト
	週刊うえだ	信州学出前講座 in 上田 「古墳時代後期のシナノの国」	タブロイド紙	生活ミニ情報
	信濃毎日新聞	信州学出前講座 in 上田 「古墳時代後期のシナノの国」	新聞	週間ガイド
	県教委メールマガジン	9月の予定	メールマガジン	
	博物館研究 9月号	「最古の信州ブランド黒曜石」	日博協機関誌	展覧会(歴史)一覧
9月	朝日新聞	秋季企画展「最古の信州ブランド黒曜石」	新聞	有料広告
	FMせんこうじスポットCM	秋季企画展「最古の信州ブランド黒曜石」	ラジオ放送～9/19	有料広告
	長野県プレスリリース	秋季企画展「最古の信州ブランド黒曜石」	プレスリリース	
	信濃毎日新聞	秋季企画展関連講演「黒曜石が語る列島の細石器文化」	新聞	週刊ガイド
	信濃毎日新聞	秋季企画展「最古の信州ブランド黒曜石」	新聞	有料広告
	県教委メールマガジン	10月の予定	メールマガジン	
	博物館研究 10月号	「最古の信州ブランド黒曜石」ワークショップ・講演会	日博協機関誌	展覧会(歴史)一覧
10月	八十二文化財団機関誌	10月～12月の予定 黒曜石展、田淵行男展	機関誌	
	信濃毎日新聞	県立歴史館 最古の信州ブランド黒曜石関連イベント	新聞	週刊ガイド
	信濃毎日新聞	県立歴史館・KOAの日	新聞	週刊ガイド
	博物館研究 11月号	「最古の信州ブランド黒曜石－先史社会の石材獲得と流通－」	日博協機関誌	展覧会(歴史)一覧
	県教委メールマガジン	11月の予定		
	週刊長野	屋代駅前から古代行列古代史講演会や体験も 3日森将軍塚まつり	タブロイド紙	森将軍塚まつり
	長野市民新聞	古代人の衣装で住民がパレード 3日に森将軍塚まつり	タブロイド紙	
11月	信濃毎日新聞	森将軍塚まつり	新聞	週刊ガイド
	広報「ながのけん」秋号	秋季企画展「最古の信州ブランド黒曜石」	広報誌	お出かけ情報
	週刊長野	「信州学講座」後期 12月から3月に5回	タブロイド紙	
	信濃毎日新聞	県立歴史館 いい育児の日イベント	新聞	週刊ガイド
	信濃毎日新聞	県立歴史館の信州学出前講座 in 箕輪	新聞	週刊ガイド
	県教委メールマガジン	12月の予定	メールマガジン	
	博物館研究 12月号	自然を見つめた田淵行男	日博協機関誌	展覧会(歴史)一覧

12月	長野県プレスリリース	冬季展 自然を見つめた田淵行男展	プレスリリース	週刊ガイド 千曲版
	信濃毎日新聞	近世史セミナー	新聞	
	長野市民新聞	「長野都市ガスの日」	タブロイド紙	
	長野県プレスリリース	長野県立歴史館協議会の委員を募集します。	プレスリリース	
	中日新聞	冬季展 自然を見つめた田淵行男展	新聞	
	信濃毎日新聞	長野都市ガスの日	新聞	
	八十二文化財団機関誌	12月～2月の予定 自然を見つめた田淵行男	機関誌	
	朝日新聞	自然を見つめた田淵行男	新聞	
	中日新聞	冬季展 自然を見つめた田淵行男展	新聞	
	県教委メールマガジン	1月の予定	メールマガジン	
1月	博物館研究 1月号	自然を見つめた田淵行男	日博協機関誌	展覧会(歴史)一覧
	中日新聞	冬季展 自然を見つめた田淵行男展	新聞	有料広告
	信濃毎日新聞	「自然を見つめた田淵行男」	新聞	展覧会案内
	信濃毎日新聞	対談「田淵行男と人づくりー安曇野の環境保全ー」	新聞	週刊ガイド
	中日新聞	冬季展 自然を見つめた田淵行男展	新聞	有料広告
	博物館研究 2月号	自然を見つめた田淵行男	日博協機関誌	展覧会(歴史)一覧
2月	県教委メールマガジン	2月の予定	メールマガジン	
	信濃毎日新聞	「信州を学ぶ信州最古のブランド『黒曜石』から見る先史の信州」	新聞	上田郷友会例会
	八十二文化財団機関誌	3月～4月の予定 田淵行男展、2019巡回展	機関誌	
	長野県プレスリリース	新収蔵資料「足利尊氏書状」	プレスリリース	
	長野県プレスリリース	天皇陛下御在位30年を慶祝して無料公開します。	プレスリリース	
	信濃毎日新聞	信州学出前講座 in 諏訪 「諏訪信仰と室町幕府」	新聞	週刊ガイド
	中日新聞	信州学出前講座 in 松本 河童展開連講演	新聞	情報ひろば
3月	博物館研究 3月号	2019長野県立歴史館巡回展「長野県の考古学」	日博協機関誌	展覧会(歴史)一覧
	県教委メールマガジン	3月の予定	メールマガジン	
	信濃毎日新聞	信州学出前講座 in 松本 河童展開連講演	新聞	週刊ガイド
	長野県プレスリリース	2019長野県立歴史館巡回展「長野県の考古学」	プレスリリース	
	信濃毎日新聞	信州学出前講座 in 飯田 「田中芳男 博物館の父は飯田から羽ばたいた」	新聞	週刊ガイド
	長野県プレスリリース	県立歴史館25周年記念企画展記者会見について	プレスリリース	
	信濃毎日新聞	信州自然共生プチアゴラ拡大版「サイエンスカフェ(信大カム)」講演	新聞	週刊ガイド
	博物館研究 4月号	2019長野県立歴史館巡回展「長野県の考古学」	日博協機関誌	展覧会(歴史)一覧
	信濃毎日新聞	2019長野県立歴史館巡回展「長野県の考古学」	新聞	有料広告
	県教委メールマガジン	4月の予定	メールマガジン	
	朝日新聞	2019長野県立歴史館巡回展「長野県の考古学」	新聞	ギャラリー
	中日新聞	シンポジウム「赤レンガでつなぐとき、まち、ひと」	新聞	情報ひろば

## 2 記事・報道

当館に関する主な記事・番組等は以下のとおりである。ケーブルテレビ局と有線放送局作成番組については、提携各局において随時放送されている。テレビ・ラジオ局によるニュース報道については含まれていない。

月	掲載・掲示	タイトル	規 格	備 考
4月	長野市民新聞	“幸せ実感都市長野”市民会議	記事	巡回展イベント関連
	信濃毎日新聞	県内の水田稲作 弥生後期 本格的に発展か	コラム	
	中日新聞	長野県の遺跡発掘 2018	記事	
	屋代有線放送	今年度の講座のご案内	有線放送	
	屋代有線放送	古文書講座募集について	有線放送	
	週刊長野	新刊紹介「日常生活からひもとく信州」	記事	
	屋代有線放送	巡回展「長野県の遺跡発掘 2018」の見どころ	有線放送	
	信濃毎日新聞	長野県の遺跡発掘 2018 遺跡報告・パネルディスカッション	記事	
5月	信濃毎日新聞	公文書管理 態勢や保存期間に課題「検証できる行政」が重要	記事	考古学講座関連
	屋代有線放送	歴史館で子どもの日・ミニ展示「県歌50年」	有線放送	
	信濃毎日新聞	氷河期終わりの温暖化 土器や弓矢発明で適応	コラム	
	信濃毎日新聞	「火焔型土器」に聖火ともる？ 新潟の動き県内も注視	記事	
	信濃毎日新聞	県外で「どちらの方？」何と答える「長野県」△76%「信州」△12%	記事	
	屋代有線放送	県立歴史館の信州学講座	有線放送	
	屋代有線放送	巡回展「長野県の遺跡発掘 2018」の見どころ	有線放送	
	中日新聞	「星降る中部高地の縄文世界」日本遺産に認定	記事	
6月	週刊長野	県歌「信濃の国」ミニ展示紹介	記事	ミニ展示関連
	信濃毎日新聞	古墳時代の渡来系文化 馬の墓・積石塚 特徴的	コラム	信州学講座関連
	長野朝日放送	「開幕直前 100回目の熱い夏 高校野球好き大集合」	テレビ放送	ミニ展示関連
	屋代有線放送	夏季企画展「君は河童をみたかー水辺の出会いー」紹介	有線放送	夏季企画展関連
	信濃毎日新聞	各地に残る河童の伝承 人と水の関係を象徴	コラム	夏季企画展関連
	市民新聞グループ	夏季企画展「君は河童をみたか！一水辺の出会いー」	記事	夏季企画展関連
	FM長野	夏季企画展「君は河童をみたか！一水辺の出会いー」	ラジオ放送	夏季企画展関連
	FMぜんこうじ	夏季企画展「君は河童をみたか！一水辺の出会いー」	ラジオ放送	夏季企画展関連
	週刊長野	夏季企画展「君は河童をみたか！一水辺の出会いー」紹介	記事	夏季企画展関連
	信濃毎日新聞	長野に木製軍用機タンク 旧日本軍「落下増槽」	記事	
	信濃毎日新聞	室町時代の諏訪信仰 信州ゆかりの神氏が尽力	コラム	信州学講座関連
	屋代有線放送	ミニ展示「信州の野球史」紹介	有線放送	ミニ展示関連
	SBCラジオ	うわさの調査隊	ラジオ放送	夏季企画展関連
	朝日新聞	資料でたどる信州の野球史 明日から県立歴史館	記事	ミニ展示関連
	スポーツ	貴重資料で振り返る野球史 明日から県立歴史館	記事	ミニ展示関連
	信濃毎日新聞	全国屈指の強さ振り返る 県立歴史館きょうから「信州の野球史」	記事	ミニ展示関連
	長野市民新聞	来月末までかっぱ展 県立歴史館 絵や土器類120点	記事	夏季企画展関連
	中日新聞	信州球児の歩み 振り返る 生糸のユニフォームも展示	記事	ミニ展示関連
	毎日新聞	君は河童を見たか！ 千曲 県立歴史館で企画展	記事	夏季企画展関連
	SBC信越放送	すぐだせテレビ	テレビ放送	夏季企画展関連
	信濃毎日新聞	弥生時代 県内に鉄器普及 道具を作る最新技術 存在か	コラム	考古学講座関連
	信州CATV	「日々のニュース」 ミニ展示案内	CATV	ミニ展示関連
	長野朝日放送	ミニ展示「信州の野球史 夏」	テレビ放送	ミニ展示関連

	中日新聞 信州CATV 週刊長野 信濃毎日新聞	一流から最先端研究学ぼう 木崎夏季大学 「日々のニュース」 ミニ展示案内 野尻湖へ「歴史列車の旅」 白球つなぐ2 諏訪蚕糸が準優勝 製糸業者の援助で躍進	記事 記事 記事	ミニ展示関連 企画展関連
7月	信州CATV	「日々のニュース」 ミニ展示案内	CATV	ミニ展示関連
	トランヴェール7月号	荒俣宏妖怪探偵団「信州の夏はワンダー」	雑誌記事	夏季企画展関連
	信州CATV	「日々のニュース」 ミニ展示案内	CATV	ミニ展示関連
	信州CATV	「日々のニュース」 ミニ展示案内	CATV	ミニ展示関連
	信州CATV	「日々のニュース」 ミニ展示案内	CATV	ミニ展示関連
	読売新聞	新聞記事や試合写真 千曲で信州野球史展	記事	ミニ展示関連
	信濃毎日新聞	県内各地の用水堰 今も生きる歴史遺産	コラム	信州学講座関連
	a b n長野朝日放送	今ドキ！星ドキッ！	テレビ放送	夏季企画展関連
	屋代有線放送	『歴史館へようこそ』 ミニ展示「信州の野球史 夏」	有線放送	ミニ展示関連
	長野日報	強さの背景に製糸あり	記事	ミニ展示関連
	信濃毎日新聞	祈りの対象 水辺の精霊	記事	夏季企画展関連
	信濃毎日新聞	「河童」をテーマに県立歴史館の夏季企画展	記事	夏季企画展関連
	屋代有線放送	歴史館で夏休み紹介	有線放送	
	中日新聞	河童にまつわる絵画や文献紹介	記事	夏季企画展関連
	信濃毎日新聞	シナノから科野へ ヤマト王権の統治下に	コラム	考古学講座関連
	信濃毎日新聞	かつばにみる人と水の関係	記事	夏季企画展関連
	信濃毎日新聞	県立歴史館 HPまた改ざん被害	記事	
	読売新聞	県立歴史館 HP改ざんされる	記事	
	中日新聞	県立歴史館 HP改ざんされ閉鎖	記事	
	屋代有線放送	夏季企画展「君は河童をみたか！－水辺の出会い－」紹介	有線放送	夏季企画展関連
	岡工同窓会報	夏の甲子園 100回大会でイベント	会報誌	ミニ展示関連
	朝日新聞（全国版）	君は河童にあいたいか！長野で企画展	記事	夏季企画展関連
	信濃毎日新聞	野球への思い 野球展紹介	記事（斜面）	ミニ展示関連
	信濃毎日新聞	倉島丹浪らが描いた河童 時代ごとに姿を変え	コラム	夏季企画展関連
8月	信濃毎日新聞	明治初期 松本城で「博覧会」 幕藩体制の象徴 公開	コラム	新刊本関連
	中日新聞	先進の研究一般向けに 大町で「木崎夏季大学」	記事	
	信濃毎日新聞	県内校へ「御真影」下賜 近代天皇制 姿伝える	コラム	
	屋代有線放送	特別歴史講話「日常生活からひもとく信州」	有線放送	
	信濃毎日新聞	弥生時代のお墓 松本平に見る多様さ	コラム	巡回展（塩尻）関連
	中日新聞	遺物で知る弥生文化 塩尻 副葬品や土器等展示	記事	巡回展（塩尻）関連
	信濃毎日新聞	「没落守護」の追放後 京で盛んに文芸活動	コラム	新所蔵品関連
	毎日新聞	黒曜石鉱山遺跡 200人見学 長和	記事	
9月	信濃毎日新聞	サケ・マス類の骨 大量発見 繩文時代に焼製施設か	コラム	常設展関連
	屋代有線放送	秋季企画展「最古の信州ブランド黒曜石」紹介	有線放送	秋季企画展関連
	信濃毎日新聞	黒曜石との出会い 県内の旧石器文化 始動	コラム	秋季企画展関連
	FMぜんこうじ	秋季企画展「最古の信州ブランド黒曜石」	ラジオ放送	秋季企画展関連
	信濃毎日新聞	黒曜石の活用や流通紹介	記事	秋季企画展関連
	信濃毎日新聞	県立歴史館 HP、2カ月ぶりに再開	記事	
	中日新聞	改ざん被害のHP2カ月ぶりに再開	記事	
	朝日新聞	「最古の信州ブランド」 黒曜石を展示	記事	秋季企画展関連

	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 毎日新聞	「伊那県」の歴史「誇りを感じた」 県庁設置飯島で記念講演 江戸後期の千曲川通船 画期的だった大量輸送 縄文の信州支えた黒曜石に光 千曲の県立歴史館 黒曜石文化を紹介 公民館のあり方 担当職員ら議論 中野で県大会 最古の信州ブランド黒曜石を知って	記事 コラム 記事 記事(ヤング) 記事 記事	常設展関連 常設展関連 秋季企画展関連 秋季企画展関連
10月	信濃毎日新聞 週刊長野 長野市民新聞 屋代有線放送 信濃毎日新聞 中日新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 山梨日日新聞 信濃毎日新聞	守護を破った大塔合戦 信濃武士の熱い心意気 信州の黒曜石文化紹介 産出・流通・利用の歴史 黒曜石の交流を紹介 秋季企画展「最古の信州ブランド黒曜石」紹介 昭和20、30年代の洗濯機 国民に普及、暮らしに変化 縄文ロマン輝く黒曜石 600点展示 小笠原氏が築いた城跡を。パネル展示 信州黒曜石の利用法 旧石器時代の中で変化 歴史遺産の未来を考える 富士見・長和・英國の3グループ意見交換 県立歴史館で「国際交流子どもサミット」 県立歴史館 初の連携協定 人材や収蔵品山梨県立博物館と (山梨)県立博物館 長野・歴史館と協定 繁栄した信州の縄文ムラ 黒曜石求め人々が行き来	コラム 記事 記事 有線放送 コラム 記事 記事 コラム 記事 記事 記事 コラム	常設展関連 秋季企画展関連 秋季企画展関連 秋季企画展関連 常設展関連 秋季企画展関連 講演会関連 秋季企画展関連 秋季企画展関連 秋季企画展関連 秋季企画展関連 秋季企画展関連
	屋代有線放送	秋季企画展「最古の信州ブランド黒曜石」紹介	有線放送	秋季企画展関連
	信濃毎日新聞	災害から史料守る対策学ぶ 連絡協が千曲で講習会	記事	
	信濃毎日新聞	石垣からみた松本城 天守台築造 江戸初頃か	コラム	
	信濃毎日新聞	夜間鶴川の水害振り返るシンポ	記事	
	信濃毎日新聞	平岡ダム突貫工事 朝鮮人らの犠牲の上に	コラム	新刊本関連
	信濃毎日新聞	「いい育児の日」イベントで親子で土器の色付け体験	記事	
	中日新聞	町文化財指定めざす 久保洞水路橋	記事	
	信濃毎日新聞	旧川岸村から全国一極めた「片倉」 縫糸機の合理化を契機に躍進	コラム	新刊本関連
	長野朝日放送	「土曜駅前テレビ」 縄文の旅 信州黒曜石ロマン探検	テレビ放送	秋季企画展関連
	信濃毎日新聞	県の公文書管理 県立歴史館の役割	記事(社説)	
	信濃毎日新聞	屋代遺跡群の木製祭祀具 にじむ古代信濃人の願い	コラム	常設展関連
11月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 長野朝日放送 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	秋季企画展「最古の信州ブランド黒曜石」紹介 災害から史料守る対策学ぶ 連絡協が千曲で講習会 石垣からみた松本城 天守台築造 江戸初頃か 夜間鶴川の水害振り返るシンポ 平岡ダム突貫工事 朝鮮人らの犠牲の上に 「いい育児の日」イベントで親子で土器の色付け体験 町文化財指定めざす 久保洞水路橋 旧川岸村から全国一極めた「片倉」 縫糸機の合理化を契機に躍進 「土曜駅前テレビ」 縄文の旅 信州黒曜石ロマン探検 県の公文書管理 県立歴史館の役割 屋代遺跡群の木製祭祀具 にじむ古代信濃人の願い	有線放送 記事 コラム 記事 コラム 記事 記事 コラム テレビ放送 記事(社説) コラム	秋季企画展関連             
	信濃毎日新聞 NBS長野放送 信濃毎日新聞 須坂新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送 信濃毎日新聞 週刊長野 信濃毎日新聞 毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 長野市民新聞 週刊長野	飯山で育った石坂周三 石油会社経営 苦難の道 フォーカス信州「信濃國の明治維新」 ミュージアムで住民の心豊かに 信越県境地域づくり交流会 県立歴史館収蔵庫に活用 旧須商校舎 田淵行男が撮った安曇野 高度成長期 変わる原風景 冬季展「自然を見つめた田淵行男」紹介 飯島家の資料 数千点寄贈 視野を広げる信州学 歴史館が第2回配本 写真家田淵さん 見つめた安曇野 千曲で田淵行男展 世界とつながる信州 県立歴史館シリーズ2冊目出版 武士になった在地の人物 地震・飢饉時に村々を救済 田淵行男の業績紹介 チョウの水彩画など展示 田淵行男さんの作品を紹介 写真や水彩画	コラム テレビ放送 記事 記事 コラム 有線放送 記事 記事 記事 記事 記事 コラム 記事 記事 記事 コラム 記事 記事 記事 記事 記事	冬季展関連 冬季展関連 新刊本紹介 冬季展関連 冬季展関連 長野都市ガスの日関連 新刊本紹介 冬季展関連 冬季展関連 新刊本紹介 信州学講座関連 冬季展関連 冬季展関連

	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 朝日新聞 a b n 長野朝日放送 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	過去の災害発生日 記したカレンダー 2018回顧この一年 歴史県内 近代史の重要資料相次ぎ確認 県内では2面発見 海獸葡萄鏡 水関連の祭祀で使用か 「信濃の国」に池上彰迫る 30日正午 abnで放送 「池上彰のそなだったのか！ 信濃の国」 「田淵行男展」紹介 国宝土偶5点勢ぞろい 来秋の展示企画	記事 記事 コラム 記事 テレビ放送 記事 斜面観 記事	作成協力 常設展関連 冬季展関連
1月	信濃毎日新聞 NHK Eテレ 信濃毎日新聞 屋代有線放送 信濃毎日新聞 MGプレス(松本) NHK Eテレ(再) 信濃毎日新聞 岡谷市民新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 MGプレス(松本) 信濃毎日新聞	古文書県外相次ぐ 県立歴史館16年度から調査延べ743件 日曜美術館「まだ見ぬ頂を目指して～山岳写真家 田淵行男～」 山田家の資料活用探る 中野の「豪農」3万3000点余の整理区切り 冬季展「自然を見つめた田淵行男」紹介 写真家田淵行男を多面的に 昆虫学・歴史学・研究者ら語る 県立歴史館「広い世界とつながる信州」刊行 信州学を楽しんで 日曜美術館「まだ見ぬ頂を目指して～山岳写真家 田淵行男～」 森に手を加えた縄文人 クリなど有用樹増やす 県立歴史館で冬季展「自然を見つめた田淵行男」 防災「赤牛先生」に学ぶ 地域に砂防ボランティア派遣 田淵行男 完成度高い写真集 装丁・割り付けも自分で 紡いた歴史築いた宝 長野電鉄河東線 田淵行男の作品を通じ 専門家が討論 自然保護考えるシンポ 弥生の「サメの歯状石製品」 縄文の伝統に新たな工夫	記事 テレビ放送 記事 有線放送 記事 記事 テレビ放送 コラム 記事 記事 コラム 記事 コラム	冬季展関連 冬季展関連 冬季展関連 冬季展関連イベント 読書 新刊案内 冬季展関連 信州学講座関連 冬季展関連 冬季展関連
	中日新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送 信濃毎日新聞 中日新聞 信濃毎日新聞	鎌倉初期の徵税文書あった 長野・皇室領の史料 県購入へ 鎌倉期の千国莊麻布の一大産地 県購入検討の新史料 北信濃の家造り 豪雪地に生きる知恵 田淵行男と雪形の研究 親友 信頼し合い情報共有 足利尊氏の貴重な自筆文書 小笠原氏を信濃國守護に任命 常設展紹介 昭和天皇の御大典 祝意表す饗宴 モノと文書 照合して判明 仁科氏の手掛かりに 郷土史家・荒井さん「千国莊」新史料を分析 大桑の人面土器 愛称は「悠久のほほ笑み」に	記事 記事 コラム コラム 記事 有線放送 コラム 記事 記事	
	中日新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送 信濃毎日新聞 中日新聞 信濃毎日新聞			信州学講座関連 冬季展関連 特別展示品関連 講演会関連
	読売新聞 信濃毎日新聞 朝日新聞 毎日新聞 読売新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 長野市民新聞 信濃毎日新聞 市民タイムス(木曽) 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送 信濃毎日新聞	土器愛称「悠久のほほ笑み」に 尊氏自筆文書 信濃の歴史に光 県立歴史館きょうあす公開 尊氏自筆の文書 公開 きょうあす 県立歴史館が購入 足利尊氏自筆書状 県立歴史館が入手 信濃守護を再任 尊氏 信濃守護認める書状 古書店で発見 尊氏自筆書状を入手 政宗を信濃の守護に再承認 信州の旧石器時代 始まりいつ？解明これから 尊氏自筆状を公開 信濃国守護承認の内容 県立歴史館 新収蔵で 縄文「悠久のほほ笑み」解説 大桑の人面土器 村教委講演会 縄文暮らしに興味津々 体験会に児童30人 下茂内遺跡の槍先形尖頭器 安山岩使った「匠」の技 小笠原貞義宛て徳川家康の書状 県立歴史館今秋公開 2019年長野県立歴史館巡回展「長野県の考古学」の見どころ 県内遺跡の縄文土器など展示	記事 記事 記事 記事 記事 記事 コラム 記事 記事 記事 コラム 記事 記事 有線放送 記事	講演会関連 特別展示品関連 特別展示品関連 特別展示品関連 特別展示品関連 特別展示品関連 信州学講座関連 特別展示品関連 お出かけ歴史館関連 2019巡回展関連 2019巡回展関連 2019巡回展関連

	信州CATV	2019年長野県立歴史館巡回展「長野県の考古学」の見どころ 釣手土器と有孔鍔付土器 用途の謎 想像膨らむ	CATV	2019 巡回展関連
	信濃毎日新聞	「戊の満水」語り継ぎ防災 大洪水に関する講演や対談DVDに	コラム	2019 巡回展関連
	週刊長野	石器の進化から土器の登場へ 県立歴史館 技術の向上を展示	記事	2019 巡回展関連
	週刊長野	国宝や重要文化財を展示 県立歴史館 来年度3企画	記事	
	信濃毎日新聞	県、公文書一元管理へ 19年度条例案 電子化システム構築	記事	
	信濃毎日新聞	江戸幕府が出した長窪宿の高札 伝馬制度の維持 目的に	コラム	常設展関連
	MGプレス(松本)	長野県に多い「顔面土器」 繩文人の謎と魅力にせまる	記事	2019 巡回展関連
	長野市民新聞	県立歴史館で考古学展 国内最古級の土器も	記事	2019 巡回展関連
	毎日新聞	旧陸軍の赤レンガ倉庫保存、活用法考えよう	記事	

# 一 資 料 一

## I 資 料 利 用

(点)

資料利用	展示資料 (復元・模型等)	考古資料 (一括資料も1点)	文献史料 (文書・絵図等)
貸出	8	13	7
掲載	16	27	52
複製(資料・写真)	1	0	6

全件数  
28件  
95件  
7件

(2019年3月31日まで)

## II 閲 覧 利 用・情 報 利 用

月	閲覧者数		閲覧者数の内訳						複写 件数	撮影 件数	レファレ ンス件数	HPアカ セス数	資料 受入数	図書 登録数	
	右=1日平均	図書	歴史情報	映像情報	行政文書	古文書	考古資料	その他							
4	220	8	183	7	0	6	12	3	9	47	66	17	7,141	361	140
5	308	11	262	15	0	14	8	0	9	65	231	12	8,949	271	134
6	402	15	345	11	0	18	14	1	13	82	109	7	10,780	256	71
7	381	15	300	19	2	13	26	6	15	91	537	7	7,339	121	81
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	170	105
9	240	17	188	16	0	17	15	2	2	45	201	6	4,421	148	91
10	332	13	256	16	0	10	24	14	12	113	408	9	6,393	131	108
11	372	14	333	9	0	13	10	6	1	194	52	6	5,561	125	63
12	355	15	330	12	0	2	10	0	1	69	45	5	5,693	90	92
1	386	16	344	11	4	13	10	0	4	76	83	9	7,371	210	104
2	402	17	365	5	0	13	12	4	3	48	73	8	6,167	138	59
3	333	13	295	2	0	19	10	3	4	87	100	5	6,554	172	74
計	3,731	14	3,201	123	6	138	151	39	73	917	1,905	96	76,369	2,193	1,122

## III 利 用 者

平成30年度利用者

月	常設展示室		企画展示室		巡回展		講演会・講座等		閲覧室		出前講座		利用者計
	観覧者数	日数	観覧者数	日数	受講者等数	日数	受講者等数	日数	閲覧者数	日数	受講者数	日数	
4	3,211	26	2,457	26			1,665	11	220	26	253	5	7,806
5	7,142	27	5,734	27			5,463	25	308	27	800	8	19,447
6	6,745	26	3,068	16			5,603	26	402	26	326	5	16,144
7	3,319	25	2,820	25	462	16	2,810	25	381	25	262	4	10,054
8	288	0	0	0	865	27	402	12	0	0	494	4	2,049
9	2,595	14	2,419	14	650	17	1,715	15	240	14	980	9	8,599
10	3,611	26	3,241	26	725	26	2,483	22	332	26	1,305	19	11,697
11	3,517	26	3,188	22	651	22	1,669	15	372	26	1,250	14	10,647
12	915	23	590	11			303	7	355	23	192	3	2,355
1	1,517	24	1,294	24			444	9	386	24	240	1	3,881
2	1,626	24	1,179	15			719	14	402	24	612	6	4,538
3	2,163	26	858	13			174	4	333	26	579	8	4,107
計	36,649	267	26,848	219	3,353	108	23,450	185	3,731	267	7,293	86	101,324

※巡回展の会場：長野県伊那文化会館（7月13日～8月2日）、塩尻市立平出博物館（8月11日～9月17日）

浅間縄文ミュージアム（9月29日～11月25日）

## 入館者数等推移

区分 年度	常設 展示室	企画 展示室	講演講座等 (出前講座含む)	閲覧室	合計
平成6年度	50,375	34,685	1,033	6,797	92,890
7年度	99,478	23,470	3,086	11,887	137,921
8年度	74,438	21,029	2,299	10,466	108,232
9年度	59,968	15,585	3,133	8,067	86,753
10年度	53,651	32,586	3,608	8,362	98,207
11年度	53,814	30,392	3,617	8,461	96,284
12年度	47,604	25,781	3,540	9,355	86,280
13年度	46,303	34,352	4,346	7,573	92,574
14年度	45,106	33,887	6,384	7,566	92,943
15年度	43,813	33,400	12,952	7,070	97,235
16年度	43,889	32,797	12,429	6,287	95,402
17年度	44,855	33,585	12,263	8,232	98,935
18年度	46,362	37,866	14,360	13,642	112,230
19年度	46,874	42,691	15,217	12,454	117,236
20年度	41,790	32,316	13,089	10,815	98,010
21年度	41,089	32,507	14,774	10,002	98,372
22年度	40,839	29,969	12,175	9,916	92,899
23年度	43,383	33,676	11,057	6,118	94,234
24年度	42,154	37,674	11,953	7,201	98,982
25年度	39,323	32,603	13,091	7,205	92,222
26年度	39,897	34,614	21,004	7,855	103,370
27年度	41,609	31,886	24,536	6,963	104,994
28年度	44,673	32,199	31,424	4,094	112,390
29年度	40,765	25,780	32,263	4,244	103,052
30年度	40,002	26,848	30,743	3,731	101,324
合計	1,171,289	756,398	283,047	200,119	2,410,853

※常設展示室は巡回展の人数を含む。

## 企画展等入館者数 夏企=企画展 春季=季節展

区分 年度	名 称		期 日	入館者数
平成6年度 企画展	開館記念 赤い土器のクニ		11/3~12/11 38日	29,848
平成7年度 夏企	絵図にみる信濃－江戸時代の村や町－		7/15~8/20 32日	7,095
秋企	信濃における戦国争乱の世界		10/21~11/26 30日	10,873
平成8年度 夏企	縄文人の一生－北村遺跡に生きた人々－		7/20~8/25 32日	8,228
秋企	木簡が語る古代の信濃－掘り出された地方行政とくらし－		10/5~11/10 31日	8,450
平成9年度 夏企	殖産興業と万国博覧会－明治期における長野県の世界の交流－		7/19~8/24 32日	5,538
秋企	長野県にみる世界の文化－シルクの歴史と文化－		10/12~11/16 31日	7,011
館蔵品展	平成9年度新指定の県宝をみよう		1/31~3/1 29日	1,174
平成10年度 特別展示	屋代木簡展		6/5~6/20 14日	－
夏企	古代シナノの武器と馬具－古墳時代の武人のすがた－		7/18~8/23 32日	5,950
秋企	諫訪信仰の祭りと文化		10/17~11/23 33日	7,912
平成11年度 館蔵品展	館蔵品展		4/4~5/9 33日	9,866
夏企	信濃名宝展－鎌倉時代の文化財－		10/17~11/23 33日	7,458

秋企	蘭学万華鏡 一江戸時代 信濃の科学技術一	7/16~8/22	38日	7,321
考古資料特別公開	躍動する縄文土器—新指定重要文化財御代田町川原田遺跡出土品とその周辺—	1/15~2/27	38日	3,719
平成12年度 夏企	千曲川歴史紀行 ーともに生きた人びとの記録ー	10/9~11/14	32日	4,443
秋企	歴史の宝庫 秋葉みち ー信遠古道をたどるー	7/22~8/27	32日	7,807
長野県の20世紀展	信州に生きた20世紀の女たち	12/12~1/28	36日	2,117
平成13年度 館蔵品展	屏風の世界	5/29~7/1	30日	5,096
夏企	阿久遺跡と縄文人の世界	7/20~9/2	40日	4,935
秋企	文人墨客がつどう ー19世紀北信濃の文芸ネットワークー	10/2~11/11	36日	9,332
特別展示	雛人形と雛道具『天下の糸平』田中家コレクション	1/26~3/3	32日	3,431
平成14年度 テーマ	北村繩文人の時代 ー仮面土偶をつくった人びとー	5/25~6/30	32日	7,671
夏企	世界と地域を見つめた長野県教育 ー信山育材ー	7/20~9/1	39日	3,113
秋企	開設四百年 中山道 ー信濃二十六宿と間宿ー	10/5~11/17	38日	9,318
特別公開	雛人形と雛道具 ー田中平八コレクションと北信濃の雛人形ー	1/25~3/2	31日	3,545
平成15年度 テーマ	おらが善光寺さん ー秘仏の寺ものがたりー	5/16~6/22	33日	6,579
夏企	SOSふるさとの文化財をすぐえー伝えたい古人の心と技ー	7/15~8/24	36日	4,287
原爆展	ヒロシマ・ナガサキ原爆展ー風化させてはならない歴史ー	9/27~10/26	26日	-
秋企	もみじ 夕焼け 里の秋 ー唱歌・童謡のふるさと信州ー	9/27~11/9	38日	9,426
特別公開	重要文化財神子柴遺跡の石器群 ー石器時代の槍と斧ー	1/10~2/29	43日	3,944
特別公開	雛人形と雛道具 ー子どもの祝いー	1/10~2/29	43日	3,944
平成16年度 春季	神がみへの願い 人びとの祈り ー古代のまつりー	5/22~6/27	32日	4,386
夏季	善光寺道 ー街道を行き来した人・物・文化ー	7/17~8/29	38日	4,860
秋季	中世信濃武士意外伝 ー義仲から幸村までー	10/2~11/14	38日	10,543
新春特別公開	新春屏風絵図展	1/1~1/16	14日	462
冬季	天下の糸平 ー横浜を目指した信州の生糸商人たちー	1/29~3/6	32日	2,954
平成17年度 特別展	里帰りした赤羽刀 ーGHQ接收刀の輝きー	5/21~6/26	37日	4,057
夏企	地下4mの縄文伝説ー屋代遺跡群 愛と出会いの4千年ー	7/16~9/4	45日	5,012
秋企	信州舞台物語ー団十郎も須磨子もやってきたー	10/1~11/13	38日	8,877
特別公開	六角木幢 極楽浄土への道しるべ	11/19~1/15	42日	2,867
特別公開	雛人形と雛道具 ー身だしなみとよそおいー	1/28~3/5	32日	3,498
平成18年度 春季	古瓦からみた信濃の古代ー神津猛・米山一政寄贈資料を中心にー	5/19~6/25	33日	6,979
夏企	幕末の信州 ー時代を駆けた草莽たちー	7/22~8/27	32日	4,212
秋企	戦時下の子どもたち ー信州の一五年戦争ー	9/30~11/12	33日	10,004
冬季	信州の歴史遺産Ⅰ ー新指定長野県宝と歴史館のお宝ー	11/25~1/8	35日	2,434
平成19年度 春季	埋もれていた信州遺産の発見ー長野県埋蔵文化財センター25年の歩みから	5/19~7/1	38日	5,962
夏季	絵地図の魅力 ーわたしの城下町ー	7/21~8/19	27日	3,374
文巡回展	発掘された日本列島 ー新発見考古速報展ー	9/1~9/30	26日	5,906
秋企	武田・上杉・信濃武士【前期】	10/13~11/18	32日	9,084
秋企	武田・上杉・信濃武士【後期】	12/8~1/14	28日	3,143
冬季	信濃の人形 ー雛人形と郷土の人形ー	1/26~3/2	32日	2,362
平成20年度 春季	うつわは語る ー縄文から近世までー	5/24~6/29	32日	5,426
夏企	大庄屋って何?安曇郡・清水家文書の350年	7/19~8/24	33日	2,625
秋企	よみがえる氷河時代の狩人	9/25~11/24	53日	11,145
冬季	信州の歴史遺産Ⅱ ー長野県宝と歴史館のお宝ー	12/13~3/1	61日	3,020
平成21年度 春企	善光寺信仰ー流転と遍歴の勧化ー	4/11~6/7	51日	11,776
夏季	信州 知の遺産の系譜 ー歴史を記録した先人たちー	8/1~9/6	32日	4,248
秋企	山を越え川に沿う ー信州弥生文化の確立ー	9/26~11/23	50日	8,896
冬季	信州の歴史遺産Ⅲー諫訪地域の“いのり”と“まつり”ー	12/12~2/28	60日	2,097
平成22年度 春企	ひめゆり 平和への祈り	5/29~7/11	38日	8,728
夏季	あの世への想いー日本人はどういう埋葬されてきたかー	7/31~8/29	26日	2,552
秋企	東の牛伏寺 西の若澤寺	9/18~11/7	42日	8,272

	冬季	信州の歴史遺産IV －文字のちから－	12/11～2/27	61日	2,741
平成23年度	春季	武士の家宝 －かたりつがれた御家の由緒－	5/28～7/3	32日	8,901
	夏企	激動を生きぬく－信濃武士市河氏の400年－	7/23～9/4	39日	4,731
	秋企	観光地の描き方－浮世絵版画から観光パンフレットま－	9/23～11/13	44日	6,164
	冬季	信州の歴史遺産V－郷土のお宝『重文・県宝』を見よう－	12/10～2/26	44日	3,302
	小企画展	ありがとう屋代線	3/10～5/13	58日	-
平成24年度	春企	長野県の満洲移民－三つの大日向をたどる－	5/26～7/16	45日	8,871
	夏季	戦争と宣伝 阿智村ポスターが語る	7/28～9/2	33日	5,209
	秋企	縄文土器展 前期展	9/15～11/4	44日	6,871
		〃 後期展	11/10～12/16	32日	2,669
	冬季	愛娘の調度品－姫君様の婚礼道具から雛人形まで－	1/12～3/3	39日	3,668
平成25年度	夏企	信州の野球史 －大正から昭和初期にかけて全国屈指の強さを誇った中等学校野球－	6/29～8/18	45日	4,608
	秋企	刃が語る信濃	9/14～11/4	45日	7,904
	冬季	山国の大水害－戊の満水と善光寺地震－	11/23～1/19	41日	2,573
	館蔵品	戦前の観光信州	2/1～3/9	29日	1,130
	速報展	長野県の遺跡発掘2014－長野県埋蔵文化財センター速報展－	3/21～6/1	65日	12,680
平成26年度	館蔵品	歴史に煌めく日本の美	6/14～7/13	26日	4,794
	夏季	山とともに生きる－「信州山の日」制定を記念して－	7/26～8/31	33日	4,592
	速報展	長野県の遺跡発掘2014（伊那会場）	7/19～8/24	31日	1,602
	秋企	信濃武士の決断	9/27～11/9	38日	7,052
	冬季	縄文土器展	11/29～2/1	45日	2,131
平成27年度	春企	山と海の廻廊をゆく	(4/1)～5/17	42日	7,390
	速報展	長野県の遺跡発掘2015	5/30～7/12	37日	8,332
	夏企	長野県民の1945	7/25～9/15	45日	5,643
	秋企	樹木と人の交渉史	10/9～11/29	49日	6,570
	冬企	地図の明治維新	12/9～2/28	58日	2,838
	巡回展	長野県の遺跡発掘2016	3/12～6/26	95日	18,438
平成28年度	夏企	夢をのせた信州の鉄道	7/9～8/28	45日	4,192
	秋企	木曽の宝	9/17～11/27	61日	6,782
	冬季	信濃国の城と城下町	12/17～2/26	55日	2,927
	巡回展	長野県の遺跡発掘2017	3/18～(3/31)	12日	973
平成29年度	巡回展	長野県の遺跡発掘2017	4/1～6/25	75日	12,066
	夏企	長野県誕生	7/8～8/28	46日	3,089
	秋企	進化する縄文土器	9/16～11/26	61日	7,727
	冬季	博物館の父は信州人	12/16～2/25	54日	2,292
	巡回展	長野県の遺跡発掘2018	3/17～(3/31)	12日	606
平成30年度	巡回展	長野県の遺跡発掘2018	4/1～6/3	56日	8,485
	夏企	君は河童を見たか！	6/16～7/29	38日	5,594
	秋企	最古の信州ブランド黒曜石	9/15～11/25	62日	8,848
	冬季	自然を見つめた田淵行雄	12/15～2/17	50日	3,063
	巡回展	長野県の考古学	3/16～(3/31)	13日	858

ミニ展示 「県歌50年」作詞家「浅井冽の書を見る」965人 26日

ミニ展示 信州の「野球史 夏」 996人 32日

## IV 収蔵史資料数

区分 年度	展示資料 (点)	増加数 (点)	図書 (冊)	増加数 (冊)	考古資料 (箱)	受入数 (箱)	文献史料 (点)	増加数 (点)
平成6年度	1,996		27,156		4,930		79,060	
7年度	2,015	19	30,628	3,472	6,202	1,271	96,165	17,105
8年度	2,034	19	34,470	3,842	7,259	1,057	109,711	13,546
9年度	2,051	17	38,533	4,063	8,415	1,156	117,392	7,681
10年度	2,107	56	44,888	6,355	9,886	1,471	122,944	5,552
11年度	2,141	34	48,748	3,860	11,685	1,799	131,498	8,554
12年度	2,156	15	59,590	10,842	14,724	3,039	136,191	4,693
13年度	2,182	26	64,405	4,815	17,614	2,890	138,360	2,169
14年度	2,197	15	69,306	4,901	19,982	2,368	148,562	10,202
15年度	2,217	20	73,292	3,986	21,199	1,217	153,394	4,832
16年度	2,238	21	77,364	4,072	23,302	2,103	155,339	1,945
17年度	2,250	12	81,196	3,832	25,223	1,921	156,921	1,582
18年度	2,264	14	85,133	3,937	25,655	1,571	160,595	3,674
19年度	2,278	14	87,216	2,083	26,806	1,150	162,268	1,673
20年度	2,282	4	95,555	8,339	27,309	503	163,135	867
21年度	2,287	5	101,730	6,175	27,856	547	165,496	2,361
22年度	2,293	6	103,577	1,847	27,974	118	168,485	2,989
23年度	2,295	2	107,308	3,731	28,296	302	169,555	1,070
24年度	2,296	1	111,124	3,816	28,707	971	172,318	2,763
25年度	2,299	3	115,553	4,429	28,419	▲ 288	287,611	115,293
26年度	2,301	2	119,736	4,183	29,204	785	291,848	4,237
27年度	2,304	3	122,762	3,026	29,204	0	295,611	3,763
28年度	2,308	4	125,628	2,866	29,204	0	281,897	▲ 13,714
29年度	2,315	7	128,344	2,716	29,204	0	301,999	20,102
30年度	2,320	5	132,036	3,692	29,204	0	311,453	9,454

※考古資料の総数は、移管残り資料の移管があつたが整理できず。整理後の増減を含めた年度末収納数。

28年度の文献史料総数は、重複分があったため修正した。

# 一日誌一

- 4月21日(土) 巡回展「長野県の遺跡発掘2018」講演会  
5月5日(土) 歴史館でこどもの日  
12日(土) 考古学講座①  
19日(土) ミニ展示「浅井冽の書を見る」開始  
24日(木) 県、北信越博物館協議会総会・研究会(長野市～25日)  
26日(土) 信州学講座①、古文書講座上級①  
6月2日(土) 考古学講座②  
3日(日) 考古学セミナー、長野県の遺跡発掘2018(歴史館会場)終了  
7日(木) 全国公文書館長会議(東京～8日)、総合教育センター研修  
9日(土) 信州学講座②、古文書講座中級A①  
10日(日) 古文書講座初級A①  
13日(水) AED講習会  
14日(木) 古文書講座初級B① 古文書講座中級B①  
16日(土) 夏季企画展「君は河童を見たか」開始、夏季企画展講演会  
17日(日) ミニ展示「浅井冽の書を見る」終了  
18日(日) 考古学セミナー  
21日(木) 県史料協史料保存講習会①・総会(諏訪市)  
23日(土) 信州学講座③、ミニ展示 信州の「野球史 夏」開始  
30日(土) 考古学講座③、古文書講座上級②  
7月7日(土) 信州学講座④、古文書講座中級A②  
8日(日) 古文書講座初級A②  
11日(水) 人権研修  
13日(金) 長野県の遺跡発掘2018(伊那文化会館)開始  
19日(木) 古文書講座初級B② 古文書講座中級B②  
20日(金) 土偶研究会  
21日(土) 考古学講座④  
26日(木) 県庁イベント  
28日(土) 歴史館で夏休み、古文書講座上級③  
29日(日) 夏季企画展「君は河童を見たか」終了、ミニ展示 信州の「野球史 夏」終了  
30日(月) 外壁工事開始 休館(～9月14日)  
31日(火) 資料調査委員会  
8月1日(水) 信州大学免許講習①  
2日(水) 信州大学免許講習②、長野県の遺跡発掘2018(伊那文化会館)終了  
4日(土) 古文書講座中級A③  
5日(日) 古文書講座初級A③  
7日(火) ティーンズ古文書講座(～10日)  
10日(金) 信州総文祭新聞部門取材  
11日(土) 長野県の遺跡発掘2018(塩尻市立平出博物館)開始  
25日(土) 信州学講座 in 上田  
28日(火) 包括外部監査、黒曜石原産地会議  
9月7日(土) 地域文化財防災ネットワーク会議  
12日(水) 交通安全講習  
13日(木) 博物館実習開始(～23日)  
15日(土) 秋季企画展「最古の信州ブランド黒曜石」開始、古文書講座中級A④  
16日(日) 古文書講座初級A④  
17日(月) 長野県の遺跡発掘2018(塩尻市立平出博物館)終了  
20日(木) 古文書講座初級B③、古文書講座中級B③  
22日(土) 秋季企画展講演会  
29日(土) 古文書講座上級④、長野県の遺跡発掘2018(浅間縄文ミュージアム)開始

- 10月 6日（土） 遺跡探訪会（長和町・下諏訪町）、古文書講座中級 A⑤  
7日（日） 古文書講座初級 A⑤  
11日（木） 古文書探訪会（大町市）  
13日（土） 古文書講座上級⑤  
18日（木） 古文書講座初級 B④、古文書講座中級 B④  
20日（土） 秋季企画展イベント（ワークショップ・国際交流子どもサミット）  
21日（日） 秋季企画展国際シンポジウム  
24日（水） 県史料協史料保存講習会②  
25日（木） 歴史館協議会  
26日（金） 山梨県立博物館との連携協定調印式  
27日（土） 黒曜石講演会及びシンポジウム  
28日（日） KOA の日（企業協賛の日）  
11月 3日（土） 森将军塚まつり（千曲市主催）  
4日（日） 講堂天井改修工事（講堂使用不可～3/31）  
11日（日） 信大免許講習③  
15日（木） 古文書講座初級 B⑤、古文書講座中級 B⑤  
18日（日） いい育児の日（子育て家庭優待日）  
23日（金） クリスマスリース作り  
24日（土） 信州学講座 in 箕輪  
25日（日） 秋季企画展終了、長野県の遺跡発掘 2018（浅間縄文ミュージアム）終了、考古学セミナー  
30日（金） 文化財保存処理講習会  
12月 1日（土） 信州学講座⑤  
9日（日） 近世史セミナー  
15日（土） 冬季展「自然を見つめた田淵行男」開始、長野都市ガスの日（企業協賛の日）  
22日（土） 信州学講座⑥  
1月 12日（土） 信州学講座⑦  
19日（土） 冬季展対談（安曇野市穂高交流学習センター「みらい」）  
2月 9日（土） 信州学講座⑧  
14日（木） 博物館等関係職員研修会  
15日（金） 博物館等関係職員研修会、信州大学博物館学講座  
17日（日） 冬季展終了  
23日（土） 信州学講座 in 諏訪  
27日（水） 県史料協史料保存講習会③  
28日（木） 県史料協史料保存講習会③  
3月 2日（木） 信州学講座 in 松本  
3日（日） 古文書愛好会総会・研修会  
9日（土） 信州学講座⑨  
14日（木） 県史料協理事会  
16日（土） 2019 巡回展「長野県の考古学」開始

**長野県立歴史館年報 第21号**  
**2018年度（平成30年度）**

---

2019(令和元)年 7月18日発行

編集・発行 長野県立歴史館  
〒387-0007 千曲市屋代260-6  
TEL 026-274-2000(代表)  
FAX 026-274-3996

---